

チャテイ	茶亭(茶みせ)	チャリ	茶利(おどけ)	チュウオ	中央(まなか)
チャド	茶道(茶のみち)	チャリヨ	茶寮(茶のみ場)	チュウカ	中華(支那の自稱)
チャノコ	茶子(茶菓子、物のたやすいこと)	チャワ	茶話(茶のみながらばなしする)	チュウカ	仲夏(なつ)のなかに
チャノマ	茶間(家人の食事するへや)	チャワン	茶碗(茶をのむに用ゐる碗)	チュウガ	駐駕(のりものをとめる)
チャノユ	茶湯(抹茶などをたてる遊)	チャン	瀝青(松やにに油をまぜたもの)	チュウカイ	註解(ときあかし)
チャパン	茶番(狂言の一種)	チャンピオン	選手(せんしゆ)	チュウガイ	虫害(むしのがい)
チャビン	茶瓶(茶をわかす道具)	チュ	治癒(病がなほる)	チュウガイ	中外(うちそと)
チャボ	矮鶏(種にはとりの一種)	チュウ	註(ときあかし)	チュウガエリ	宙返(とんぼがへり)
チャボーク	茶筌(茶の具)	チュウ	宙(空中)	チュウガク	中學(一校)
チャボーズ	茶坊主(茶を進むる役)	チュウイ	中尉(武官の階級)	チュウガク	中形(染模様の名)
チャボン	茶盆(盆の一種)	チュウイ	注意(氣をつくること)	チュウカン	中浣(月のなにかころ)
チャヤ	茶屋(茶をうるみせ料理屋)	チュウイン	中陰(死後四十九日の間)	チュウカン	中翰(中流)

チュウカン	中間(あひだ)	チュウケイ	仲兄(なかのあに)	チュウザ	中座(會の半途でしりぞく)
チュウカン	晝間(ひるま)	チュウケン	中堅(大將の居る軍)	チュウサイ	仲裁(争ひのさばき)
チュウカン	忠諫(忠義の心からいさめる)	チュウゲン	忠言(忠義のことば)	チュウザイ	駐在(とまりたる)
チュウキ	中氣(病の名)	チュウゲン	中元(舊七月十五日のこと)	チュウサツ	駐劄(とまりたる)
チュウギ	忠義(ま心をつくす)	チュウゲン	中間(小者の名)	チュウシ	中止(中ほどにてやむること)
チュウギョ	蟲魚(むしうを)	チュウコ	中古(なかむかし)	チュウシ	中指(なかゆび)
チュウキン	忠勤(ま心を以てつとむること)	チュウコ	忠告(こころを告ぐる)	チュウシ	忠死(忠義でしぬる)
チュウグウ	中宮(皇后)	チュウコ	忠孝(忠義と孝行)	チュウシ	注視(みつめる)
チュウクン	忠君(一愛國)	チュウコク	忠告(こころを告ぐる)	チュウジキ	晝食(ひるめし)
チュウクン	忠勤(君に對してのてがら)	チュウゴク	中國(陽山陰二道)	チュウジキ	中食(ひるめしのこと)
チュウダン	中軍(まんなかの軍)	チュウコン	忠魂(忠義のたましひ)	チュウジツ	忠實(まめやか)
チュウケイ	中啓(扇の一種)	チュウサ	中佐(軍人の官名)	チュウシヤ	注射(つぎこむこと)

チユーシヤク	註釋(ときあかし)	チユージョー	中將(武官の階級)	チユーセイ	中正(たしい)
チユーシユ	仲秋(陰曆八月のと)	チユージョー	衷情(まごころ)	チユーセイ	中性(文法の語、男女両性のほか)
チユーシユ	中秋(八月の十五日)	チユーシヨク	晝食(ひるめし、ち)	チユーセキ	柱石(柱とも石とも、たのまるもの)
チユージユン	中旬(中流)	チユーシン	忠臣(ちうぎなげら)	チユーセキ	疇昔(きのふ)
チユーシヨ	中暮(あつさあたり)	チユーシン	中心(まんなか)	チユーセツ	忠節(君に仕ふるみ)
チユージヨ	誅劔(かりたやす)	チユーシン	注進(つけしらす)	チユーゼツ	中絶(なかたゆると)
チユージヨ	忠恕(まごころとお)	チユーシン	忠心(忠義なこころ)	チユーセン	抽籤(くじをひく)
チユーシヨ	抽賞(特別に賞する)	チユーシン	忠臣(忠義なけらい)	チユーソ	註疏(ちゆうかい)
チユーシヨ	抽象(特別のもの)	チユーシン	忠信(忠義と信實)	チユータイ	中隊(小隊の三つあ)
チユーシヨ	晝餉(ひるめし)	チユージン	中人(中等の人間)	チユーダン	中段(なかのだん)
チユーシヨ	中宵(よなき)	チユージン	稠人(人のあつまり)	チユーダン	中斷(なかからたち)
チユーシヨ	中傷(中におて他)	チユーセイ	忠誠(まごころ)	チユーチヨ	躊躇(ためらふこと)

チユーテヨ	惆悵(いたみなげ)	チユーニチ	中日(まんなかの日)	チユーブ	中風(病の名)
チユーテヨク	忠直(まめやかなる)	チユーニユ	注入(そいぎ入る)	チユーブ	中部(まんなかの部)
チユーテイ	忠貞(忠義と貞節)	チユーニン	中人(とりなすひと)	チユーボク	忠僕(忠義なしもべ)
チユーテツ	鑄鐵(鑛の一種)	チユーネン	中年(さかりのとし)	チユーミツ	稠密(こみあふこと)
チユーテン	中天(そら)	チユーノリ	宙乘(身を空中につ)	チユーモク	注目(めをつける)
チユート	中途(なかほど)	チユーバイ	虫媒(いー花)	チユーモン	註文(注文ともかく)
チユート	偷盜(ぬすみ)	チユーバツ	誅罰(ころしつみす)	チユーモン	中門(なかのもん)
チユート	中等(上等下等の)	チユーバツ	誅伐(罪あるものを)	チユーヤ	晝夜(ひるよる)
チユート	仲冬(ふゆのなかば)	チユーハバ	中幅(大幅と普通の)	チユーユ	忠勇(忠義に勇むと)
チユードク	中毒(毒にあたる)	チユーハン	晝飯(ひるめし)	チユーヨ	中庸(いづれへも)
チユーナゴン	中納言(古の官名)	チユーヒ	厨婢(おきんどん)	チユーヨ	中天(わかじに)
チユーニク	中肉(よいくらぬ)	チユービユ	綱繆(まとひつくと)	チユーリク	誅戮(つみしこるす)

チヨ—リツ	中立(いづれにもつ)	チヨ—	疔(腫物の名)	テヨ—イン	調印(いんをつくと)
チヨ—リヤク	中畧(なかをばぶく)	チヨ—	町段(六十間又は十段)	チヨ—エキ	懲役(罪人を懲しめつかふこと)
チヨ—リヤク	箒略(はかりごと)	チヨ—	蝶(虫の名)	チヨ—エツ	超越(こえる)
チヨ—リユ	中流(河のまんなか)	チヨ—	挺(長きものを敷ふる語)	チヨ—オン	寵恩(寵愛でうける)
チヨ—リヨ	忠良(忠義でたち)	チヨ—	治要(世をなさめる)	チヨ—オン	朝恩(朝廷の恩)
チヨ—レツ	忠烈(忠義のあつい)	チヨ—アイ	寵愛(かばゆがる)	チヨ—カ	町家(まちや)
チヨ—レン	駐轡(天子の御車を止めらる)	チヨ—アイ	帳合(帳面につけ)	チヨ—カ	長歌(ながうた)
チヨ—ロ	中老(役の名)	チヨ—アク	懲惡(悪をこらす)	チヨ—カ	超過(こえすぐる)
チヨ	千夜(おほくのよる)	チヨ—イ	弔意(とむらひの意)	チヨ—カ	調和(チヨ—ワ)
チヨ	千代(ながい代)	チヨ—イ	長圍(ながくかこむ)	チヨ—カイ	懲戒(こらしめ)
チヨ	賜(はらわた)	チヨ—イ	弔慰(とむらひなくさめる)	チヨ—カタル	賜加答兒(病の名)
チヨ	丁(町の略)	チヨ—イツ	漲溢(みなぎりあふれる)	チヨ—カン	聽官(耳のはたらき)

チヨ—カン	長官(司令—)	チヨ—コ	重光(旭日章)	チヨ—ガイ	調劑(くすりをあはせる)
チヨ—キ	朝暉(あさひ)	チヨ—コ	寵幸(寵愛)	チヨ—シ	調子(音聲のほどあ)
チヨ—キ	跳起(はねおきる)	チヨ—コ	兆候(きざし)	チヨ—シ	長子(一番のあにむすこ)
チヨ—ギ	朝議(朝廷の會議)	チヨ—コ	徵候(きざし)	チヨ—シ	吊詞(とむらひのことば)
チヨ—キユ	長久(長く久しき)	チヨ—コ	朝貢(貢物を捧げて入貢すること)	チヨ—シ	銚子(酒具の名)
チヨ—キヨリ	長距離(とほきへた)	チヨ—ゴ	調合(薬などを合す)	チヨ—ジ	停止(さしとめ)
チヨ—ク	長驅(ながかけする)	チヨ—コク	彫刻(ほりもの)	チヨ—ジ	懲治(こらしなほす)
チヨ—グウ	寵遇(かばゆがりもてなすこと)	チヨ—コン	長恨(ながくうらむ)	チヨ—ジア	丁子油(油の一種)
チヨ—グン	超群(人よりぬけ)	チヨ—サ	調査(しらべ)	チヨ—シヤ	廳舎(役所のいへ)
チヨ—ケイ	長兄(一番のあに)	チヨ—ザ	長座(ながあ)	チヨ—シヤ	長者(めうへ)
チヨ—ケシ	帳消(勘定すみ)	チヨ—サイ	吊祭(とむらひまつ)	チヨ—ジヤ	長者(かれもち)
チヨ—ケン	朝憲(朝廷の法)	チヨ—サイ	超歳(としなこえる)	チヨ—ジュ	長壽(長命)

チヨーシユ	聴衆(談のきいて)	チヨーシヨ	嘲笑(あざけりわ)	チヨーセイ	超世(よにすぐれる)
チヨーシユ	徴收(とりをさむ)	チヨーシヨ	徴償(しよぶん)	チヨーセイ	調整(ととのへた)
チヨーシユ	徴集(めしあつむ)	チヨージョ	超乗(のりこえる)	チヨーセイ	長生(ながいき)
チヨーシユ	長州(長明のくに)	チヨージョ	長上(口上のもの)	チヨーセイ	調製(ととのへつく)
チヨーシユ	鳥銃(とりけもの)	チヨージョ	重疊(かさなりた)	チヨーセイ	徴税(税金をとれた)
チヨーシユ	長袖(ながそで)	チヨージョク	寵辱(愛とはづかし)	チヨーセキ	朝夕(あさゆふ)
チヨージョ	長女(第一の娘)	チヨーシン	長針(ながいはり)	チヨーゼツ	超絶(すぐれる)
チヨーシヨ	聴訟(うつたへ)	チヨーシン	調進(めとのへな)	チヨーセン	朝鮮(韓國)
チヨーシヨ	徴證(しようこ)	チヨーシンキ	聴診器(醫師の道具)	チヨーセン	挑戦(いくさないと)
チヨーシヨ	重賞(おもい賞)	チヨーズ	手水(てみづの音便)	チヨーゼン	超然(すぐれる、た)
		チヨーセイ	長逝(死ぬること)	チヨーゼン	惘然(うれへるさま)

チヨーソ	重祚(かさねて位に)	チヨーチヨ	蝶々(蝶のこと)	チヨーテイ	長汀(ながいみき)
チヨーダイ	頂戴(いたたくこと)	チヨーチヨ	喋々(べらべら)	チヨーテキ	朝敵(天皇にはむか)
チヨーダイ	長大(ながくおほき)	チヨーチヨ	町長(町のな)	チヨーテン	頂點(いたたき)
チヨータク	彫琢(ほりみがく)	チヨーチヨ	丁丁(物をつりけ)	チヨート	長途(ながきみち)
チヨーダツ	調達(とりそろへつ)	チヨーチン	提燈(夜行に提ふる)	チヨード	丁度(宛然)
チヨーダツ	超脱(すぐれる)	チヨーツガイ	蝶番(月にうつ金)	チヨード	調度(手まはり道具)
チヨータン	長嘆(ためいきつく)	チヨーツケ	帳付(帳面つける)	チヨード	長刀(ながいかたな)
チヨータン	長短(ながきとみじ)	チヨーテイ	調停(和解)	チヨード	挑動(おだてうご)
チヨーダンス	帳簿(帳面いれる)	チヨーテイ	長程(ながいみち)	チヨートン	朝敵(あさひ)
チヨーチ	懲治(こらしなほす)	チヨーテイ	長堤(ながいつみ)	チヨーナ	手斧(斬てなの)
チヨーチブス	腸窒扶斯(病の名)	チヨーテイ	重訂(かさねてなほ)	チヨーナイ	町内(一町のうち)
チヨーチヤク	打擲(うちたたくこと)	チヨーテイ	朝廷(一國の政治を)	チヨーナン	長男(あにむすこ)

チヨーニク	鳥肉(とりのにく)	チヨーハンズ	張 樊頭巾(頭巾の一種)	チヨーホー	重寶(便利の意)
チヨーニン	重任(かさね任する)	チヨービョー	長 病(ながわづ)	チヨーホー	調 法(用ゐて便利)
チヨーニン	町人(武士に對して)	チヨーフ	調布(菓子の名)	チヨーボー	眺望(みはらし)
チヨーノ	聽納(ききいれる)	チヨーフ	貼布(はりつける)	チヨーホー	長方 形(矩形)
チヨーバ	帳場(帳つけ勘定)	チヨーフク	朝風(あさかぜ)	チヨーホン	張本(事のおこるも)
チヨーバ	調馬(うまをととの)	チヨーフク	重複(かさなりあふ)	チヨーマン	脹滿(病の名)
チヨーバイ	糶賣(米うり、せり)	チヨーブク	調伏(人を呪ふこと)	チヨーミ	調味(あぢをつける)
チヨーハツ	挑發(げしかける)	チヨーブツ	長物(無用のもの)	チヨーマイ	朝命(朝廷の命令)
チヨーハツ	徵發(めしいだす)	チヨーヘイ	徵兵(兵にめすこと)	チヨーマイ	長命(ながいき)
チヨーバツ	懲罰(こらしつみす)	チヨーボ	帳簿(帳面)	チヨーマン	帳面(紙をもちて物をかきとめお)
チヨーハン	重犯(かされてをか)	チヨーボ	徵募(つのりめす)	チヨーモク	鳥目(金子)
チヨーハン	丁半(偶數と奇數)	チヨーボ	朝暮(あさとくれ)	チヨーモン	聽聞(きくこと)

チヨーモン	吊問(とむらひとふ)	チヨーリユ	長流(ながいながれ)	チヨク	猪口(さかつき)
チヨーヤ	長夜(ながいよる)	チヨーリン	超倫(普通にすぐれ)	チヨクガク	勅額(天皇の御親筆)
チヨーヤ	朝野(官と民と)	チヨールイ	鳥類(とりるゐ)	チヨクガン	勅願(天皇の御ねが)
チヨーヤク	跳躍(なとりはねる)	チヨールン	調練(操練)	チヨクゲン	直言(むきだしにい)
チヨーヨ	朝陽(あさひ)	チヨール	朝露(あさのつゆ)	チヨクゴ	勅語(天子のことば)
チヨーヨ	長幼(大人と小供と)	チヨール	彫 鐵(ほりちりば)	チヨクサイ	勅裁(天子のさばき)
チヨーヨ	重陽(九月九日のと)	チヨール	長老(長上のこと)	チヨクサイ	勅祭(勅命で行ふま)
チヨーヨ	貼用(はりつくる)	チヨール	嘲 弄(あざけりも)	チヨクシ	勅旨(天子のおぼし)
チヨーライ	頂禮(敬禮)	チヨール	調和(ととのへやは)	チヨクシ	勅使(天子の御使)
チヨーリ	重利(利のかさなる)	チヨール	儲位(皇太子の位)	チヨクジュ	勅授(勅命でさづけ)
チヨーリ	調理(ととのへをさ)	チヨール	猪牙(しー船)	チヨクシヨ	勅書(天子の御書)
チヨーリユ	潮流(海中の川の如きもの)	チヨール	貯金(金をたくはへ)	チヨクジヨ	勅諭(勅命)

チヨクゼイ	直税 (直接にたさめ る税、間税に 對して)	チヨクモン	勅問 (天子のおたづ ね)	チヨシヨ	著書 (あらはした書)
チヨクセツ	直接 (さしつけ、ち か)	チヨクヤク	直譯 (英文の—)	チヨスイ	潜水 (たまりみづ)
チヨクセン	勅撰 (天子のおほせ によりて作る こと)	チヨクユ	勅諭 (天子のおさと し)	チヨスイチ	貯水池 (水をたくは へるいけ)
チヨクセン	勅撰 (天子のおほせ によりて作る こと)	チヨクリツ	直立 (ますぐに立つ こと)	チヨゾー	貯藏 (たくはへをさ むること)
チヨクセン	直線 (ますぐの線)	チヨクレイ	勅令 (天子の命令)	チヨチク	貯蓄 (たくはへると ちやく)
チヨクチヨ	直腸 (腸の一部)	チヨクレイ	勅令 (天子の命令)	チヨツカ	直下 (ました)
チヨクトー	直答 (ちきにこたへ る)	チヨクン	直隸 (ちかにしたが ふこと)	チヨツカク	直角 (九十度の角)
チヨクトー	勅答 (天皇にたいち にこたへると)	チヨコザイ	儲君 (よつぎ)	チヨツカツ	直轄 (直に支配 すること)
チヨクニン	勅任 (—官)	チヨサク	猪口才 (小才)	チヨツカン	勅勘 (天子よりの御 勘當)
チヨクヒツ	勅筆 (天子の御かき もの)	チヨジ	著作 (本をあらはす)	チヨツカン	直諫 (ちきん、にい さめる)
チヨクフウ	勅封 (勅命により封 する)	チヨシヤ	著者 (著作者)	チヨツキ	短筒 (洋服の上衣の 下に着るもの)
チヨクメイ	勅命 (天子のおほせ)	チヨジユツ	著述 (書を著すこと)	チヨツキヨ	勅許 (天子の御許し)

チヨツケイ	直徑 (さしわたし)	チリ	塵 (ほこり)	チン	亭 (あづまや)
チヨツコ	直航 (よりみちせ すに目的地 ちやくかう)	チリメン	縮緬 (織物の名)	チン	朕 (天子の御自称)
チヨツコ	直行 (直に行くこと)	チリヤク	智略 (ちりあるはか りごと)	チン	狎 (いぬ、狗の一種)
チヨツト	鳥渡 (一寸、しぼら く)	チリヨ	智慮 (ちりあるかん がへ)	チンア	沈痾 (ながいやまひ)
チヨメイ	著名 (いちじるし)	チリヨ	治療 (病をなほすと)	チンアツ	鎮壓 (しづめをさめ る)
チヨメイ	著名 (いちじるし)	チリヨ	嶺龍 (あまよりよう)	チンカ	鎮火 (火がしづまる こと)
チヨリツ	侍立 (たすむこと)	チリヨ	知了 (しりさとる)	チンキ	丁幾 (薬の名)
チラス	散 (ばらばらにす る)	チリヨク	智力 (知恵のちから)	チンキ	珍器 (めづらしいう つは)
チラン	治亂 (なさまるとみ だれる)	チル	散 (わかれゆく)	チンキ	珍貴 (めづらしくた ふときこと)
チリ	地理 (—學)	チロリ	酒注 (酒をあたいめ る具)	チンキヤク	珍客 (めづらしいき やく)
チリ	智利 (—國)	チワ	痴話 (男女のたはむ ればなし)	チンギン	沈吟 (うめぐ)
チリ	地利 (土地よりの利 益)	チン	鳩 (動物の名、毒 あると)	チンギン	賃銀 (ちんせん)

チンゲン	陳言(ふるいことば)	チンジョー	陳上(まうしあげる)	チンチョー	珍重(ちやう) (大切、又めでたしの意)
チンゴ	鎮護(しづめまもる)	チンジョー	陳情(じやう) (事情をのべ)	チンチン	沈々(しん) (ひっそり)
チンコー	珍肴(めづらしいさかな)	チンセイ	鎮靜(しん) (なままる)	チンツウ	鎮痛(しん) (いたみをしづ)
チンザ	鎮座(しん) (神靈がしづま)	チンゼイ	鎮西(しん) (九州のこと)	チンテイ	鎮定(しん) (しづまり定ま)
チンサツ	鳩殺(きよくがい)	チンセキ	枕席(まくら) (ねや)	チンデキ	沈溺(しん) (しづみおぼ)
チンシ	沈思(しん) (ふかく考ふる)	チンセツ	陳跡(ちん) (ふるいあと)	チンデン	沈澱(しん) (水そこによど)
チンジ	珍事(めづらしいこと)	チンセン	珍説(しん) (めづらしいせ)	チントー	陳套(ちん) (ふるくさい)
チンシヤ	陳謝(ちん) (おやまる)	チンゾー	賃錢(ちん) (てまらん)	チントー	枕頭(まくら) (まくらもと)
チンジユ	鎮守(しん) (その土地を鎮)	チンダイ	珍藏(しん) (大切になさむ)	チンニョー	闖入(にやう) (勢あらく入)
チンジョフ	鎮守府(しん) (海軍の根拠)	チンダン	鎮臺(しん) (一地方を鎮む)	チンバ	跛(びつ) (不具者の一)
チンシヨ	陳叙(ちん) (のべる)	チンチャク	珍談(しん) (めづらしいは)	チンピ	陳皮(ちん) (みかんの皮)
チンシヨ	珍書(めづらしい本)		沈着(しん) (心のおちつき)	チンプ	鎮撫(しん) (しづめなづけ)

チンプ	陳腐(ちん) (ふるくさいこと)	ツ	津(つ) (ふなつき)	ツイケイ	追啓(しん) (おつて申上げ)
チンブツ	珍物(めづらしいもの)	ツイ	對(たい) (二つがひのこと)	ツイゲキ	追撃(しん) (おひうちする)
チンブン	珍聞(めづらしいうわさ)	ツイエ	費(ひ) (ものいり)	ツイジ	築地(つきぢ) (つぎの音便)
チンブンカ	珍聞漢(わくのわか)	ツイカ	追加(つ) (後よりつけ加)	ツイシヨ	追賞(しん) (あとより賞)
チンボ	珍寶(めづらしい宝)	ツイカイ	追懷(つ) (後よりおも)	ツイシヨ	追従(しん) (へつらひお)
チンボツ	沈没(しづむこと)	ツイガン	追願(つ) (追加のねがひ)	ツイセキ	追跡(しん) (あとをおひか)
チンミ	珍味(よいあじ)	ツイキヤ	追究(つ) (おひつめき)	ツイセキ	追惜(しん) (死んだ人を)
チンメン	沈瀆(しん) (酒におほれる)	ツイキョ	追求(つ) (あとより求)	ツイゼン	追善(しん) (死者の冥福を)
チンメン	珍面(めづらしいかほ)	ツイキョ	追及(つ) (おひつき)	ツイソ	追想(しん) (後よりおも)
チンモク	沈黙(しん) (だまつて居る)	ツイキョ	對句(たい) (詩文で相對す)	ツイソ	追贈(しん) (死後よりお)
チンリン	沈淪(しん) (おちしづむこと)	ツイク		ツイタチ	朔(しん) (一月のはじめ)
チンレツ	陳列(ちん) (ならべたてる)			ツイデ	尋(しん) (つぎの音便)

ツイデ	序 (しだい)	ツイラク	墜落 (もの、おちる)	ツイギ	通義 (一般に通じる)
ツイト	追悼 (死者を思出)	ツイヤス	費 (金などをたつか)	ツイギョ	通曉 (くはしく知り)
ツイト	追討 (おひかけう)	ツウ	通 (物事をよく知)	ツウキン	通勤 (つとめにかよ)
ツイナ	追儺 (鬼やらひ)	ツウイン	痛飲 (大酒をのむ)	ツウケイ	通計 (あはせだか)
ツイニ	途 (終)	ツウイン	通韵 (詩のー)	ツウケン	通券 (通りにてがた)
ツイバム	啄 (口ばしでつく)	ツウウン	通運 (もちばこび)	ツウゲン	痛言 (きつくいさめ)
ツイビ	追尾 (ツイセキに同)	ツウオン	通音 (いふ類)	ツウゴ	通語 (通言、一部に)
ツイフク	對幅 (對になつたか)	ツウカ	通貨 (通用する貨幣)	ツウコ	通行 (通りゆくこと)
ツイフク	追福 (死後のしあは)	ツウカ	通過 (とほりすぎる)	ツウコク	通告 (しらせる)
ツイホ	追捕 (わるものをと)	ツウカイ	痛快 (こくきもち)	ツウコク	通國 (くにちゆう)
ツイホ	追慕 (後より思ひ出)	ツウガク	通學 (かよひ學ぶと)	ツウコク	痛哭 (いたくなげく)
ツイホ	追放 (おひはらふと)	ツウカン	通患 (通弊)	ツウコン	痛恨 (はなはだしく)

ツウサン	通算 (ぜんたいを通)	ツウセン	通船 (かよひぶね)	ツウワウキ	通風器 (かぜを送入)
ツウジ	通事 (通辯)	ツウソ	痛楚 (いたみくるし)	ツウヘイ	通弊 (一般に通じた)
ツウシヨ	通稱 (とほり名)	ツウソク	通則 (おしなべての)	ツウベン	通辯 (通事のこと)
ツウシヨ	通宵 (夜どほし)	ツウゾク	通俗 (一般にわかり)	ツウホ	通法 (一般に通じた)
ツウシヨ	通商 (外國とのあ)	ツウダツ	通達 (しらせ)	ツウホ	通寶 (寛永一)
ツウジヨ	通常 (なみ、あた)	ツウタン	痛歎 (大になげく)	ツウホ	通報 (しらせ)
ツウジヨ	通情 (普通の人情)	ツウチ	通知 (しらせ)	ツウヤク	通譯 (通事のこと)
ツウシン	通信 (たより)	ツウチヨ	通牒 (しらせぶみ)	ツウユ	通有 (すべてにある)
ツウシン	痛心 (心をいためる)	ツウト	痛悼 (大になげく)	ツウヨ	痛痒 (いたみとかゆ)
ツウジン	通人 (通な人、いき)	ツウドク	通讀 (よみとほす)	ヨウヨ	通用 (かよはし用ゐ)
ツウセキ	痛惜 (いたみあしむ)	ツウニヨ	通尿 (小便をとほす)	ツウラン	通覽 (みとほすこと)
ツウセツ	適切 (よくあたるこ)	ツウフウ	痛風 (病の名、リウ)	ツウリキ	通力 (不思議なちか)

ツウレイ	通例(あたりまへ)	ツカエル	間(支、つかふ)	ツキ	月(一日)
ツウロ	通路(かよひみち)	ツカサドル	掌(とりあつかふ)	ツギ	次(後につづく)
ツウロン	通論(一般に通じた論)	ツカネル	束(たばねる、つかまへる)	ツキアタル	衝突(しようつつ)
ツエ	杖(身のたすげに)	ツカマエル	捕(とらへる、捉)	ツキカゲ	月影(つきのかげ)
ツカ	柄(刀劍の手にて)	ツカマツル	仕(いたすの敬語)	ツキガネ	鐘(つり鐘)
ツカ	塚(土を築きあげた墓)	ツカム	掴(捉)	ツギキ	接木(木をつぐこと)
ツカ	束(一つかみのと)	ツカル	浸(水に)	ツキソイ	附添(一人)
ツガ	耨(木の名)	ツカレル	疲(おとろへよわ)	ツキダシ	突出(つきだす)
ツカイ	使(用事をほする)	ツカワス	遣(つかはす)	ツキナミ	月並(月次、毎月あ)
ツガイ	番(くみあつたもの)	ツガン	通鑑(本の名)	ツキヒ	月日(月と日、光陰)
ツカウ	使(もちあふる)	ツキ	付(候に)	ツキビト	附人(ついてゐる人)
ツカエル	仕(事)	ツキ	槻(木の名)	ツキミソ	月見草(草の名)

ツキモノ	附物(附屬物)	ツク	突、衝(前にきつく)	ツクシ	土筆(草の名)
ツキヤウ	付合(際、まじまる、交)	ツク	盡(ツキル)	ツクス	盡(滅)
ツキヤク	月役(月経)	ツク	着(東京に)	ツクズクシ	土筆(草の名、つ)
ツキヤマ	築山(假山)	ツク	就(先生に)	ツクダ	佃(つくり田の略)
ツキル	盡(なくなる、つ)	ツク	即(位に)	ツクダニ	佃煮(食物の名)
ツク	木兎(鳥の名)	ツク	憑(のりうつる)	ツクツクボ	寒蟬(虫の名、蛸螿)
ツク	附(あふ、いたるが)	ツグ	注(そそぎ入れる)	ツクナウ	償(うめるはせを)
ツク	築(きづく)	ツグ	繼(あはせつける)	ツクネイモ	佛掌薯(いもの一種)
ツク	搗(うすでつく)	ツグ	次(あとにくる)	ツクネニン	泥人形(人形の一種)
ツク	撞(鐘を)	ツクイモ	佛堂薯(いもの一種)	ツクネント	拱手(何もせず)
ツク	春(うすづく)	ツクエ	机(物をのする臺)	ツクバウ	蹲踞(うづくまる)
ツク	搗(うちたたく)	ツクシ	筑紫(九州のこと)	ツクバネ	衝羽根(はね、羽子)

ツクバネ	胡鬼子(植物の名)	ツゲグチ	告口(人の事をかけ)	ツコーマツ	仕(つかへまつる)
ツグミ	鵜(鳥の名)	ツケタリ	附(つけ加へたも)	ツゴモリ	晦(三十日の日)
ツグム	噤(口をふさぐ)	ツケトドケ	附届(盆暮のー)	ツジ	辻(路の十字をなす處)
ツクモ	九十九(一髪)	ツケナ	漬菜(つけた菜)	ツジウラ	辻占(菓子から出る小紙の文句)
ツクリ	旁(漢字の右の部)	ツケネ	附根(枝のみきにつらなるところ)	ツジツマ	條理(すぢみち)
ツクリ	粧(よそほひ)	ツケネ	附直(つけねだん)	ツズク	續(たえずつながらる)
ツクル	作(造)	ツケモノ	漬物(食物の名)	ツズマヤカ	約(つつまやか)
ツクロウ	繕(修めなほす)	ツケヤキ	附焼(魚を醬油つけてやくこと)	ツズミ	鼓(楽器の名)
ツゲ	黄楊(木の名)	ツケヤキバ	付焼刃(いれちる)	ツズラ	葛籠(器具の名)
ツケギ	附木(琉黄なぬつた)	ツケル	漬(水へいれる)	ツズラオリ	九折坂(羊腸)
ツケジエ	付知恵(人よりつけられたちる)	ツゲル	告(つぐ)	ツズル	綴(つたぎあはす)
ツケジョー	附狀(時臣にだす手紙)	ツゴー	都合(手はづ)	ツズレ	襪(はく)

ツズレ	綴(一の錦)	ツチフマズ	土不踏(足のうらの一部分)	ツツッポ	筒袖(ツツツテに同)
ツタ	葛(草の名)	ツツ	筒(圓長で中空のもの)	ツツミ	包(物をくるめしもの)
ツタエル	傳(つたへる)	ツツガ	恙(わづらひ)	ツツミ	堤(水なふせぐ土手)
ツタワル	傳(つたはる)	ツツカウ	支(さへる)	ツツム	鼓(楽器の名)
ツチ	髓(器具の名)	ツツカケ	突掛(つきかける)	ツツム	包(褰)
ツチ	土(地球の表面を)	ツツク	突(たびくつ)	ツツテ	傳(つたへの約)
ツチ	地(地球の外皮)	ツツコム	突込(つきこむ)	ツツト	髻(女の髪のため)
ツチカウ	培(土をかけ養ふ)	ツツジ	躑躅(木の名)	ツツト	苞(葉にて物をつめるもの)
ツチグモ	土蜘蛛(虫の名)	ツツシム	慎(謹)	ツツド	都度(たび)
ツチクレ	土塊(土のかたまり)	ツツソデ	筒袖(もとなく筒の如き細き袖)	ツツドウ	集(あつまる)
ツチノエ	戊(十千の一)	ツツタツ	突立(つきたつ)	ツツトニ	夙(朝早く)
ツチノト	巳(十千の一)	ツツパル	突張(つきはる)	ツツトメル	勤(勉、勤)

ツナ	網 (ひもの太いもの)	ツバ	鐔 (刀劍の)	ツボ	坪 (一間四方)
ツナグ	繫 (つらける)	ツバキ	唾 (口より出る液)	ツボスウ	坪敷 (地坪のかず)
ツナヒキ	綱曳 (つなをひきあふこと)	ツバキ	椿 (木の名)	ツボネ	局 (へやの名又女官)
ツナミ	津浪 (海水の荒れるもの、海嘯)	ツバサ	翼 (鳥虫などのほれ)	ツボミ	苔 (花のひらかぬもの)
ツネ	常 (恒)	ツバメ	燕 (小鳥の名、つばくらのめ)	ツマ	妻 (つれあひの女)
ツネギ	常着 (ふだんぎ)	ツブ	粒 (米の一つ一つのこと)	ツマ	褌 (衣服の下のへり)
ツネテイ	常體 (普通のさま)	ツブサニ	具 (こまかに)	ツマカワ	爪草 (下駄の—)
ツノ	角 (牛鹿などの頭にあるもの)	ツブス	潰 (おしくづす)	ツマシ	儉 (おごらない)
ツノマタ	角俣 (赤菜、海草の名)	ツブテ	礫 (なげやる小石)	ツマズク	蹶 (蹉跌)
ツノメダツ	角日立 (かどだつ、唯咄)	ツブヤク	啞 (私語)	ツマダツ	爪立 (跂)
ツノル	募 (もとめあつむ)	ツブレル	潰 (つぶる)	ツマド	妻戸 (ひらき戸)
		ツボ	壺 (器具の名)	ツマハジキ	爪弾 (人をそしりのけること)

ツマビラカ	審 (詳)	ツムジカゼ	旋風 (うづをなして吹く風)	ツラ	列 (ならび、れつ)
ツمام	撮 (爪にてとりあげる)	ツメ	爪 (指の先きにあるもの)	ツラ	面 (かほ、めん)
ツマヨージ	爪楊子 (小楊子)	ツメシヨ	詰所 (人のあつまる所)	ツラアテ	面當 (面前ではちをあたへる)
ツマリ	詰 (をばり)	ツメル	抓 (つめさきでひねる)	ツラシ	酷 (むごい、くるしい)
ツミ	罪 (おきてを破る行)	ツメル	詰 (つまらせる、ふさぐ)	ツラツラ	熟 (侍)
ツミクサ	摘草 (くさをつむと)	ツモジ	津綴子 (織物の名)	ツラナル	列 (ならぶ)
ツミタテ	積立 (—金)	ツモル	積 (つみかさなる)	ツラニクシ	面憎 (かほ見てもにくい)
ツム	摘 (つまみとると)	ツヤ	艶 (光澤)	ツラヌク	貫 (端から端までとほす)
ツム	積 (かさね)	ツヤ	通夜 (夜どほし)	ツラネル	列 (ならべる)
ツム	紡錘 (糸車につける大針)	ツユ	露 (草葉の上におく水)	ツラマウ	捉 (とらへる、つかまへる)
ツムギ	紬 (織物の名)	ツユ	梅雨 (夏の半の長雨)	ツラマル	緘 (すがる)
ツムグ	紡 (糸をとる)	ツヨシ	強 (よわくなし)	ツラマル	被捉 (つかまへられ)

ツラテ	氷柱 (したたりの氷)	ツル	釣 (ひつかげさげる)	ツワル	熟 (じゆくするを)
ツリザオ	釣竿 (魚をつる竿)	ツルギ	劍 (けん)	ツンザク	劈 (つきさく)
ツリセン	釣銭 (おつりのせに)	ツルハシ	鶴嘴 (地をうがつ具)	ツンボ	聾 (耳のきこえぬ)
ツリダイ	釣臺 (物をのせてか)	ツルベ	釣瓶 (井の水を汲む)		
ツリテ	吊手 (蚊帳のし)	ツレズレ	徒然 (無聊)		
ツリドコ	釣床 (船中で用ゐる)	ツレダツ	連立 (一つしよに行)		
ツリバリ	釣針 (魚つりばり)	ツレナシ	強顔 (情なし)		
ツリヤイ	釣合 (平均、權衡)	ツレヤイ	連合 (配偶)		
ツル	弦 (弓などの)	ツレル	連 (共にゆかしめ)		
ツル	吊 (つるす)	ツレル	拘攣 (筋が)		
ツル	藪 (草木の)	ツワモノ	兵 (いくさ人)		
ツル	鶴 (鳥の名)	ツワリ	惡皿 (擇食)		

て

テアライ	手洗 (てをあらふ)	テイガク	停學 (學校へ出るの)	テイケン	定見 (定まつた考)
テアワセ	手合 (對手にたつ)	テイカン	定款 (法人の規約)	テイゲン	低減 (へらすこと)
テイ	丁 (ひのと、甲乙)	テイキ	定期 (きまつたとき)	テイゲン	定限 (かぎり)
テイ	亭 (あづまや)	テイギ	廷議 (朝廷の議)	テイゲン	遞減 (同差でへつて)
テイ	泥 (どろ、金)	テイキアツ	低氣壓 (ひくい氣壓)	テイゴ	亭午 (まひる、正午)
テイイ	帝位 (天子の御位)	テイキユ	庭球 (ローンテニス)	テイゴ	抵悟 (つきあたる)
テイイン	定員 (定まつた人数)	テイキユ	涕泣 (なくこと)	アイコ	抵抗 (はりあふこと)
テイエン	庭園 (には)	テイキョ	提供 (出し示すこと)	アイコ	泥工 (左官)
テイオー	帝王 (帝と王と)	テイキン	庭訓 (家庭の教育)	テイコク	啼哭 (なきさけぶ)
テイカ	定價 (さだまつたあ)	テイケ	手活 (手づから花を)	テイコク	定刻 (定めの時刻)
テイカイ	停會 (會をとめる)	テイケイ	提携 (たづさへると)	テイコク	帝國 (帝を戴く國)
テイガク	定額 (きまつたたか)	テイケツ	締結 (約束をむすぶ)	テイサイ	體裁 (ありさま)

テイサツ	偵察(うかがひ察す)	テイジョ	貞女(みさを正しい)	テイセイ	訂正(誤を正すこと)
テイシ	底止(とどまる)	テイジョ	剃除(そりのける)	テイセツ	定説(定まりたる説)
テイシ	停止(さしとめると)	テイジョー	庭上(にはさき)	テイセツ	貞節(みさを正しい)
テイシ	呈示(出ししめす)	テイジョー	呈上(さしあげる)	テイゼン	庭前(にはさき)
テイジ	丁字(丁の字のかた)	テイシヨク	停職(謹慎をす為職をとめられる)	テイソ	遞送(おくること)
テイシツ	帝室(天子の御一家)	テイシヨク	抵觸(さしはると)	テイソ	貞操(みさを)
テイジツ	貞實(女のみさをた)	テイシン	遞信(一省)	テイソク	定則(定まりたる規)
テイシヤジヨ	停車場(女のみのこと)	テイシン	挺身(人よりぬきん)	テイソク	鼎足(かなへのあし)
テイシヤバ	停車場(汽車のとも)	テイスイ	定數(きまつたかず)	テイソク	停滯(とどこほり)
テイシユ	亭主(主人、あるじ)	テイセイ	泥酔(大酔)	テイタイ	梯隊(はしごがたの)
テイシユク	貞淑(みさを正しく)	テイセイ	定省(みまふこと)	テイタイ	邸第(やしき)
テイシユツ	提出(さしげいだす)	テイセイ	鄭聲(みだらなうた)	テイダイ	

テイタク	邸宅(やしき)	テイト	低頭(あたまを下ぐ)	テイボ	堤防(つゝみ)
テイタラク	爲體(ありさま、な)	テイトク	提督(高級の將校)	テイマイ	弟妹(おとと、いも)
テイタン	泥炭(炭の一種)	テイトク	帝德(天皇の御德)	テイマイ	帝命(天子の命令)
テイチ	偵知(敵情をうか)	テイナイ	邸内(やしきうち)	テイメイ	締盟(ちかひをむす)
テイチヨ	諦聽(たしかにきく)	テイネイ	丁寧(ねんころ)	テイメン	體面(タイメン)
テイチヨ	鄭重(大切)	テイネイ	泥濘(どろ)	テイヤク	締約(條約をとりき)
テイテイ	延丁(裁判所の小使)	テイネン	丁年(廿歳)	テイラ	偵邏(うかひまは)
テイテツ	蹄鐵(馬のひづめに)	テイネン	遞年(まいとし)	テイラク	低落(ひきさがると)
テイデン	停電(電氣の不通)	テイハク	碇泊(舟の泊ること)	テイラン	提籃(てかご)
テイト	帝都(みやこ)	テイハツ	剃髮(かみをそると)	テイリ	定理(さだまりたる)
テイド	程度(どあひ)	テイフ	貞婦(貞女)	デイリ	出入(ではいり)
テイト	抵當(ひきあてにす)	テイボ	帝謨(天皇の御政治)	テイリツ	鼎立(三方にならび)

テイリツ	定律(きまつた法則)	テガイ	手筒(手づからかふ)	デカワリ	出替(いでかはると)
テイリユ	停留(とどまる)	テカケ	妾(せふ、めかけ)	テキ	敵(かたき、あひ)
テイリヨ	定量(きまりの分量)	デガケ	出掛(これから出よ)	テキ	的(まと、あきら)
テイルイ	涕淚(なみだ)	テカズ	手敷(てまのかい)	デキ	出来(でき、え、で)
テイレ	手入(なほす、ほぞ)	デカセギ	出稼(出てはたらく)	デキアイ	出来合(すでに遣り)
テイレイ	定例(きまり)	テガタ	手形(證券)	デキイ	適意(こころにかな)
テイレツ	貞烈(婦人の操のこと)	デカタ	出方(話するもの)	テキイ	敵意(てきとするこ)
テイレン	低廉(價のやすきこと)	デガタリ	出談(舞臺にのぼり)	テキエ	敵營(てきのちんや)
テオイ	手負(負傷)	テガミ	手紙(書簡)	テキガイ	敵愾(一中心)
テオケ	手桶(さぐる桶)	テガラ	手柄(功勳)	テキキ	手利(うでのつよい)
テオチ	手落(粗瀧)	テガラ	手絡(女のかみかざ)	テキギ	適宜(ほどよきこと)
テオドリ	手踊(などりの名)	テガル	手輕(輕便)		

テキゴ	適合(あてはまる)	テキチ	敵地(てきのぢめん)	テキメン	靚面(その報いは)
テキサ	摘載(つまみしるす)	テキチュ	的(たしかにあ)	テキヤク	適役(はまりやく)
テキシ	溺死(水死)	テキド	適度(ほどよきこと)	テキヤク	適藥(はまりたる)
テキシ	敵視(てきとしてあ)	テキト	偶儻(すぐれたると)	テキヨ	擢用(ぬきんで用ゑ)
テキシユ	敵手(てきのてのう)	テキト	適當(よくかなふと)	テキヨ	適川(役に立つると)
テキシユツ	摘出(ぬきだすこと)	テキニン	適任(そのやくにか)	テキヨ	摘要(肝要の處をぬ)
テキシヨ	的證(明なる證)	デキバエ	出来映(出来上りの)	テキル	出来(こしらへられ)
テキシヨ	敵城(てきのしろ)	テキハツ	摘發(見出しあばく)	テキル	敵壘(てきのだいは)
テキシジ	敵陣(てきのちん)	テキヒ	適否(丁度よいかわ)	テキレイ	適齡(徴兵一)
テキズ	手疵(負傷)	テキヘイ	敵兵(敵の兵士)	テキレイ	的例(適例)
テキセツ	適切(よくあたる)	テキホ	適法(よくあてはま)	テキレイ	適例(ちやうどよい)
テキタイ	敵對(てむかふこと)	テキボツ	溺没(おぼれしぬ)	テギレイ	手綺麗(てぎほのよ)

テギワ	手際 <small>（出来映）</small>	テゴボコ	凸凹 <small>（でくぼくの訛）</small>	テジョー	手錠 <small>（手にはめる）</small>
デキワク	溺惑 <small>（おぼれまどふ）</small>	テコマイ	手兒舞 <small>（踊の一種）</small>	テジョーブ	手丈夫 <small>（堅牢）</small>
テキン	手金 <small>（てつけ）</small>	テゴメ	手込 <small>（腕力で他の身に勝つ）</small>	テシヨク	手燭 <small>（小さき燭臺の）</small>
デク	木偶 <small>（にんぎやう）</small>	テゴロ	手頃 <small>（自分の力にかなふほどの事）</small>	テスウ	手數 <small>（てかず）</small>
テクダ	手管 <small>（かけひきの手）</small>	テサカリ	出盛 <small>（人の多く出る）</small>	テズカミ	手摺 <small>（手で食物をつかむこと）</small>
デクノボ	傀儡 <small>（木偶、のろま）</small>	テサグリ	手探 <small>（てさきでさぐ）</small>	テスキ	手透 <small>（てあき）</small>
テクバリ	手配 <small>（したく、用意、部署）</small>	テサゲ	手提 <small>（手にさげてもつもの）</small>	テズギ	出過 <small>（分をこえてさ）</small>
テクビ	手首 <small>（手の腕と掌とつながる部分）</small>	デシ	弟子 <small>（門人）</small>	テズケ	手付 <small>（てつけ）</small>
デクボク	凸凹 <small>（たかひく）</small>	テシオザラ	手鹽皿 <small>（小皿）</small>	テズメ	手詰 <small>（厳重におしつ）</small>
テグルマ	轆 <small>（人手でかくく）</small>	テシタ	手下 <small>（配下、くみし）</small>	テスリ	欄 <small>（欄干）</small>
テコ	挺 <small>（楨杆）</small>	テジナ	手品 <small>（手藝の名）</small>	テズリ	手刷 <small>（きかいですりに）</small>
テゴタエ	手應 <small>（わが手に應ずる感じ）</small>			テズル	手蔓 <small>（てがかり、た）</small>

テセイ	手製 <small>（自分でつくる）</small>	テツカン	鐵艦 <small>（鐵製のぐんか）</small>	テツシヨ	徹宵 <small>（よどほし）</small>
デソメ	出初 <small>（年内はじめ）</small>	テツカン	鐵管 <small>（てつのくだ）</small>	テツシヨ	鐵屑 <small>（てつのくづ）</small>
テダイ	手代 <small>（商家の）</small>	テツカン	鐵針 <small>（やつとこ）</small>	テツジヨ	鐵杖 <small>（てつのつゑ）</small>
テダシ	手出 <small>（争をしかける）</small>	テツガン	鐵丸 <small>（てつのたま）</small>	テツジヨ	鐵條網 <small>（戦時防禦物の名）</small>
テダテ	手段 <small>（方法）</small>	テツキヨ	撤去 <small>（とりのくると）</small>	テツジン	哲人 <small>（かしこい人）</small>
テダマ	手玉 <small>（女子のおもち）</small>	テツキヨ	鐵橋 <small>（鐵づくりのは）</small>	テツズキ	手續 <small>（てじゆん）</small>
テダラメ	出鱈目 <small>（でばうだい）</small>	テツケツ	別扶 <small>（ほりくじる）</small>	テツセキ	鐵石 <small>（てつといし）</small>
テチガイ	手遣 <small>（央敗）</small>	テツケン	鐵拳 <small>（かたきこぶし）</small>	テツセン	鐵扇 <small>（扇の一種）</small>
テチヨ	手帳 <small>（手帖）</small>	テツコ	手甲 <small>（手の甲を覆ふ）</small>	テツソ	鐵窓 <small>（鐵ばりのまど）</small>
テツ	鐵 <small>（鐵物の名）</small>	テツサ	鐵渣 <small>（かなくそ）</small>	テツダイ	手傳 <small>（他人の仕事をつたへ）</small>
テツカイ	撤回 <small>（とりさげ）</small>	テツサ	鐵鎖 <small>（てつのくさり）</small>	デツチ	丁稚 <small>（商店の小僧）</small>
テツガク	哲學 <small>（學問の名）</small>	テツサク	鐵柵 <small>（鐵のかき）</small>	テツチヨ	鐵腸 <small>（かたき鐵）</small>

テツツイ	鐵槌(鐵のつち)	テッポー	鐵棒(鐵のぼう)	テヌキ	手貫(手にはめる袋)
テツテイ	徹底(底までとく)	テッポ	鐵砲(銃)	テヌグイ	手拭(手又は身體をふくもの)
テツテイ	鐵蹄(馬の爪にうつかなぐ)	テツメンピ	鐵面皮(はぢしらす)	デバ	出齒(そり出た前齒)
テット	跌宕(勢あること)	テツヤ	徹夜(よどほし)	デバ	出刃(刃物の名)
テツド	鐵道(汽車などの通るみち)	テツリ	哲理(おくぶかい學理)	テハズ	手筈(手順)
テットーテ	徹頭徹尾(終始)	テナベ	手鍋(とりたべ)	テバナ	出花(茶へ始めて湯を注いだもの)
テツパイ	竹筏(臺灣の舟の一種)	テナミ	手並(伎倆)	デバナ	出端(はじめ、出ぎ)
テツピツ	鐵筆(印刻に用ゐる小刀)	テナライ	手習(習字)	テバナス	手放(其まゝにする、うり拂ふ、出す)
テツビン	鐵瓶(器具の名)	テナレル	手馴(つかひなれる)	テバヤ	手早(敏捷)
テツブン	鐵粉(てつのこな)	テニオハ	弓爾平波(た、は、か、の如き語)	テバル	手張(手にあまる、力およばず)
テツペキ	鐵壁(堅城)	テニモツ	手荷物(てまはりの荷物)	デハル	出張(前へ突き出す)
テツペン	天邊(あたま、いた)				

テビカエ	手控(おぼえがきの帳面)	テマリ	手毬(おもちゃの名)	テワケ	手分(部署、分擔)
テビキ	手引(案内)	テマワシ	手廻(準備)	テン	天(そら、うへ)
テビロ	手廣(構へ廣し、事多し、交際廣)	テマワリ	手廻(もちか、て)	テン	點(ちよぼ、くぎりのしるし)
テブクロ	手袋(手套)	デミセ	出店(本店のわかれ)	テン	貂(けもの名)
テフダ	手札(なふだ、名刺)	テムカウ	手向(抵抗)	デン	傳(つたへ、人の生涯の事績)
テホーダイ	出放題(でまかせ)	テモト	手元(手許)	デンイ	天意(天の、こころ)
テホドキ	手解(始めて教へる)	デモドリ	出戻(もとへかへる)	デンイ	天位(天子の位)
テホン	手本(習字のー)	テラ	寺(寺院)	デンイ	天威(天子の威光)
テマ	手間(賃)	テラウ	街(みせびらかす)	デンイン	店員(みせのひと)
テマエ	手前(自分、うでま)	テラス	照(物に光を興ふ)	デンウ	殿宇(ごてん)
テマエ	手前(へ、こちら、き)	テル	照(日が)	デンウン	天運(自然のまはり)
テマメ	手實(手を休めず働)	デル	出(水が)	デンエン	田園(田とその、あな)

テニオン	天恩(天子の御恩)	テニカン	轉換(いれかへる)	テング	天狗(想像の異高動物、自慢する)
テニカ	天下(世界)	テニガン	點眼(めにさしこむ)	テングウ	天空(そら)
テニカ	點火(火をつける)	テニガン	天顔(天子のおかほ)	テニケイ	典型(てほん)
テニカ	轉訛(ことばのなま)	テニキ	天機(神のひめごと)	テニケイ	天刑病(らいびやう)
テニカ	添加(そべくはへる)	テニキ	天氣(そらの有様)	テニケン	點檢(しらべあらた)
テニカ	殿下(親王の敬稱)	デンキ	傳記(人の一生の事)	テニケン	天險(天然のけはし)
テニカイ	展開(ひらくこと)	デンキト	電燈(エレキの作用)	テニコ	典故(ふるいこと)
テニガイ	天涯(そら)	テニキョ	轉居(住居をかへる)	テニコ	點呼(よびしらべる)
テニガイ	天蓋(寺院の法具の)	テニキョ	癡狂(きちがひ)	テニコ	天候(そらのけしき)
テニガク	田樂(樂の名)	テニギョ	轉業(業務をかへる)	テニコ	天工(天のしわざ)
テニカン	癩癩(病の名)	テニキヨホ	天氣豫報(めあらかじ)	テニコ	電光(いなづま)
テニカン	展觀(ひろげみる)		しらすと	テニコク	篆刻(印に文字をほ)

テニゴク	典獄(官の名)	テニシ	天子(天皇)	デンシヤ	殿舎(立派ないへ)
テニゴク	天國(極樂淨土)	テニシ	天資(うまれつき)	デンシヤ	電車(電氣車)
テニゴン	傳言(ことづて)	テンジ	典侍(女官の名)	デンシヤク	天爵(うまれつきえ)
テニサ	碾茶(ひきちや)	テンジ	轉字(さかきになつ)	テニシユ	天守(城の上高く)
テニサイ	天災(天のわざはひ)	テンジ	篆字(字跡の一)	テンジユ	天授(うまれつき)
テニサイ	天才(うまれつきの)	デンジ	田地(田になつた地)	テンジユ	天壽(定まれる命)
テニサイ	轉載(うつしのせる)	テンジク	天竺(印度のこと)	デンジユ	傳授(つたへさづけ)
テニザイ	點在(ぼつちら)	テニシツ	天質(うまれつき)	テンジユ	填充(あてうづめ)
テニサク	添削(詩文などを直)	テニシヤ	天赦(一日)	テンジユ	轉住(すまひがへ)
テニサツ	殄殺(ころしたやす)	テンジヤ	點者(歌の評をつけ)	テンジユ	傳習(つたへならふ)
テニサン	天産(自然に産する)	デンシヤ	傳寫(うつす)	テニシヨ	添書(そへ手紙)
テニザシ	點算(和算の代數學)	デンシヤ	田舎(あな)		

テンシヨ	篆書(書體の名)	テンシン	點心(小中飯、茶菓)	テンセン	轉戰(こいかしこに)
テンジヨ	天女(あまつなとめ)	テンシン	天真(生れついたま)	テンゼン	恬然(へいきなこと)
テンシヨ	譚笑(へつらひわら)	テンジン	天神(あまつかみ)	デンセン	傳染(うつりつたは)
テンシヨ	典章(おきて)	デンシン	電信(電氣の力で通)	デンセン	電線(電信用のほり)
テンジヨ	天上(天のうへ)	テンスイ	天水(あまみづ)	デンソ	田租(田より出すみ)
テンジヨ	天井(やねのうら)	テンスウ	點數(試験ー)	デンソ	天祚(天皇のくらゐ)
テンシヨ	天象(そらもやう)	テンセイ	天性(うまれつき)	デンソ	天祖(天皇の御先祖)
テンジヨ	天壤(あめつち)	テンセイ	天成(天のなせるわ)	デンソ	傳奏(天子に上聞す)
テンジヨ	殿上(御殿のうへ)	テンセキ	典籍(しよもつ)	デンソ	傳送(つたへおくる)
デンジヨ	傳承(つたへきくと)	テンセキ	轉籍(戸籍をうつす)	テンソク	墳塞(ふさぐこと)
テンシヨク	天職(人間のつとめ)	テンセツ	傳説(かたりつたへ)	テンソク	天孫(天照皇太神の)
テンシヨク	轉職(職をかへる)	テンセン	點線(點からできた)	テンタイ	天體(星辰全體の稱)

テンタイ	轉貸(またがし)	テンチヨ	天長節(天皇の御誕)	テント	纏頭(藝人などに贈)
テンダイ	天台(一宗、佛教)	テンテイ	天帝(天のかみ)	テンド	天道(天のみち)
テンタク	轉宅(やうつり)	テンテキ	點滴(あまだれ)	テント	顛倒(ひつくりかへ)
テンタツ	傳達(つたへつけ)	テンテツ	顛跌(つまづく)	テント	點燈(あかりをつけ)
テンタン	恬淡(心のどやか)	テンテツ	點綴(つりまとめ)	テンド	天堂(耶穌教の語)
テンチ	電池(電氣をおこし)	デンテツ	電鐵(電氣鐵道の略)	テンド	轉動(ふしまるぶ)
テンチ	天地(あめつち)	テンテン	轉帳(ねがへり)	テント	傳燈(佛敎をうけつ)
テンチ	轉地(土地がへ)	デンデン	兆鼓(おもちゃの名)	テント	電燈(電氣でとぼす)
テンチャ	點茶(抹茶をたてる)	ムデン	蝸牛(虫の名、カギ)	デンド	傳道(道をつとふる)
テンチュ	天誅(天罰にて殺)	テント	天幕(てんまく)	デンド	殿堂(寺や社のこと)
デンチュ	電柱(電信柱)	テント	奠都(みやこをさだ)	テンニン	轉任(任務を轉ずる)
テンチヨ	天聽(天子の御耳)	テント	典當(しちもつ)	テンニン	天人(テンシヨに同)

テンネン	天然(おのづから)	デンプ	田夫(おなかもの)	デンポー	電報(電信)
テンノ	天皇(天子)	テンプク	顛覆(くつがへる)	テンマ	天魔(ばげもの)
デンバ	傳播(つたはりひろまること)	テンプラ	天麩羅(食物の名)	テンマ	傳馬(宿つぎ馬)
テンパイ	顛沛(すこしのひま) 天皇より	デンブン	傳聞(つたへきこと)	テンマク	天幕(テント)
テンパイ	天杯(天盃賜はるさ)	デンブン	濃粉(よどみたる粉)	テンマツ	顛末(事の始終)
テンバツ	天罰(天のとがめ)	デンブン	電文(でんしん文)	テンマド	天窓(屋根にあけて)
テンビン	天秤(ばかりの一種)	テンペイ	天兵(天皇に従ふ兵)	テンマン	天満(—天神)
テンビン	天禀(うまれつき)	テンペン	天邊(そらのはて)	テンメイ	天命(しぜんのうん)
テンピン	典品(しちもつ)	テンペン	轉變(うつりかへる)	テンメイ	天明(よあけ)
テンプ	添附(そへつくると)	テンポ	塵舗(あきなひや)	テンメツ	殄滅(亡し盡すこと)
テンプ	天賦(うまれつき)	デンポ	田圃(たばた)	テンメン	纏綿(まとひつくこと)
デンプ	田蕪(食物の名)	テンポ	典舗(しちみせ)	テンモ	天網(天のあみ)

テンモク	天目(—茶碗)	テンラン	天覽(天皇の御覽)	ト	戸(家の出入口)
テンモン	天文(天體の有様)	テンラン	展覽(ならべてみせ)	ト	斗(一升の十倍)
デンヤ	田野(はたけ、あな)	テンラン	天覽(御らん、見る)	ト	度(さし、かくど)
テンヤク	轉役(やくがへ)	テンリ	天利(自然の利理)	ト	斗(一升の十倍)
テンヤク	典藥(—察)	テンリ	天理(自然の道理)	ド	度(さし、かくど)
テンユ	詔諫(こびへつらふ)	テンリュ	天龍(—川)	ト	塔(五重の—)
テンユ	天祐(天のたすけ)	テンリュ	天領(の領地)	ト	塔(五重の—)
テンヨ	天興(天のあたへ)	デンリョ	田獵(野山の狩)	ト	藤(植物の名)
テンヨ	轉川(くりかへ、ゆ)	デンレイ	典禮(さしき、作法)	ト	堪(耐、たへる)
テンライ	天籟(風のこと)	デンレイ	傳令(命令をつたへ)	ド	銅(あかがね)
デンライ	傳來(つたはり来る)	デンワ	電話(電氣の作用で)	ト	偷安(一時の樂をむ)
テンラク	顛落(くつがへりお)	デンワ	電話(互に話す)	ト	當意(—即妙)

『と』

トイイ	東夷(あつまえびす)	ドーカ	道家(道教を奉ずる人、道士)	トイカク	登閣(内閣へでるこ)
ドイイ	同意(おなじこゝろ)	ドーカ	道歌(さとりのおうた)	トイカク	同格(同じ位)
トイイト	唐糸(はくらのい)	ドーカ	同化(同じになること)	トイガク	同學(おなじくまなぶ)
ドイイン	動員(ー令)	ドーカ	銅貨(銅錢)	トイカツ	統轄(すべをさめる)
ドイエイ	透影(ー畫)	トイガ	凍餓(こごえうゑる)	トイカツ	統括(すべくゝゐる)
トイオン	同音(おなじおん、聲をそろへる)	トイガ	堂下(古へ武家の稱)	トイガラシ	惆悵(しかりおどす)
トイカ	踏歌(ーの節會)	ドーカ	冬瓜(瓜の一種)	トイカン	唐辛(草の名)
トイカ	燈火(あかり)	トイガ	東海(ひがしのうみ)	トイカン	盜汗(れあせ)
トイカ	登遐(天子の崩御)	トイカイ	常該(そのもの)	トイカン	等閑(なほざり)
トイカ	藤花(ふちのはな)	トイガイ	等外(等のほか)	トイキ	同感(おなじ感じ)
トイガ	燈下(ともしびのも)	トイガイ			陶器(せともの)
	唐畫(からやうのゑ)				當季(このころ)

トイキ	投票(なげすてる)	トイキユ	等級(くらのゑ)	トイグ	道具(その道々につ)
トイキ	冬季(ふゆのじせつ)	トイキユ	同級(おなじ級)	トイグウ	東宮(皇太子)
トイキ	登記(ー所)	トイキヨ	同居(おなじく居る)	トイケ	當家(私方、このい)
トイキ	投機(かけひき、や)	トイキヨ	統御(すべをさめる)	トイゲ	峠(山みち)
トイキ	騰貴(物價の上る)	トイキヨ	東京(ー市)	トイケ	同家(同じいへすぢ)
トイキ	討議(トイロンに同)	トイキヨ	同郷(おなじむら)	トイケ	道化(おどけ)
トイキ	動悸(むなさわぎ)	トイキヨ	道教(老子のをしへ)	トイケイ	統計(すべかぞふる)
トイキ	動機(心の動かう)	トイギヨ	同行(同じく行く)	トイケイ	刀圭(醫家)
トイキ	同氣(おなじきまへ)	トイギヨ	同業(おなじしごと)	トイケイ	同慶(同祝)
トイキ	胴着(防寒のために)	トイキヨク	當局(局にあたる人)	トイケツ	同穴(同じあな)
トイキ	道義(人の行ふべき)	トイキン	同勤(おなじくつと)	トイゲツ	當月(こんげつ)
トイギ	動議(會議に意見をいひ出すこと)	トイキン	同衾(ともにねると)	トイゲツ	同月(おなじつき)

トトケン	刀劔(かたな)	ドーコー	同行(ともにゆく)	ドーサ	動作(ふるまひ)
トーケン	倒懸(さかさにぶら)	ドーコー	銅坑(銅をほりだすあな)	ドーザ	同座(同じ席にすわる)
トーゲン	桃源(安樂な仙境)	トーゴク	常國(このくに)	ドーサ	磐沙(明礬を膠にとしたるもの)
ドーケン	同懸(おなじけん)	トーゴク	東國(ひがしのくに)	トーサイ	當歳(ことし)
ドーコ	同權(同じ權)	ドーコク	働哭(かなしみくづれること)	トーサイ	登載(かきのせると)
トーコー	銅壺(器具の名)	トーゴマ	同國(おなじくに)	トーザイ	東西(ひがしにし、また、や)
トーコー	東行(ひがしへゆく)	トーコン	唐胡麻(胡麻の一種)	トーザイ	藤細工(藤で作つたもの)
トーコー	投稿(原稿をよせる)	トーコン	常今(いま、目下、現今)	トーザイ	同作(おなじつくり)
トーコー	陶工(陶器職)	トーコン	刀痕(刀のきりきず)	トーサツ	洞察(見ぬくこと)
トーコー	投合(情意—)	トーコン	痘痕(あばた)	トーサツ	倒産(財産を傾ける)
トーコー	瞳孔(目のひとみ)	トーサ	等差(同じきちがひ)	トーサン	常山(このやま、このてら)
トーコー	銅鑛(銅のあらかね)	トーザ	常座(さしあたり、そのば)	トーザン	

トーサン	逃散(のがれちる)	トージ	刀自(トツに同じ)	ドーシウチ	同士打(トシウチに同じ)
トーサン	動産(うごかしうる財産)	トーシ	導師(引導をつとむる僧)	トージク	等軸(礦物學の語、一面體)
トーザン	銅山(銅をほり出すやま)	トーシ	動詞(文法の語、はたらきことば)	トージツ	當日(その事のあつた日)
トーシ	透視(—畫)	トーシ	動止(うごくと、とまる)	ドーシツ	同質(おなじ性質)
トーシ	遠(はるか)	トージ	同時(おなじとき、共に)	トージシヤ	當事者(權利義務の主となる人)
トーシ	凍死(こらえじに)	トージ	答辭(あいきつもの)	トージメ	胴締(胴をしめるせまきおび)
トーシ	唐紙(紙の一種)	トージ	當寺(このてら)	トーシヤ	膽寫(うつすこと)
トーシ	唐詩(—選)	トーシ	道士(トウケに同じ)	トーシヤ	當社(このやしろ)
トーシ	島司(島をささめる役人の長)	トーシ	同志(志の同じきも)	ドーシヤ	礮砂(礦物の名)
トーシ	湯治(温泉などに入ること)	トーシ	同士(なかま)	ドーシヤ	道者(神佛にまゐるたびびと)
トーシ	當時(そのかみ)	トーシ	瞳子(ひとみ)	ドーシヤ	同車(おなじくるま)
トーシ	冬至(十二月廿二日頃)	トーシ	童子(こども)	ドーシヤ	堂舎(大小のいへ)

ドーシヤク	暲若(なごろきあき)	ドーシヨ	東照(一宮)	ドーシン	同心(おなじ心、昔の後名)
ドーシユ	當主(いまのあるじ)	ドージョ	堂上(堂の上)	ドージン	同人(同じ志の人)
ドーシユ	頭首(かしら)	ドージョ	道場(道をきばめるには)	ドージン	同仁(ひとしくめぐむこと)
ドーシユ	同種(おなじしゆる)	ドーシヨ	凍傷(しもやけ)	ドージン	道人(さとりをえたひと)
ドーシユ	踏襲(あとをふみつぐまねる)	ドーシヨ	洞簫(笛の一種)	トース	東司(廊)
ドーシユ	銅臭(せいのこと)	ドーシヨ	等身(からだとい)	トース	當世(いまのよのな)
ドーシユ	投宿(宿につくこと)	ドーシヨ	盗心(ぬすみのこころ)	トース	同勢(共につれだつ)
ドーシユ	同宿(おなじやどへ)	ドーシヨ	投身(身なげ)	トース	同姓(おなじ苗字)
ドーシユ	投書(寄書)	ドーシヨ	燈心(とうしん)	トース	動靜(やうす)
ドーシヨ	答書(返事)	ドーシヨ	唐人(唐の人)	トース	同席(ドーザに同じ)
ドーシヨ	當初(はじめ)	ドーシヨ	道心(菩提心、中年からの僧)	トース	當節(このころ)
ドーシヨ	當處(このところ)	ドーシヨ		トース	當選(えらびにあたること)

ドーセン	當籤(くじにあたること)	ドーゾ	何卒(なにとぞ)	トース	凍綬(うゑこりゆる)
ドーセン	東漸(次第に東へす)	トース	逃走(のがればしる)	トース	登第(及第)
ドーゼン	陶然(ふーとして酔)	トース	痘瘡(あばた)	トース	東大(一寺)
ドーゼン	當然(あたりまへ)	トース	凍瘡(しもやけ)	トース	燈臺(あかりだい)
ドーセン	登仙(仙人になつて)	トース	同窓(同窓)	トース	當代(いまのよ)
ドーセン	唐船(からぶね)	トース	銅像(銅でつくつ)	トース	動體(物理学で氣體)
ドーゼン	同前(まへとおなじ)	トース	盜賊(ぬすびと)	トース	到達(とどく)
ドーセン	同船(おなじふね、おなじくのりあ)	トース	同族(おなじ一族)	トース	同斷(同様)
ドーセン	銅線(銅のはりがね)	トース	道俗(さとつた人と俗な人)	トース	統治(すべをさめる)
ドーゼン	同然(おなじ)	トース	統率(すべひきある)	トース	島地(しまのち)
トース	登祚(天子の御位につかせられる)	トース	常村(このむら、私)	トース	到着(いたりつく)
		トース	淘汰(よりわけ)	トース	撞着(あつさきのこと)

ドーチユー	道中(途中)	トートー	到頭(おしまひに)	トーナス	唐茹(南瓜)
トーチョク	當直(とまりばん)	ドートー	同等(おなじ等位)	トーナシ	盜難(盜賊にあつた)
ドートイ	道程(みちのり)	ドートー	同黨(おなじなかま)	トーナシ	東南(ひがしみなみ)
トーツウ	疼痛(うづきいたむ)	ドートー	堂堂(いかめしい形)	トーニン	當人(そのひと)
トートイ	到底(つまるところ)	ドードー	同道(つれ立ちゆ)	ドーニン	同人(おなじひと)
トートツ	透徹(すきとほる)	トートク	統督(すべとりしま)	ドーヌ	胴拔(着物の胴へ他)
トートン	東天(ひがしのそら)	トートク	道徳(人の道)	トーネン	當年(その事のあつ)
トード	唐土(もろこし)	ドートク	尊(貴、たつとし)	ドーネン	同年(おなじとし)
トード	陶土(やきものになす)	トートシ	唐突(だしぬけ)	ドーネン	道念(道徳の根本)
トートー	鑿鑿(このおと)	トートツ	尊(うやまふ)	トーノイモ	唐芋(いもの一種)
トートー	蕩蕩(水のひろく)	トートブ	頭取(かしら)	トーノミネ	多武峰(談山)
トートー	滔滔(水の盛にたが)	トードリ			

トーハ	黨派(徒黨のわかれ)	トーヒツ	唐筆(支那のふで)	トーブシ	等分(ひとしく分つ)
トーバ	塔婆(墓にたてるも)	ドーヒツ	同筆(同じ人のかい)	トーブシ	當分(しばらくの間)
ドーハイ	同輩(なかま)	トーヒツ	刀筆(一の吏)	トーヘン	等邊(邊の長さのお)
ドーハイ	銅牌(銅の賞牌)	トービョー	投票(人を撰選す)	ドーヘン	同邊(おなじへん)
トーハツ	頭髮(かみのけ)	トービョー	投票(いかりをお)	ドーベン	答辯(いひひらき)
トーバツ	當伐(うつ)	トービョー	痘苗(種痘の材料)	トーンボク	唐變木(へんじんの)
ドーハン	同伴(つれだつ)	トーフ	豆腐(食物の名)	ドーボ	同母(母のおなじ)
トーバン	當番(ばんにあたる)	トーフ	頭部(あたま)	トーホー	東方(ひがしのかた)
ドーハン	銅版(あかがねのは)	トーフウ	東風(ひがしのかぜ)	トーホー	當方(この方)
ドーハン	同藩(おなじ藩)	ドーフク	同腹(おなじ母から)	トーボ	逃亡(にぐること)
トーヒ	橙皮(だいたいのか)	トーブツ	唐物(舶來もの)	ドーホー	同胞(はらから)
トーヒ	當否(理にあふかあ)	ドーブツ	動物(いきもの)	ドーホー	働蜂(はたらくはち)

トールホク	東北(ひがしきた)	ドーメイ	同盟(あひちかふと)	トールヨ	盗用(ぬすみ用ある)
トールホン	膳本(うつつし)	トールメツ	討滅(うちほろぼす)	トールヨ	東洋(亞細亞諸國の總名)
トールホン	唐本(支那の本)	ドーモ	童蒙(幼年)	ドーヨ	動搖(うごくこと)
ドーマキ	洞卷(腹にまきつけるおそ長い袋)	ドーモ	鐘簾(いくさぶね)	ドーヨ	同様(おなじさま)
トールマチク	稻麻竹葦(物の入り乱れたる)	ドーモン	同門(あひでし)	トールヨ	常川(一日記)
トールマル	洞丸(一のよろひ)	トールヤ	當夜(そのよ)	ドーヨ	童謡(はやりうた)
トールミ	唐箕(農具の名)	ドーヤ	同夜(その夜、おな)	ドーヨク	洞慾(慾ふかいこと)
トールミヤク	動脈(人體のあかい)	トールヤク	同役(同僚)	トールライ	到來(いたりきたる)
トールミヨ	燈明(あかし)	トールユ	桐油(油の名)	トールラク	道樂(ものすき)
トールミヨ	同苗(同じ苗字)	トールヨ	黨與(なかま、くみ)	トールラン	動亂(世がみだれう)
トールメイ	透明(すきとほると)	トールヨ	登庸(あげ用あると)	トールリ	胴亂(腰下げの袋)
					棠梨(木の名)

トールリ	道理(すぢみち)	トールレツ	同列(ひとつならび)	トールイ	樋(水をひいた)
トールリユ	逗留(とまりまること)	トールロ	常路(要路にあたる)	トールアワセ	間合(トイヤワセ)
トールリヨ	頭領(かしらの人)	トールロ	頭顱(あたま)	トールイシ	砥石(双物をとぐい)
トールリヨ	棟梁(かしらだ)	トールロ	道路(みち)	トールイタ	戸板(戸を板に代用)
トールリヨ	統領(人のかみ)	トールロ	登樓(お茶屋へゆ)	トールイツ	獨逸(國の名)
トールリヨ	同僚(どうやく)	トールロ	燈籠(火をとぼす具)	トールイヤ	問屋(おろしうりす)
トールリン	登臨(下をみおろす)	トールロ	蟻螂(かまきり蟲)	トールイヤワセ	問合(ききあはすと)
トールリン	等倫(ひとなみ)	トールロク	登録(かきのせると)	トールウ	問(たづねる、き)
トールル	通(徹、透)	トールロン	討論(論じあふこと)	トールオ	十(じふ)
トールルイ	黥類(おなじたぐ)	トールワ	道話(みちに關した)	トールオシ	遠(近くない)
トールルイ	同類(同じたぐひ)	トールワク	常惑(思案にくれる)	トールオス	通(たす、すこさ)
トールレイ	答禮(禮をかへすこと)	トールアイ	度合(ほどあひ)	トールオツミオ	遠御祖(先祖)

トオノリ	遠乗 <small>とほ</small> (馬にのりとほくへゆくこと)	トガイ	度外 <small>ぐわい</small> (心にかげぬと)	トキ	研 <small>けん</small> (とぐこと)
トオマワリ	遠廻 <small>とほまはり</small> (とほみちをまはる)	トカク	兎角 <small>うしかく</small> (左右、やまとすれば)	トキ	齋 <small>さい</small> (僧の食事)
トオミ	遠見 <small>とほみ</small> (とほくを見る)	トカキ	斗搔 <small>とすか</small> (升の上をたひらにする小棒)	トキ	鬩 <small>か</small> (鯨波)
トオメ	遠眼 <small>とほめ</small> (遠方からながめる)	トカゲ	蜥蜴 <small>せき</small> (蟲の名)	トギ	伽 <small>が</small> (相手)
トオヤマ	遠山 <small>とほやま</small> (とほくのやま)	トカス	溶 <small>と</small> (溶)	ドキ	怒氣 <small>どき</small> (いかり)
トオリ	通 <small>とほ</small> (とどく、通行する、すぎうつる)	トガメル	咎 <small>とが</small> (尤)	ドキ	土器 <small>どき</small> (かはらけ)
トカ	都下 <small>とつ</small> (みやこのうち)	トガル	尖 <small>とが</small> (先がするどくなる)	トキアカス	説明 <small>とく</small> (ときわく)
トガ	咎 <small>とが</small> (科、つみ)	トカン	渡韓 <small>とくわん</small> (朝鮮へゆく)	トキオリ	時折 <small>とき</small> (たまには)
トガ	榊 <small>とが</small> (木の名)	トキ	妬忌 <small>とが</small> (それむ)	トギス	螳螂 <small>とが</small> (虫の名)
トカイ	都會 <small>とくわい</small> (みやこ)	トキ	時 <small>と</small> (一問)	ドキドキ	悸悸 <small>どきどき</small> (むねがー)
トカイ	渡海 <small>とくわい</small> (うみをわたる)	トキ	秋 <small>と</small> (かんじんの時)	トギユ	屠牛 <small>とぎう</small> (牛をほふと)

トギョ	渡御 <small>とぎよ</small> (おわたり)	トゲ	研 <small>と</small> (磨みがく)	ドクコ	獨鈷 <small>とくこ</small> (僧具の名)
ドキョ	度胸 <small>とくご</small> (膽略)	トゲ	途 <small>と</small> (なしててる)	トクサ	木賊 <small>とくさ</small> (草の名)
トギレ	跡切 <small>とぎれ</small> (ながか絶える)	トゲ	洶 <small>と</small> (摩りて水で洗ふ)	ドクザ	獨座 <small>とくざ</small> (ひとりですわ)
トキワ	常磐 <small>とくわ</small> (永久かはらぬ意)	ドク	毒 <small>とく</small> (害をするもの)	ドクサイ	獨裁 <small>とくさい</small> (帝王の意の儘に行ふ政)
トキン	鍍金 <small>とくきん</small> (めつき)	トクイ	得意 <small>とくい</small> (意のまんぞくしたこと)	トクサク	得策 <small>とくさく</small> (利のあるはかりごと)
トキン	兜巾 <small>とくきん</small> (山伏の頭につけるもの)	ドクガイ	毒害 <small>とくがい</small> (どくでこるす)	ドクサツ	毒殺 <small>とくさつ</small> (毒害)
トク	徳 <small>とく</small> (道)	トクガク	篤學 <small>とくがく</small> (學問にあついこと)	トクシ	篤志 <small>とくし</small> (あつきこころ)
トク	得 <small>とく</small> (利益、まうけ)	ドクガク	獨學 <small>とくがく</small> (ひとりまなび)	トクシ	特使 <small>とくし</small> (特別の使)
トク	説 <small>とく</small> (ときあかす)	ドクガン	獨眼 <small>とくがん</small> (かため)	トクシ	特旨 <small>とくし</small> (特別のおぼしめし)
トク	解 <small>とく</small> (ほどく、わけする、せつめいする)	トクギ	徳義 <small>とくぎ</small> (道徳の義理)	ドクシ	讀師 <small>とくし</small> (歌會でよみあげる人)
トク	疾 <small>とく</small> (はやく)	トクギョ	得業 <small>とくげふ</small> (一士)	トクシツ	特質 <small>とくしつ</small> (特別の性質)
トク	溶 <small>とく</small> (水にまぜてやはらかにす融)	ドクゴ	獨語 <small>とくご</small> (ひとりごと、ドイツ語)	トクシツ	得失 <small>とくしつ</small> (利になると損)

トクジツ	篤實(まめやかなる)	トクセイ	徳政(よいせいぢ)	ドクダン	獨斷(ひとりぎめ)
ドクシヤ	讀者(よむひと)	トクセイ	特性(トクシツに同)	トクテヨ	特徴(目立つしるし)
トクシヤ	特赦(特別のゆるし)	トクセキ	督責(せめうながす)	ドクツ	土窟(土中のらうや)
ドクジヤ	毒蛇(毒のあるへび)	ドクゼツ	毒舌(他をきずつけ)	トクテイ	特定(特別のきめ)
ドクシヤク	獨酌(ひとり酒を)	トクセン	特選(特別のえらび)	トクテン	特典(他にことなる)
トクシユ	特殊(とくべつなる)	ドクセン	獨占(ひとりじめ)	トクド	得度(佛道に歸依す)
ドクジユ	讀誦(經文をよむ)	トクソ	得喪(えるとうしな)	トクト	禿頭(はげあたま)
トクシヨ	讀書(書を讀むこと)	ドクソ	獨奏(ひとりで樂を)	トクト	特等(上等の一つ)
トクシヨク	特色(他にことなる)	トクソク	督促(うながしはた)	トクド	得道(佛道をさとる)
トクシヨク	得色(したりがほ)	トクタイ	特待(特別あつかひ)	トクハ	特派(特別に派遣す)
トクシン	得心(承知すること)	トクタク	德澤(めぐみ)	トクハツ	特發(特別に發する)
ドクシン	獨身(ひとりみ)	トクダツ	得脱(煩惱を脱して)	トクヒツ	特筆(ことさらにか)

トクヒツ	禿筆(ちひふで)	トクメイ	特命(特別のおほせ)	ドクロ	髑髏(されかうべ)
トクヒヨ	得票(えた枚票數)	トクメイ	匿名(かくし名)	トゲ	刺(草や木のはり)
ドクフ	毒婦(わるい女)	トクヤク	特約(特別のやくそ)	トケイ	時計(時をはかる器)
トクブン	得分(自分の得る分)	ドクヤク	毒藥(どくなくすり)	トケイ	徒刑(遠い所におひ)
トクベツ	特別(なみくなら)	トクユ	特有(特別にもつて)	トケツ	吐血(血をばくこと)
ドクホ	獨歩(ひとりあるく)	トクヨ	徳用(りかた、用ゐ)	トゲル	途(しおほせる)
トクホ	讀方(よみかた、軍)	ドクラク	獨樂(ひとりでたの)	トケン	杜鵑(ほととぎす)
トクホ	德望(人望のあると)	トクリ	徳利(酒類を入れる)	トコ	床(ゆか、ねど)
トクホ	讀本(よみほん)	ドクリツ	獨立(ひとりだつと)	ドコ	何處(いづこ)
ドクミ	毒見(主人が一番に)	ドクリヨク	獨力(ひとりのちか)	トコ	渡航(ふねで海をわ)
トクム	特務(とくべつもの)	トクレイ	特例(特別のためし)	トコ	渡口(わたしば、渡)
		トクレイ	督勵(とりしまりは)	トコ	徒行(かちあるき)

トロー	左右(とやかく)	トコヨ	常世(つねにかはら)	トシ	徒死(いぬじに)
ドロー	土寇(ひやくしやう) 一揆	トコロ	野老(蔓草の名)	トシ	敏(さとりばやし)
ドロー	土工(土木ふしん)	トコロテン	心太(夏の食物の名)	トシ	疾(はやし)
トコシエ	長(とこしなへ)	ドザエモン	土左衛門(水死の異名)	トジ	綴(とぢること)
トコシナエ	常(とこしなへ)	トサカ	烏冠(鳥の)	トジ	徒爾(いたづらごと)
トコズレ	床擦(床にてすれる)	トガス	鎖(戸をとぢ錠を)	トジ	刀自(婦女の稱)
トコナツ	常夏(ナデシコに同)	トザマ	外様(代の大名家譜)	トシウチ	途次(みちのついで)
トコナメ	常滑(一やき)	トサン	登山(やまへのぼる)	トシコシ	同志打(味方と味方)
トコバシラ	床柱(床の間の柱)	トシ	年(歳)	トジコム	年越(としなこえる)
トコヤ	床屋(さんげつや)	トシ	都市(みやこ、とく)	トシコム	閉籠(戸をとぢおし)
トコヤミ	常闇(いつまでもく)	トシ		トシツキ	綴込(多くの書類を)

トシトク	歳徳(一神)	トシヨク	徒食(あそびぐひ)	トゼツ	杜絶(うちたゆると)
トジマリ	戸締(戸のしまり)	トシヨリ	年寄(老いたる人)	トセン	渡船(わたしぶね)
トジメ	綴目(本などのとぢ)	トシン	如心(れたみごころ)	トゼン	徒然(つれづれ)
トシヤ	吐瀉(はきくだし)	トジン	都人(みやこびと)	トソ	屠蘇(正月の祝酒)
ドシヤ	土砂(つちとすな)	ドジン	土神(土をつかさどるかみ、つち)	ドロ	土葬(やかすに葬)
トシユ	徒手(からて、すて)	ドジン	土人(その土地のひ)	ドロ	土蔵(くら)
トシユツ	吐出(はきだす)	ドジン	土人(その土地のひ)	トローノヒ	斗管人(つまらぬひ)
トジヨ	登城(おしるへ出)	トズ	綴(つとる)	ドロク	土足(どろあし)
トジヨ	都城(都市である所)	トズ	閉(しめきる)	トソク	杜塞(ふさぐこと)
ドジヨ	土壤(つち)	ドスウ	度数(同敷)	ドゾク	土賊(百姓一揆、土)
ドジョ	泥鰌(魚名)	ドスゴエ	濁聲(清くないこゑ)	ドダイ	土臺(いしずゑ)
トシヨカン	図書館(多くのの人に 圖書を見せる所)	トセイ	渡世(よわたり)	トダエ	跡絶(あとたえると)

トダナ	戸棚 (棚に戸のあるもの)	トツカン	突貫 (敵陣につきいること)	トツケン	特權 (特別のけんり)
トタン	亞鉛 (鑛物の名、アエン)	トツキ	突起 (つきだす、たかくおきる)	トツコー	德行 (徳ある行)
トタン	塗炭 (水と火と)	トツキ	徳器 (道を行ふ性能)	トツコー	篤行 (てあつ行)
トチ	土地 (ちめん)	ドツキ	毒氣 (どくなき)	トクコー	特効 (特別のききめ)
トチ	椽 (木の名)	トツキョ	特許 (特別の許)	ドクコー	獨行 (ひとりゆく)
トチ	土地 (地面、ぼしよ、ところ)	ドツキョ	獨居 (ひとりゐる)	トッコツ	突兀 (高くそびえる)
トチヤク	土着 (その地にすみつくこと)	トツキョ	徳教 (したをしへ)	トツサ	咄嗟 (しばし)
トチユ	途中 (みちのうち)	ドツキョ	讀經 (経をよむこと)	トツシユツ	突出 (つきいだす)
ドチラ	何方 (どち、いつか)	トツゲ	嫁 (歸、よめいる)	トツシン	突進 (つきすすむ)
トツオー	凸凹 (あがりさがり)	ドツク	船渠 (船を入れる渠)	トツゼン	突然 (ふいに、だし)
トツカ	徳化 (徳にて人を化すること)	トツクリ	徳利 (酒をいれる)	トツツキ	初端 (はじめ、しよ)
トツカン	吶喊 (わめきさげふ)	トツゲキ	突撃 (つきうつこと)	トツテ	取手 (とりての音便)

トットキ	取置 (しまひおいたもの)	トドケ	届 (欠席)	トナガイ	馴鹿 (動物の名)
トツピ	突飛 (常ならぬこと)	トドケシヨ	届書 (とどけがき)	ドナタ	何方 (どちら、だれ)
トツベン	訥辯 (つたなき辯舌)	トドコオル	滞 (つかふ)	ドナベ	土鍋 (土製の鍋)
ドテ	土手 (つゝみ)	トトノウ	調 (整)	トナリ	隣 (ならびつゝ)
トテイ	徒弟 (でし)	トドマツ	椴松 (えぞまつ)	ドナル	嗷嗷 (太呼)
トテツ	途轍 (すぢみち)	トドマル	留 (一所に居る)	トニカク	兎角 (左右、とかく)
トテモ	迎 (いかにしても)	トドメル	止 (とめる、やめ)	トネ	利根 (一川)
トト	徒黨 (黨をくむこと)	トドロク	轟 (なりひびく)	トネリ	舍人 (官の名)
トト	怒濤 (あらなみ)	トナエル	稱 (となふる、よぶ)	ドノ	殿 (尊稱の語)
ドドイツ	都都逸 (俗歌の一種)	トナエル	唱 (となふる、高く呼ぶ)	トノイ	宿直 (とまり番)
トトク	都督 (官名)	トナエル	徇 (となふる、ふたがへる)	トノゴ	殿御 (女より男をよぶ)
トドク	届 (いたる)	トナエル	徇 (まはす、したたかへる)	トノサマ	殿様 (貴人の敬稱)

トノサマガ	金線鼈(蛙の一種)	トビイシ	飛石(少しづつ、離し)	ドブ	溝(みぞ)
エル	主殿(一察)	トビイリ	飛入(途中からはい)	ドブロク	濁醪(濁酒のかすを)
トノモ	驚馬(のろいうま)	トビウオ	飛魚(魚の名)	トホ	徒歩(かちあるき)
ドバ	奴輩(やつばら、あ)	トビキリ	飛切(こえすぐれた)	トホー	途方(ゆく方向しか)
ドハイ	賭博(ばくち)	トビグチ	鳶口(消防夫の用ゐ)	ドボク	土木(家、橋、道、)
トバク	進(とびちる)	トビクラ	飛競(あひその名)	ドボク	奴僕(しもべ)
トバシル	帳(帷、幔)	トビドীগ	飛道具(弓、銃の如)	トボケ	恍(ぼけたる風を)
トバリ	土蕃(もとからそこ)	ドビョー	土倭(土の倭)	トボシ	乏(たらく、不足)
ドバン	徒費(むだづかひ)	トビラ	扉(開き戸の戸)	トボス	點(火をたきつけ)
トビ	鳶(鳥の名)	ドビン	土瓶(水をわかす具)	トボソ	樞(戸、とびら)
トビ	奴婢(男女のめしつ)	トフ	都府(みやこ)	トボル	點(トモルに同じ)
ドビ	土匪(土寇)	トブ	飛(鳥がー)	トマ	苦(菅、茅などで造つたもの)

ドマ	土間(ゆかの無處)	トムラウ	訪(おとづれる、)	トモシ	乏(とぼし)
トマツ	塗抹(ぬりけすこと)	トメオキ	留置(物をとめおく)	トモシビ	燈(燭)
トマヤ	苦屋(とまぶきのい)	トメバリ	留針(針の一種、ピ)	トモズナ	纜(船をつなぐな)
トマル	留(止、停)	トメル	止(とむ)	トモダチ	友達(友人)
トマル	泊(やどやへー)	トモ	供(したがふ人)	トモナウ	伴(つれ立つ)
トミクジ	宮園(とみ興行のく)	トモ	鞆(弓射る時左臂)	トモマワリ	供廻(おともの一)
トミニ	頓(にはかに、急)	トモ	艦(舟のしりへ)	トモル	燃(もえる、とぼ)
ドミヤ	土民(土着の人民)	トモ	友(ともだち)	ドモル	吃(ものいひがな)
トム	富(ゆたかなと)	トモ	伴(むれ、なかま)	トヤ	鳥屋(とりを入る)
トムシロ	藤席(藤でつくつた)	トモエ	巴(鞆繪)	トヤマ	富山(一市)
トムライ	吊(とむらふこと)	トモガラ	輩(やから)	トヤマ	外山(端なる山、奥)
トムラウ	訪(くやむ、人の死をかなしむ)	トモグイ	共食(同類相食むと)	トユー	都邑(都會の土地)

トヨ	豊 (ゆたかなると)	トラワレ	囚 (拘囚)	トリガイ	鳥貝 (貝の名)
ドヨ	土用 (季節の名)	トリ	鳥 (禽)	トリカエス	取返 (取復)
ドヨ	土曜 (日曜の前日)	トリアエズ	酉 (十二支の一)	トリカエ	取替 (とりかへると)
トヨアシハ	豊葦原 (日本のこと)	トリアゲバ	不取敢 (直ちに)	トリカエル	取替 (かへる、彼と此とを)
トラ	寅 (十二支の一)	トリアツカ	取上婆 (産婆)	トリカゴ	鳥籠 (鳥を入れるか)
トラ	虎 (獣の名)	トリアツカ	取扱 (あつかひ、とりあつ)	トリキメ	取極 (さだめること)
ドラ	銅羅 (樂器の名)	トリアワス	取合 (あはす、程よくあは)	トリク	屠戮 (ほふりころす)
トライ	渡來 (わたつてくる)	トリエ	取合 (せる配合)	トリク	屠戮 (ほふりころす)
トラエル	捕 (とらふ)	トリエ	鳥居 (神社の)	トリクミ	取組 (相手になること)
トラカス	盪 (とかす、本心)	トリエ	鳥打 (とりをうつと)	トリケシ	取消 (無功にする)
トラノオ	虎尾 (草の名)	トリウチ	取得 (長所)	トリコ	廢 (伴、いけどり)
トラノマキ	虎卷 (秘密の兵書、大事なかきつ)	トリカイ	鳥飼 (鳥をかふこと)	トリコミ	取込 (秋のをさめ)

トリシラベ	取調 (しらべること)	トリハカラ	取計 (はからひ)	トリヨセ	取寄 (とりよせると)
トリダカ	取高 (みいりだか)	トリハズス	取外 (はづす、と)	トリワケ	取分 (殊に、ことごと)
トリタテ	取立 (とりあつめる)	トリハラウ	取拂 (はらふ、のける)	トル	取 (執)
トリチガエ	取違 (まちがへると)	トリヒキ	取引 (やりとり、う)	トル	捕 (とらへる)
トリツキ	取附 (とりすがると)	トリブン	取分 (自分のとる分)	トル	弗 (だら、我が一)
トリツギ	取次 (なかつぎをす)	トリマケ	取巻 (かこむ)	トルコ	土耳其 (國の名)
トリテ	捕手 (罪人を捕へる)	トリモチ	藕 (鳥捕に用ゐる)	ドルハコ	弗箱 (金庫、かねを)
トリテ	取手 (器物のとりて)	トリモドス	取戻 (とりかへす)	ドレ	何 (いづれ)
トリトメ	取留 (つらまへどこ)	トリモツ	取持 (周旋)	ドレイ	奴隸 (しもべ)
トリテ	砦 (塞、壘)	ドリヨ	度量 (心のひろい)	ドロ	吐露 (意見をいひの)
トリナシ	取成 (此を彼にかへ)	ドリヨ	度量 (さします)	ドロ	泥 (濁)
トリノコ	鳥子 (餅、紙)	ドリヨク	努力 (つとむること)	トロ	徒勞 (むだほねをり)

トロカス	蕩 (とろけるやうにする)	トンエイ	屯營 (軍人のたむろ)	トンシ	噸死 (にはかじに)
トロカス	鎔 (とろけるやうにする)	ドンガ	嫩芽 (わかめ)	トンジ	遁辭 (にげことば)
トロケル	蕩 (とけてやはらぐ、しまりなくなる)	ドンカク	鈍角 (直角以上の角)	トンジ	豚兒 (わが男の子の卑稱)
トロビ	漫火 (よわい火、文)	ドンガメ	團龜 (スツポンに同)	トンジヤク	頓着 (氣にかけると)
ドロボー	泥棒 (盜賊)	トンキョ	頓怯 (あわてたまぬ)	トンシユ	頓首 (首をさげると)
ドロヨケ	泥除 (車輪の上にあ)	ドングリ	團栗 (くぬぎの實)	トンシユ	屯集 (あつまると)
トロロ	黃蜀葵 (草の名)	トンゴ	頓悟 (はつとさとる)	トンシユツ	遁出 (にげ出すこと)
トロロジル	薯蕷汁 (料理の名)	トンコト	敦厚 (ていねい)	トンシヨ	屯所 (たむろば)
トロン	徒論 (むだな議論)	トンザ	頓挫 (にはかにくじけること)	ドンズ	緞子 (織物の名)
トン	噸 (我二百七十貫位)	トンザイ	屯在 (たむろする)	トンズウ	噸數 (量目の數)
ドン	鈍 (にぶい)	トンザイ	頓才 (りんきの才)	ドンズマリ	終局 (つしまり)
		ドンサイ	鈍才 (にぶい才智)	トンセイ	遁世 (よなのがれる)

トンゼイ	吞噬 (のみくらふと)	トンブク	頓服 (一度かぎりに飲むこと)	ナ	名 (なまへ、とな)
トンソ	遁走 (にげはしる)	ドンブツ	鈍物 (どんない)	ナ	菜 (やさい)
トンチ	頓智 (早速の智)	ドンブリ	井 (器)	ナアテ	名宛 (手紙などの)
トンチキ	頓痴氣 (人を馬鹿と)	トンボ	蜻蛉 (蟲の名)	ナイイ	内意 (したごころ)
トンチヨ	緞帳 (幕の一種)	トンボガエ	鬮筋斗 (遊戯の名)	ナイエツ	内謁 (内々の御目み)
トンチンカ	頓珍漢 (ものゆき)	トンボク	敦朴 (すなほ)	ナイオ	内應 (内々敵をたす)
トンデン	屯田 (一兵)	トンマ	頓間 (うすばか)	ナイカ	内科 (體内の病をな)
ドンテン	曇天 (くもりたる空)	トンヨ	嫩葉 (わかば)	ナイカイ	内界 (心の内の現象)
トント	頓 (更に、さつば)	ドンクヨ	貪慾 (慾ふか)	ナイガイ	内外 (うちそと)
トンソ	遁逃 (にげのがれる)	ドンワン	鈍腕 (にぶいうで)	ナイカク	内閣 (最高の行政)
ドント	鈍刀 (なまくらかた)			ナイガシロ	蔑 (あなどる)
トンネル	隧道 (山腹などをほりぬいたみち)			ナイカン	内患 (へ、國內の)

「な」

ナカオレ	中折 <small>(をれ)</small> (一帽子)	ナカバ	半 <small>(央)</small>	ナカムカシ	中昔 <small>(中古)</small>
ナカガイ	仲買 <small>(がひ)</small> (牙保)	ナカバタラ	仲働 <small>(奥と勝手の中)</small>	ナガム	詠 <small>(ながむ、歌ふ、吟す、口ずさむ)</small>
ナガグツ	長靴 <small>(ふかいくつ)</small>	ナカダチ	中低 <small>(中部のひくい)</small>	ナガメル	眺 <small>(ながめ見る、ながむ)</small>
ナカクボ	中窪 <small>(なかのくぼむ)</small>	ナガタナ	永引 <small>(おそくなる)</small>	ナガモチ	長持 <small>(長く保つこと)</small>
ナカゴロ	中頃 <small>(なかば、中ほ)</small>	ナカナナオリ	中程 <small>(中央の部分、なかば)</small>	ナカユビ	中指 <small>(まんなかの指)</small>
ナカザシ	中差 <small>(女の筭の一種)</small>	ナカナナオリ	仲間 <small>(共に事をする)</small>	ナカヨシ	中善 <small>(親密、交りの睦しいこと)</small>
ナガシ	流 <small>(臺所の一、湯の、新内)</small>	ナカバ	仲働 <small>(奥と勝手の中)</small>	ナガラ	乍 <small>(御面倒)</small>
ナガシ	流 <small>(屋の一、新内)</small>	ナカバタラ	中低 <small>(中部のひくい)</small>	ナガラエル	存命 <small>(生きる居ると)</small>
ナガシ	長 <small>(短くない、ながい)</small>	ナカビク	永引 <small>(おそくなる)</small>	ナガル	流 <small>(ながる)</small>
ナガシ	長 <small>(短くない、ながい)</small>	ナカビク	永引 <small>(おそくなる)</small>	ナカレ	勿 <small>(なくあれの約、念る、莫、母)</small>
ナガシ	名頭 <small>(姓名をかきつ)</small>	ナカホド	中程 <small>(中央の部分、なかば)</small>	ナガロー	長廊 <small>(ながい廊下)</small>
ナガシ	名頭 <small>(姓名をかきつ)</small>	ナカマ	仲間 <small>(共に事をする)</small>	ナカンズク	就中 <small>(なかにつき)</small>
ナガシ	長尻 <small>(ながる)</small>				

ナギ	風 <small>(海上波しづか)</small>	ナゲウツ	抛 <small>(擲)</small>	ナジミ	馴染 <small>(なづくこと)</small>
ナギゴト	泣言 <small>(不幸をなげき)</small>	ナゲク	歎 <small>(嘆)</small>	ナジル	詰 <small>(詰責)</small>
ナギサ	渚 <small>(波うちぎは)</small>	ナゲクビ	投首 <small>(思案一)</small>	ナス	茄子 <small>(蔬菜の名)</small>
ナギナタ	薙刀 <small>(武器の名)</small>	ナゲシ	長押 <small>(鴨居の上にながらどはいしやく)</small>	ナス	濟 <small>(借りたものをかへす)</small>
ナキネイリ	泣寝入 <small>(ら其儘にやめる)</small>	ナコード	仲人 <small>(媒、人)</small>	ナス	成 <small>(爲、做)</small>
ナキリ	菜切 <small>(一庖丁)</small>	ナゴリ	名残 <small>(過去つて後面の影等の残る)</small>	ナズ	撫 <small>(やはらかにこする)</small>
ナク	泣 <small>(鳴、啼)</small>	ナゴリ	餘波 <small>(かへる波の後、に少し残るもの)</small>	ナズク	名付 <small>(名をつける)</small>
ナグ	和 <small>(おだやかに)</small>	ナサケ	情 <small>(物のあはれを)</small>	ナズケ	菜漬 <small>(つけもの、名)</small>
ナグ	投 <small>(なげうつ)</small>	ナシ	梨 <small>(木の名)</small>	ナズケル	名付 <small>(名をつける)</small>
ナグサム	慰 <small>(たのしましむ)</small>	ナシ	無 <small>(あらず)</small>	ナズナ	薺 <small>(草の名)</small>
ナグレル	斜行 <small>(横へそれる)</small>	ナシクズシ	濟崩 <small>(少しづか)</small>	ナスビ	茄子 <small>(なす)</small>
ナゲイレル	投入 <small>(なげて入れる)</small>	ナシジ	梨地 <small>(時繪に金銀粉を散らしたものを)</small>	ナズム	泥 <small>(なづむ、拘泥)</small>

ナスル	捺 (すりつける、ぬりつける)	ナダメル	宥 (和らぐ)	ナデル	撫 (なづ)
ナズロ	準 (擬、准)	ナダラカ	平穩 (ゆるやか、和らみ傾かず)	ナド	何故 (どうして)
ナゼ	何故 (なにゆゑ)	ナダレ	頽雪 (積雪が崩れておちる)	ナド	杯 (それのみと限らぬ等)
ナゾ	謎 (なぞ)	ナツ	夏 (季節の名)	ナナクサ	七種
ナゾラエル	準 (なぞらふ、なぞらへる)	ナツイン	捺印 (印をおすこと)	ナナクサ	七種
ナタ	鈍 (刃物の名)	ナツカシ	懐 (したはし)	ナナクサ	七種
ナダ	灘 (海のあらし所)	ナツク	懐 (なれしたしむ)	ナナクサ	七種
ナダイ	名題 (氏名を表題に掲ぐ、名高に)	ナツシヨ	納所 (一僧)	ナナクサ	七種
ナダカシ	名高 (著名)	ナットー	納豆 (食物の名)	ナナクサ	七草
ナタネ	菜種 (あぶらな)	ナットク	納得 (きゝ入るゝ)	ナナクサ	七草
ナタネ	藜藿 (植物の名、アブラナ)	ナツメ	藜 (木の名)	ナナクサ	七草
ナタマメ	鈍豆 (豆の一種)	ナデシコ	撫子 (草の名)	ナナクサ	七草

ナナメ	斜 (かたむきたる)	ナフダ	名札 (めいし)	ナメカシ	艶 (うつくし)
ナニ	何 (わからぬもの)	ナブル	颯 (からかふ)	ナメク	婀娜 (若くてうるは)
ナニガシ	某 (名を定めていはぬ時用ゐる語)	ナベ	鍋 (食物を煮る器)	ナマリ	生節 (食物の名)
ナニトゾ	何卒 (どうぞ)	ナマイキ	生意氣 (出過ぎる)	ナマリ	鉛 (金属の名)
ナニブン	何分 (どうしても、どうぞ)	ナマゲサシ	腥 (なまぐしき)	ナマリ	訛 (ことばの)
ナニホド	何程 (いくら、いく)	ナマクビ	生首 (斬りたてのくび)	ナミ	波 (浪、濤、瀾、水のうねり)
ナニユエ	何故 (なげに)	ナマケラ	鈍刀 (きれないかた)	ナミキ	並木 (道わきのならび木)
ナニワ	難波 (大阪の一名)	ナマケル	懶 (おこたる、精を出さず)	ナミジ	波路 (ふなち)
ナニワブシ	浪花節 (俗曲の名)	ナマコ	海鼠 (海産動物の名)	ナミダ	涙 (泪、涕)
ナヌシ	名主 (古町村又は郷の長)	ナマジイ	怒 (なまじひ)	ナムアミダ	南無阿 (佛を拜する時唱ふる語)
ナノリ	名乗 (實名)	ナマス	繪 (脛、食物の名)	ナムサンボ	南無三寶 (歎息の時發する語)
ナビク	靡 (風に草木のかむこと)	ナマズ	鯰 (魚の名)	ナムシ	菜虫 (虫の名)

ナメクジ	蛞蝓(蟲の名)	ナラ	櫛(木の名)	ナリアガリ	成上(出世、昇進)
ナメシガワ	韋(鞣)	ナラウ	倣(まねてする)	ナリタチ	成立(できあがり、構成)
ナメス	鞣(毛皮の毛脂をとり柔かにす)	ナラク	習(まなぶ、くりかへす)	ナリヒラ	業平(—蕤)
ナメズル	舐(舌にて口のまはりな嘗む)	ナラス	奈落(ちごく、芝居の舞臺下の穴)	ナリモノ	鳴物(樂器の類)
ナメラカ	滑(すべくしき)	ナラス	鳴(音をださせる)	ナリモノ	成物(田畑にできるもの)
ナメル	嘗(舌にてれぶる)	ナラス	馴(なること)	ナリユキ	成行(なりゆきこと)
ナヤ	納屋(ものをき)	ナラス	平(ひとしくなす)	ナリワイ	生業(世わたりの業)
ナヤス	萎(やほらかにする、なえるやうにする)	ナラズケ	奈良漬(つけもの)	ナル	生(世に出る、實を結ぶ)
ナヤマス	惱(いためくるしめる)	ナラズモノ	無頼漢(ころつき)	ナル	鳴(音がでる、ひやく)
ナヤム	惱(思ひわづらふ)	ナラビニ	並(及に同じ)	ナル	成(できあがる)
ナユ	痿(氣力がなくなること)	ナラブ	列(並、つらなる)	ナル	爲(うつりゆく、別のさまに變る)
		ナラワシ	習(習慣)	ナルコ	鳴子(鳥を逐ふ爲めのもの)

ナルタケ	成丈(力のおよぶか)	ナンキョク	難局(かたき處)	ナンジ	汝(爾)
ナルホド	成程(まことに)	ナンキョク	南極(地軸の南のはて)	ナンジヤク	軟弱(かよわいこと)
ナルミ	鳴海(—絞)	ナンキン	南京(支那の地名)	ナンジユ	難澁(くるしみ)
ナレル	熟(じゆくする)	ナンク	難句(むづかしい文句)	ナンジヨ	難所(げはしいところ)
ナレル	馴(したしむ、狎)	ナンクセ	難癖(非難の點、缺點)	ナンシヨ	難症(おもい病)
ナワ	繩(ものをしげる)	ナンコ	何箇(あそびの名)	ナンセン	難船(船がくつがへり損すること)
ナワシロ	苗代(稻種を卸す田)	ナンコ	軟膏(膏藥)	ナンタイ	男體(たとこのすがた)
ナワテ	噉(田の間の道)	ナンコツ	軟骨(やはらかい骨)	ナンダイ	難題(作り難い詩文、むりない)
ナンイ	難易(むづかしきとやさしきと)	ナンザン	難産(おもい出産)	ナンチヨ	南朝(—北朝)
ナンカ	軟化(やはらかになる)	ナンジ	難治(なほりにくい)	ナンテン	南天(灌木の名)
ナンギ	難儀(くるしみ)	ナンジ	何時(なんどき)	ナント	南都(奈良)
ナンギョ	難行(困難なる行)		難事(むづかしいこと)		

ナンド	何度(いくたび)	ナンプウ	難風(なんぎなかぜ)	ニ	二(貳、ふたつ)
ナンド	納戸(きものへや)	ナンプウ	軟風(1) 地文の語、海	ニ	二(貳、ふたつ)
ナンドキ	何時(なんじ)	ナンプウ	南風(みなみのかぜ)	ニ	二(貳、ふたつ)
ナンナン	喃々(ささやくこゑ)	ナンブツ	難物(なんぎなもの)	ニ	二(貳、ふたつ)
ナンナント	垂(まさにならう)	ナンベン	何遍(いくたび)	ニアイ	似合(よくつりあふ)
ナンニヨ	男女(なとこをんな)	ナンポー	南方(みなみのかた)	ニイタカ	新高(1) 山
ナンパ	難破(船がくつがへ)	ナンメン	南面(みなみむき)	ニイナメ	新嘗(1) 祭
ナンパ	軟派(主義のよわき)	ナンモン	難問(むづかしいも)	ニウリ	煮賣(たべものを煮)
ナンバン	南蠻(近古西洋人をさして云)	ナンヨ	南洋(1) 諸島	ニエ	鉞(刀の刃の)
ナンピト	何人(だれ)	ナンラ	何等(なにら)	ニエ	贊(供物)
ナンビョ	難病(むづかしい)	ナンリョ	南流(みなみへなが)	ニエカエル	煮返(沸騰)
ナンブ	南部(みなみの部分)	ナンロ	難路(けはしいみち)	ニエユ	煮湯(あつい湯)

ニオ	鳴(鳥の名)	ニギヤカ	賑(にぎはし)	ニクシ	憎(にくい、悪)
ニオ	仁王(佛像の名)	ニギリツブ	握潰(握つてつぶす)	ニクジキ	肉食(ニクシヨクに同じ)
ニオ	似合(相應)	ニギリメシ	握飯(搦飯)	ニクシヨク	肉食(肉類を食ふ)
ニオイ	匂(うるはしきか)	ニギル	握(つかみもつ)	ニクシン	肉親(血ついきのし)
ニオイ	臭(くさきかんじ)	ニギワシ	賑(にぎはし)	ニクシン	肉身(ニクタイに同)
ニカイ	二階(樓)	ニギワス	賑(繁昌にさせる)	ニクタイ	肉體(肉で成立つか)
ニガオ	似顔(よく似たかほ)	ニグ	逃(遁)	ニクチ	肉池(肉いれ)
ニガシ	苦(味にがし)	ニク	肉(み、あつみ)	ニクハク	肉薄(おしよせる)
ニガス	逃(のがれしむ)	ニクイロ	肉色(肉の如き色)	ニクヒツ	肉筆(眞筆のまゝな)
ニカワ	膠(物をつけあは)	ニクカイ	肉塊(にくのかた)	ニクヘン	肉片(にくのきれ)
ニガワライ	苦笑(にがらふ)	ニクガン	肉眼(人の眼)	ニクム	疾(憎、悪)
ニキビ	面皰(顔に出る小い腫物)	ニクサシ	肉差(フオーク、肉叉)	ニクヤ	肉屋(肉類をうるみ)

ニクヨク	肉欲(情慾、色情)	ニジ	虹(空中の現象の名)	ニシン	貳心(ふたこころ)
ニグルマ	荷車(荷を運ぶくるま)	ニシキ	錦(織物の名)	ニズクリ	荷造(荷物をこしらへること)
ニゲル	逃(にぐ)	ニシキエ	錦繪(繪の一種)	ニセ	贋(いつはりこと)
ニゲンキン	二絃琴(二すぢある)	ニンキテ	錦手(五色の模様)	ニセ	二世(この世と次の世)
ニコ	二更(初更と三更の二より)	ニシジン	西陣(一織)	ニセル	似(まねる、似る)
ニコ	尼公(貴婦人の尼)	ニジム	膠(鈍染)	ニソ	尼僧(あまさん)
ニコシラエ	荷拵(荷作り)	ニシメ	煮染(飯のさいの名)	ニソクサン	二足三文(殆ど價の無いこと)
ニコニコ	莞爾(一一笑ふ)	ニジユ	二監(やまひ)	ニタキ	煮焚(飯を炊き菜を煮ること)
ニゴル	濁(水のけがると)	ニジユ	二十(はたち)	ニダス	煮出(よく煮て味を出す)
ニゴン	二言(いひなほす、二枚じた)	ニジユ	二重(ふたへ)	ニタリ	荷足(川ふねの名)
ニシ	西(日の入る方角)	ニジル	躑(ふみにじる)	ニチゲン	日限(ひぎり)
ニシ	螺(貝の名)	ニシン	鯡(鯢、魚の名)		

ニチジョー	日常(まいにち、ふだん)	ニッキン	日勤(日々のつとめ)	ニツシン	日進(日にすすむ)
ニチボツ	日没(ひのいり)	ニツケイ	肉桂(薬種の名)	ニツスウ	日敷(ひかす)
ニチャ	日夜(ひるよる)	ニツケル	暹結兒(鐵物の名、白銅)	ニツチモサツ	二進(きはまりはて)
ニチヨ	日曜(七曜の初めの日)	ニツコ	日光(日のひかり)	チモ	三進(ること)
ニチヨ	日用(日々用ゐると)	ニツサン	日参(日まゐり)	ニツチユ	日中(ひるなか)
ニチリン	日輪(太陽)	ニツシ	日子(日)	ニツテイ	日程(議事)
ニチロク	日録(につき、日誌)	ニツシ	日誌(日記のこと)	ニツト	日東(日本のこと)
ニツカ	日課(日々の課業)	ニツシヤビョ	日射病(病の名)	ニツト	日當(日給)
ニツカン	日韓(日本と朝鮮)	ニツシユツ	日出(ひので)	ニツポン	日本(大日本帝國)
ニツカン	日刊(毎日刊行する)	ニツシヨ	日章(日のまる)	ニド	二道(ふたみち)
ニツキ	日記(日録)	ニツシヨク	日蝕(日食)	ニナ	蝮(貝の名)
ニツキユ	日給(日々の給金)	ニツシン	日清(日本と清國)	ニナイオケ	擔桶(水を運ぶたけ)
				ニナウ	擔(かつぐ)

ニニギ	瓊々杵(ロー尊)	ニユ—エイ	入營(兵營にはいる)	ニユ—ジ	乳兒(ちのみこ)
ニヌシ	荷主(荷物の所有者)	ニユ—カイ	入會(會へはいる)	ニユ—シツ	入室(僧となり寺へ入ること、奥義に達す)
ニフダ	荷札(荷物につける)	ニユ—ガク	入學(學校に入る)	ニユ—シヤ	入社(社に加入すること)
ニブシ	鈍(鋭くなきこと)	ニユ—ガン	乳瘤(乳房の病の名)	ニユ—ジャク	柔弱(よわきこと)
ニベ	鮠(魚の名)	ニユ—カン	入棺(死人を棺に納めること)	ニユ—シユ	入手(うけとること)
ニベ	鯨膠(ねばるもの)	ニユ—キン	入金(いりかね)	ニユ—シユ	入熟(塾へはひる)
ニホンイチ	日本(最もよいと)	ニユ—コ	入校(學校に入る)	ニユ—ジユ	乳臭(ちくさきと)
ニモ—サク	二毛作(二度物がと)	ニユ—コ	入貢(外國人の來を奉ること)	ニユ—ジユ	乳汁(ちのしる)
ニモツ	荷物(荷)	ニユ—コ	入冠(外國より來りあだすること)	ニユ—ジユク	入塾(塾へはひる)
ニヤイ	似合(ニアイを見よ)	ニユ—ゴク	入獄(入牢)	ニユ—ジヨ	入城(しろへはひること)
ニヤケル	纖弱(にうじやく)	ニユ—サツ	入札(ふだをいれる)	ニユ—ジヨ	入場(ばしよに入ること)
ニユ—イン	入院(病院にはいる)			ニユ—ジヨ	入定(定にひること)

ニユ—セキ	入籍(入籍に入る)	ニユ—フ	入夫(いりむこ)	ニヨ—ゴ	女御(天子のおきさ)
ニユ—セン	入船(いりぶね)	ニユ—ブ	入部(大名の初めて領地に入る)	ニヨ—ゼツ	饒舌(多言)
ニユ—タイ	入隊(軍隊へはひる)	ニユ—ブツ	入佛(初めて佛像を安置すること)	ニヨ—ド	尿道(身體の一部の名)
ニユ—チヨ	入朝(外國の使がくること)	ニユ—ボ	乳母(うば)	ニヨ—ボ	女房(妻)
ニユ—ト	入湯(湯に入る)	ニユ—ボ	乳棒(乳鉢にそへた棒)	ニヨ—イ	如意(佛家の具)
ニユ—ド	入道(佛のみちに)	ニユ—メン	入麵(煮たそうめん)	ニヨ—オ	女王(女の王)
ニユ—ネン	入念(念をいれる)	ニユ—メン	煮麵(入麵に同じ)	ニヨ—カン	女官(女の官人)
ニユ—バイ	入梅(つゆのいり)	ニユ—モン	入門(弟子いり)	ニヨ—ジユ	女孀(女官の名)
ニユ—バチ	乳鉢(薬を調製する)	ニユ—ヨ	入用(いりよう)	ニヨ—シヨ	女性(をんな)
ニユ—ヒ	入費(いりめ)	ニユ—ライ	入來(いりきたる)	ニヨ—ゼ	如是(かくの如く、我聞)
ニユ—ビ	乳糜(食物の胃でこ)	ニユ—ロ	入牢(ちうやへは)	ニヨ—タイ	女體(女のからだ)
ニユ—フ	入府(入部に同じ)	ニユ—ワ	柔和(やはらかなる)	ニヨ—ニン	女人(をんな)

ニヨホー	如法 <small>(かたの如く、もとよりの意)</small>	ニシカ	認可 <small>(みとめゆるす)</small>	ニンジュ	人壽 <small>(人のいのち)</small>
ニヨライ	如來 <small>(佛の尊稱)</small>	ニンガイ	人界 <small>(人の世、人間)</small>	ニンジュ	仁壽 <small>(命を長くする)</small>
ニラ	萋 <small>(草の名)</small>	ニンガイ	人外 <small>(人の道には)</small>	ニンジョー	刃傷 <small>(はものざん)</small>
ニラム	睨 <small>(ねめつける)</small>	ニンカン	任官 <small>(官につくこと)</small>	ニンジョー	人情 <small>(人間の情)</small>
ニル	似、肖 <small>(互に見えり)</small>	ニンキ	任期 <small>(在職の期限)</small>	ニンシン	妊娠 <small>(子をほらむと)</small>
ニレ	榆 <small>(木の名)</small>	ニンキ	人氣 <small>(評判よいこと)</small>	ニンジン	人參 <small>(胡蘿蔔、植物)</small>
ニワ	庭 <small>(家の前後にあ)</small>	ニンギョ	人魚 <small>(魚の名)</small>	ニンズ	任 <small>(まかす、やく)</small>
ニワカ	俄 <small>(遽)</small>	ニンキョー	任俠 <small>(なとこだて)</small>	ニンズウ	人數 <small>(ひとかす)</small>
ニワタズミ	行潦 <small>(溜水の流る)</small>	ニンギョ	人形 <small>(木偶)</small>	ニンセン	人選 <small>(人えらび)</small>
ニワトコ	接骨 <small>(木の名)</small>	ニンゲン	人間 <small>(世の中の人)</small>	ニンソー	人相 <small>(人のさうがう)</small>
ニワトリ	雞 <small>(鳥の名)</small>	ニンコ	人皇 <small>(神武以後の天)</small>	ニンソク	人足 <small>(にんぶ)</small>
ニナイ	任意 <small>(こゝろまかせ)</small>	ニンシキ	認識 <small>(みとめしる)</small>	ニンタイ	忍耐 <small>(たへしのぶと)</small>

ニンチ	認知 <small>(みとめる、わ)</small>	ニンヨ	任用 <small>(官に任し用ぬ)</small>	ヌカミソ	糠味 <small>(糠と鹽をまぜ)</small>
ニンチ	任地 <small>(役についてぬ)</small>	『ぬ』		ヌカリ	噌 <small>(貯へたもの)</small>
ニンテイ	認定 <small>(みとめさだめ)</small>	ヌイト	縫糸 <small>(ぬいと)</small>	ヌカル	泥濘 <small>(どろ深である)</small>
ニンドー	忍冬 <small>(植物の名)</small>	ヌイトリ	縫取 <small>(ぬひとること)</small>	ヌキ	貫 <small>(柱を横にぬき)</small>
ニンニク	忍辱 <small>(佛教でしのこと)</small>	ヌウ	縫 <small>(糸を針につけ)</small>	ヌキ	緯 <small>(はたのよこい)</small>
ニンノ	人皇 <small>(神代に對して)</small>	ヌエ	鷄 <small>(鳩、鳥の名)</small>	ヌキアシ	拔足 <small>(靜にあること)</small>
ニンピニン	人非人 <small>(ひとでなし)</small>	ヌカ	糠 <small>(米を包める)</small>	ヌキガキ	拔書 <small>(鈔録)</small>
ニンプ	人夫 <small>(にんそく)</small>	ヌカゴ	零餘子 <small>(草の名、む)</small>	ヌキサシ	拔差 <small>(ぬきだすとき)</small>
ニンプ	妊婦 <small>(はらみ女)</small>	ヌカス	吐 <small>(物をいふを罵る)</small>	ヌギステ	脱棄 <small>(ぬきすつると)</small>
ニンメイ	任命 <small>(つとめを命じ)</small>	ヌカズク	叩頭 <small>(頭をさげて禮)</small>	ヌキミ	拔身 <small>(かたな)</small>
ニンメン	任免 <small>(任命と免職)</small>	ヌカブクロ	糠袋 <small>(沐浴のとき用)</small>	ヌキンズ	抽擲 <small>(ぬきいづの)</small>
ニンメン	人面 <small>(一獸心)</small>			ヌク	拔 <small>(ひきだす、えりとる、のけり、せめとる)</small>

ヌク	貫 (つらぬく)	ヌシ	主 (あるじ)	ヌラクラ	滑 (しまりなきと)
ヌク	抽 (人にすぐれる)	ヌシ	塗師 (ぬりものや)	ヌラス	濡 (うるほす)
ヌグ	脱 (解きすてる、とりさる)	ヌスピト	盗人 (盗賊、緑林)	ヌリカエ	塗換 (かへのー)
ヌグイイタ	拭板 (ぬりいた)	ヌスム	盗 (偷、竊)	ヌリグスリ	塗薬 (ぬるくすり)
ヌグウ	拭 (すりけす、ふ)	ヌタクル	轉輾 (のたくる)	ヌリゴメ	塗籠 (古の納戸のごと)
ヌクバイ	濡灰 (あつばひ)	ヌノ	布 (織物の名)	ヌリモノ	塗物 (うるしのうつ)
ヌクメル	濡 (あたためる、ぬくむ)	ヌノコ	布子 (布で仕立てた)	ヌル	塗 (かべをー)
ヌケアナ	脱穴 (通りぬけうら)	ヌノザラシ	布晒 (曝布)	ヌルマユ	微温 (ぬるき湯)
ヌケガケ	拔驅 (人にかくれて先がけする)	ヌボコ	瓊矛 (玉にてがざれる)	ヌレギヌ	濡衣 (無貫のうき名)
ヌケガラ	脱殻 (ぬけがは)	ヌマ	沼 (池の如くに泥深き處)	ヌレル	濡 (ぬる、うるほ)
ヌキモノ	拔物 (ぬすみもの)	ヌメ	統 (書畫をかくに用ゐる光絹)		
ヌサ	幣 (神に奉るもの)	ヌメル	滑 (すべる、なめらか)		

「ね」

ネ	根 (草木のー)	ネイセイ	寧靜 (しづかなこと)	ネカス	殆 (かうちをつく)
ネ	直 (あたひ、ねだ)	ネイベン	倭辯 (口さきのうま)	ネガワクワ	願 (願ふ所は)
ネ	子 (十二支のー)	ネイロ	音色 (音のやうす)	ネガン	寢棺 (横長い棺)
ネ	音 (おと)	ネウチ	直打 (あたひ)	ネギ	葱 (草の名)
ネ	値上 (價をたかめる)	ネオ	根緒 (三味線のー)	ネギシ	禰宜 (神官の名)
ネイアタ	穢惡 (心の底のあし)	ネオキ	寢起 (れたりおきた)	ネギラウ	根岸 (山麓に沿うた地)
ネイカン	倭奸 (正直に見せ内悪きこと)	ネガイ	願 (入學)	ネギル	慰勞 (いたはる)
ネイキ	寢息 (ねてゐる内のいき)	ネガウ	願 (のぞみこふ)	ネグラ	直切 (直段をへらさす)
ネイジツ	寧日 (やすらかな日)	ネガエリ	寢返 (きたかへ)	ネコ	猫 (獸の名)
ネイジン	倭人 (口先上手なわらう人)	ネカケ	根掛 (女のかみかさ)	ネコゼ	猫背 (せなかなまげ)
		ネカス	寢 (ねさす、横にする)	ネゴト	寢言 (睡眠中に物いふこと)

ネゴミ	寢込 (よくれて何も知らぬこと)	ネシヨ—ベ	寢小使 (病の名)	ネツ	熱 (あつさ、熱病)
ネコロブ	寢轉 (横にねる)	ネジル	振 (ないめにめぐらす、扭)	ネツキ	熱氣 (あつい氣)
ネサゲ	直下 (價を減くこと)	ネジロ	根城 (よりどころと)	ネツギ	根繼 (柱の根を他の木で補ふこと)
ネザケ	寢酒 (れる前にのむ)	ネズミ	鼠 (獸の名)	ネツケ	根付 (どのかざりの)
ネザメ	寢覺 (めざめ、寢起)	ネゾ—	寢相 (ねさま)	ネツケツ	熱血 (あつき血しほ)
ネジ	螺旋 (らせん)	ネソビレル	失眠 (ねぞこなふ)	ネツコク	熱國 (あついくに)
ネジキ	縋木 (ねちたる木)	ネソル	寢過 (ねすぎる)	ネツシン	熱心 (心をこめると)
ネジキル	振切 (ねちつてきる)	ネダ	根太 (床下の横木)	ネツゾ—	捏造 (こねまてつくること)
ネジケル	振 (ねちる)	ネダイ	寢臺 (しんだい)	ネツタイ	熱帶 (地球上最もあつちゆう)
ネジケモノ	拗者 (執拗)	ネタム	妬 (そねむ)	ネツチユ—	熱中 (思ひこむこと)
ネジメ	根締 (木の根をつき固めること)	ネダル	強請 (しひてこふ)	ネット—	熱湯 (あついで)
ネジメ	音締 (琴三味などの絃をしめる)	ネダン	直段 (ねうち)	ネット—	熱間 (さわがしく混雑すること)

ネツビヨ—	熱病 (熱のある病)	ネブル	舐 (なむ)	ネヤス	直安 (ねのやすいと)
ネツボ—	熱望 (ふかく望む)	ネボ—	寐坊 (朝—)	ネラウ	狙 (めざす、すき)
ネドイ	根間 (葉間、くはしくきく)	ネボケ	寢惚 (ねすぎること)	ネリベイ	練塀 (土塙)
ネトボケル	寢惚 (ねぼける)	ネマ	寢間 (ねるへや)	ネル	寢 (ねむる、横に)
ネドコ	寢床 (寢所)	ネマキ	寢卷 (ねるとききる)	ネル	漚 (そろく、とあ)
ネバツク	粘着 (ねばりつく)	ネミミ	寢耳 (—に水)	ネル	練 (灰汁で煮て柔くす、きたへる)
ネバル	粘 (なめらかでひつつく)	ネム	合歡木 (木の名)	ネンアケ	年明 (年切)
ネハン	涅槃 (不生不滅の義)	ネムケ	眠氣 (ねむくなる)	ネンイリ	念入 (氣をつける)
ネビエ	寢冷 (ねてゐる間に冷気に犯さる)	ネムル	睡 (眠)	ネンエキ	粘液 (ねばりある)
ネビキ	直引 (ねだんを下げ)	ネメル	睨 (にらむ)	ネンガ	年賀 (新年をいふ)
ネビキ	直引 (根ながらひき)	ネモト	根元 (ねぎは、事の)	ネンカイ	年回 (年に回りの)
ネブチ	根鞭 (竹の根でつく)	ネヤ	閨 (ねど)	ネンカン	年鑑 (年々の要事をしるした書)

ネンガン	念願 <small>(おもひねがふこと)</small>	ネンシ	年始 <small>(としのはじめ)</small>	ネンド	粘土 <small>(ねばつち)</small>
ネンキ	年季 <small>(召使の奉公する年限)</small>	ネンシ	年齒 <small>(ネンレイを見よ)</small>	ネンド	年度 <small>(四月より翌年三月まで)</small>
ネンキ	年紀 <small>(とし)</small>	ネンシユ	年首 <small>(としのはじめ)</small>	ネントー	念頭 <small>(心のうへ)</small>
ネンキ	年忌 <small>(死人の年まはりのいみじき日)</small>	ネンジュ	念誦 <small>(念佛と讀經)</small>	ネントー	年頭 <small>(年のはじめ)</small>
ネンキン	年金 <small>(年々賜はる恩給金)</small>	ネンジュ	念珠 <small>(數珠)</small>	ネンナイ	年内 <small>(としのうち)</small>
ネンゲ	年貢 <small>(みつぎ)</small>	ネンジュ	年中 <small>(一年の間、しじゅう)</small>	ネンパイ	年配 <small>(としのころ)</small>
ネンゲ	拈華 <small>(花をひねると)</small>	ネンシヨ	年少 <small>(年のわかいと)</small>	ネンパイ	年表 <small>(歴史)</small>
ネンゲツ	年月 <small>(としつき)</small>	ネンシヨ	燃焼 <small>(火にもえること)</small>	ネンピョ	年譜 <small>(その人一代の年譜)</small>
ネンゲン	年限 <small>(定めたる年の限期)</small>	ネンシウ	年數 <small>(としかず)</small>	ネンブ	年賦 <small>(納めること)</small>
ネンコ	年功 <small>(多年の功績)</small>	ネンゼイ	年稅 <small>(一年の税金)</small>	ネンブツ	念佛 <small>(六字の名號をとなへること)</small>
ネンゴ	年號 <small>(年の名)</small>	ネンダイ	年代 <small>(經過し來た時代)</small>	ネンブン	年分 <small>(一年分)</small>
ネンゴロ	懇 <small>(心あつきこと)</small>	ネンチャク	粘着 <small>(ねばりつくこと)</small>	ネンボ	年甫 <small>(ねんし)</small>

ネンポ	年俸 <small>(一年の俸給)</small>	ノ	筈 <small>(矢の竹のこ)</small>	ノーガク	農學 <small>(農事の學)</small>
ネンポ	年報 <small>(一年毎の報)</small>	ノ	野 <small>(のら)</small>	ノーガク	能樂 <small>(猿樂)</small>
ネンマク	粘膜 <small>(粘液を出す膜)</small>	ノ	喃 <small>(人を呼びかけること)</small>	ノーギョ	農業 <small>(農作の業)</small>
ネンマツ	年末 <small>(年のすゑ)</small>	ノ	腦 <small>(一腦)</small>	ノーキン	納金 <small>(かねをなすめ)</small>
ネンライ	年來 <small>(としごろ、數年以來)</small>	ノ	能 <small>(はたらき、能樂の畧)</small>	ノーグ	農具 <small>(農業の道具)</small>
ネンリキ	念力 <small>(思ひ込んだちから)</small>	ノ	膿 <small>(うみ)</small>	ノーコー	濃厚 <small>(汁又は色など)</small>
ネンリョ	念慮 <small>(おもんばかり)</small>	ノ	否 <small>(いや、然らず)</small>	ノーサク	農作 <small>(農事)</small>
ネンレイ	年禮 <small>(年賀の禮)</small>	ノーカ	農家 <small>(農夫のいへ)</small>	ノーサツ	惱殺 <small>(なやます)</small>
ネンレイ	年齢 <small>(とし)</small>	ノーカイ	農會 <small>(農事の會)</small>	ノーサン	農産 <small>(田島にできたもの)</small>
ネンレキ	年歴 <small>(數年の來歴)</small>	ノーカイ	膿漬 <small>(うみつぶれる)</small>	ノーシ	直衣 <small>(古の服の名)</small>
		ノーガイ	腦蓋 <small>(頭の天窓のは)</small>	ノージ	農事 <small>(農民のしごと)</small>
		ノーガキ	能書 <small>(こうのうがき)</small>	ノージ	農時 <small>(農夫のいそがしい時)</small>

ノージ	能事 <small>のうじ</small> (効あるしごと)	ノート	手控 <small>てびかへ</small>	ノイレ	暖簾 <small>なうり</small> (軒先にたれる)
ノージ	曇時 <small>なうじ</small> (いつぞや)	ノーハイ	納杯 <small>なうばい</small> (なさめのさか)	ノガイ	野飼 <small>のうかい</small> (野でかふこと)
ノージュー	濃汁 <small>のうじゅう</small> (はれもの)	ノービツ	能筆 <small>のうひつ</small> (てかき)	ノガス	逃 <small>のがれさす</small>
ノージュー	腦充 <small>のうじゅう</small> 血 <small>けつ</small> (病の名)	ノービョー	腦病 <small>のうびょう</small> (病の名)	ノガル	逃 <small>(遁)</small>
ケツ	能書 <small>のうしよ</small> (字をよくかく)	ノーヒンケ	腦貧 <small>のうひん</small> 血 <small>けつ</small> (病の名)	ノキ	軒 <small>(屋根のたれた)</small>
ノーシヨ	農漿 <small>のうしやう</small> (腦漿に同じ)	ノーフ	農夫 <small>のうふ</small> (ひやくしやう)	ノギ	芒 <small>(稻麥などの穂)</small>
ノーシヨーム	農商務 <small>のうしやうむ</small> (一省)	ノーベン	能辯 <small>のうべん</small> (ものいひの巧)	ノギ	禾 <small>(一偏)</small>
ノーズイ	腦髓 <small>のうずい</small> (神經の中樞)	ノーマク	腦膜 <small>のうまく</small> (腦をつむま)	ノギク	野菊 <small>(野にさく菊)</small>
ノーゼイ	納税 <small>のうぜい</small> (税金をなさむ)	ノーミン	農民 <small>のうみん</small> (農業をする人)	ノキバ	軒端 <small>(のきのにし)</small>
ノーソー	農桑 <small>のうそう</small> (農業と養蠶)	ノーラン	惱亂 <small>のうらん</small> (なやましみだ)	ノク	退 <small>(しりぞく、さ)</small>
ノータン	濃淡 <small>のうたん</small> (こいうすい)	ノーリョー	納涼 <small>のうりょう</small> (すまみ)	ノケル	除 <small>(退かしめる、)</small>
ノーチユー	囊中 <small>のうちゆう</small> (ふくろの中)	ノーリョク	能力 <small>のうりき</small> (はたらき)	ノコ	鋸 <small>(のこぎり)</small>

ノコギリ	鋸 <small>のこぎり</small> (木竹など切る具)	ノヅク	祝 <small>のぞく</small> (祝)	ノットル	乗取 <small>(のりとり)</small>
ノコス	殘 <small>のこす</small> (遺)	ノヅム	望 <small>のぞむ</small> (臨、莅)	ノットル	則 <small>(ならふ)</small>
ノコル	殘 <small>(あまる、もれ)</small>	ノタマウ	宣 <small>(いふの敬語)</small>	ノド	咽 <small>(のんど)</small>
ノサキ	荷前 <small>(のさき)</small> (一の使)	ノタマワク	宣 <small>(ノタマワクに)</small>	ノドカ	長閑 <small>(しづかなる)</small>
ノシ	熨斗 <small>(のし)</small> (贈物につける)	ノタレジニ	倒死 <small>(たれじに)</small> (死ねること)	ノドブエ	喉吭 <small>(のんどのふえ)</small>
ノジ	野路 <small>(のじ)</small> (のみち)	ノチ	後 <small>(あと)</small> (うしろ)	ノナカ	野中 <small>(野のなか)</small>
ノシウメ	熨斗梅 <small>(のしうめ)</small> (菓子の名)	ノチゾイ	後添 <small>(ちぞい)</small> (後妻)	ノノシル	罵 <small>(ののしる)</small>
ノス	伸 <small>(のびす)</small>	ノツカル	乗 <small>(のる)</small>	ノハラ	野原 <small>(の、はらつば)</small>
ノシモチ	伸餅 <small>(のしモチ)</small> (平くのばした)	ノツキル	乗切 <small>(のりきる)</small>	ノビル	野蒜 <small>(草の名)</small>
ノジロ	野代 <small>(のじろ)</small> (一塗)	ノツケル	載 <small>(のせる)</small>	ノビル	延 <small>(伸、ながびく)</small>
ノセル	載 <small>(のす)</small>	ノット	海里 <small>(のうかい)</small> (海にわたる)	ノブ	舒 <small>(展、暢、紓)</small>
ノヅク	除 <small>(とりのける)</small>	ノット	祝詞 <small>(のりと)</small> (神前でのみあ)	ノブ	伸 <small>(延)</small>

ノブトシ	野太(づぶとし)	ノミモノ	飲物(インリョウに同じ)	ノリキ	乘氣(心のはずみに乗ること)
ノベ	野邊(のばら、のら)	ノム	呑(飲)	ノリクミ	乗組(舟にのりあふこと)
ノベ	延(ひきのべると)	ノライヌ	野犬(飼主の無い犬)	ノリコミ	乗込(ノリクミに同じ)
ノベル	述(陳、口に出す、ものいふ)	ノラクラモ	懶惰者(なまげもの)	ノリジ	乗地(ノリキに同じ)
ノボセ	逆上(上氣、ぎやく)	ノリ	則(きそく、てほ)	ノリズケ	糊着(糊のりでひつけ)
ノボリ	幟(はたの類)	ノリ	法(おきて)	ノリヅメ	乗初(はじめてのる)
ノボル	登(上、昇、陞)	ノリ	海苔(水草の名)	ノリツケ	乗付(常にのり馴れ)
ノミ	蚤(虫の名)	ノリ	糊(ものをねばじ、つくるもの)	ノリテ	乗手(のる人)
ノミ	鑿(木にあなをほる具)	ノリアイ	乗合(同舟、同車)	ノリト	祝詞(ノットに同じ)
ノミ	而已(ばかり、耳)	ノライレ	糊入(器物又紙の名)	ノリモノ	乗物(人の乗り行くもの)
ノミカケ	飲殘(のみて途中にやめる)	ノリカエ	乗替(のりかへると)	ノル	乗(のりものにあがる)
ノミコム	呑込(呑みて下す、合點する)	ノリカエ	乗替(副馬、副車)	ノル	伸(せいびする)

ノレン	暖簾(ノレンに同)	ノレンベング	徒爾(なすことなしにくらすこと)	ハアリ	羽蟻(はねのはえた)
ノロウ	呪(詛)	「は」		ハイ	海獅(貝の名)
ノロケ	惚氣(他人に語る痴話)	刃	(きれもののは)	ハイ	灰(物を燃してのこる粉)
ノロシ	烽火(狼煙)	端	(はし、はた)	ハイ	唯(へんじ)
ノロシ	遅(のろい、おそ)	羽	(とりのはね)	ハイ	肺(呼吸器の名)
ノロマ	癡漢(おろかなひと)	覇	(はたがしら)	ハイ	胚(植物のたねの中の一)
ノワキ	野分(秋冬のころ吹く大風)	派	(わかれ、えだ)	ハイ	倍(ばいましてすること)
ノンキ	和氣(延氣の約、心配なきこと)	葉	(植物のは)	ハイ	黄螺(貝の名)
ノンコ	厚顔子(いづづうし)	齒	(ものをかむは)	ハイ	賣淫(ひそかに色をひさぐ、淫賣)
ノンダクレ	泥酔漢(よつばらひ)	場	(ばしよ)	ハイ	梅雨(つゆ)
ノンド	咽喉(口の奥より食道につくこと)	場	(あひ、わり)	ハイ	拜謁(御目にかゝること)
ノンビリ	悠然(のび〜)	パイ		ハイ	肺炎(病の名)

バイエン	煤烟(すすけむり)	ハイガク	廢學(かくもんをやめること)	ハイギヤク	悖逆(もとりさからふこと)
ハイオク	敗屋(あばらや)	カイカラ	高襟(西洋崇拜の連中)	バイキヤク	賣却(うりばらふこと)
ハイカ	廢家(家の絶えること)	ハイカン	廢官(やくがなくなること)	ハイキョ	廢去(すてさること)
ハイガ	拜賀(つつしみをよる)	ハイカン	拜觀(ながみみること)	ハイキョー	背教(かしへにそむくこと)
ハイカ	敗家(いへをつぶすこと)	ハイカン	肺肝(肺と肝、心のうち)	ハイギョー	廢業(業をやめると)
バイカ	賣價(うりね)	ハイカン	廢刊(新聞雑誌の發行をやめる)	ハイギン	拜吟(つつしんで吟じること)
バイカ	梅花(うめのはな)	ハイカン	廢艦(役にたたぬ軍艦)	ハイキン	拜金(金錢を尊むこと)
バイカ	倍加(二倍にする)	ハイカン	肺患(肺のやまひ)	バイキン	黴菌(病の原因等になる下等植物)
ハイカイ	徘徊(あるきまはる)	ハイガン	拜顔(おめにかゝる)	ハイグウ	配遇(つれあひ)
ハイカイ	俳諧(歌の一種又ほつく)	ハイキ	廢棄(のぞきすてる)	ハイガン	敗軍(まけいくさ)
バイカイ	媒介(なかだち)	ハイキ	拜跪(ながみひざまづく)	ハイケイ	拜啓(つゝしみ申す)
ハイカキ	灰掻(灰をかきならす道具)	ハイキショー	排氣(空氣をおしたすきかい)	ハイゲキ	排撃(せめおしのけ)

ハイケン	佩劍(劍をおびること)	ハイシ	敗紙(やくにたたぬ)	ハイシュ	胚珠(植物の種子)
ハイケン	拜見(見るの敬語)	ハイシ	廢止(やめる)	ハイジュ	拜受(つゝしみてうけること)
ハイコ	廢鋼(終身仕へること)	ハイジ	拜辭(貴人にいとまごひすること)	バイシユ	買收(かひとる)
ハイコ	廢戸(すたれたいへ)	ハイジ	廢寺(あれたすたれたてら)	バイジユ	陪從(ばんべりし)
ハイゴ	背後(うしろ)	バイシ	倍蓰(数を幾倍にもすること)	ハイシユツ	輩出(多く出ること)
ハイコ	廢興(すたれるとおこること)	ハイジク	敗衄(敗亡、まける)	ハイシユツ	排出(おしだすこと)
ハイゴ	配合(つりあひ)	ハイシツ	廢疾(かたはやまひ)	ハイシヨ	配所(流されたところ)
バイコク	賣國(自國の秘密を敵に知すもの)	ハイシヤ	齒醫師(齒をなほすいしや)	ハイジヨ	排除(おしのける)
ハイザイ	配劑(くすりをあはすこと)	ハイシヤ	廢舎(あばらや)	ハイシヨ	拜誦(つゝしみてよむ)
ハイシ	廢弛(すたれること)	ハイシヤ	拜謝(禮をのべること)	ハイシヨ	拜承(つゝしみてうけたまはる)
ハイシ	稗史(小説のこと)	ハイシヤク	拜借(借るの敬語)	ハイシヨ	廢娼(娼妓をやめること)
ハイシ	拜芝(おめにかかる)	バイシヤク	媒酌(なかだち、仲立)	バイシヨ	賠償(つくなひ)

バイジョー	陪乘 <small>(じよう)</small> (車馬につき)	ハイセキ	敗績 <small>(いくさ)</small> (にまけ)	ハイタイ	廢頽 <small>(すたれ)</small> (おとろ)
バイシヨク	賣色 <small>(いろ)</small> (をうること)	バイセキ	陪席 <small>(がふ)</small> (に付きした)	ハイタイ	拜戴 <small>(おしい)</small> (たく)
バイシヨク	陪食 <small>(おしやう)</small> (ばん)	ハイセツ	排泄 <small>(もら)</small> (しいだす)	ハイタク	廢宅 <small>(あばら)</small> (や)
バイシン	陪臣 <small>(またげ)</small> (らい)	ハイゼツ	廢絶 <small>(すたれ)</small> (たえる)	ハイタク	配達 <small>(くばり)</small> (とどけ)
バイジン	俳人 <small>(俳句)</small> (を作る人)	ハイセン	杯洗 <small>(杯)</small> (あらひ)	ハイダン	俳壇 <small>(俳人)</small> (のなかま)
バイシン	陪審 <small>(立合)</small> (ひてしら)	ハイゼン	配膳 <small>(膳)</small> (をくばる)	ハイダン	俳談 <small>(おど)</small> (げばなし)
ハイスウ	拜趨 <small>(参る)</small> (こと)	ハイゼン	沛然 <small>(雨)</small> (の盛にふる)	ハイチ	配置 <small>(くばり)</small> (おくと)
バイスウ	倍數 <small>(なんばい)</small> (か)	ハイソ	敗訴 <small>(訴訟)</small> (にまける)	ハイチ	背馳 <small>(ゆきち)</small> (がひ)
ハイスイ	排水 <small>(水)</small> (をのける)	ハイソ	拜送 <small>(人)</small> (を見送る)	ハイチャク	廢嫡 <small>(あ)</small> (とつぎを廢)
ハイスイ	背水 <small>(川や海)</small> (を後に)	ハイソ	敗走 <small>(ま)</small> (げはしる)	ハイチヨ	拜聽 <small>(つ)</small> (しみき)
ハイズミ	灰墨 <small>(灰)</small> (のすみ)	ハイゾ	肺臟 <small>(呼吸器)</small> (の名)	ハイチヨ	廢朝 <small>(政事)</small> (を止める)
ハイセキ	排斥 <small>(おし)</small> (のける)	ハイタイ	胚胎 <small>(はらむ)</small> (きざ)	ハイチヨ	敗兆 <small>(ま)</small> (けいくさの)

ハイテイ	拜呈 <small>(つ)</small> (しみて)	ハイトク	賣得 <small>(うり)</small> (あげた利)	ハイフ	配賦 <small>(わり)</small> (つけ)
ハイテン	廢典 <small>(すた)</small> (れたるお)	ハイニユ	胚乳 <small>(ひ)</small> (ふん)	ハイブ	拜舞 <small>(よる)</small> (こびのま)
ハイテン	拜殿 <small>(神を拜む)</small> (御殿)	ハイノ	拜納 <small>(つ)</small> (しんでを)	パイプ	管 <small>(くだ)</small> (の英語)
バイテン	賣店 <small>(物)</small> (をうるみせ)	ハイノ	背囊 <small>(兵士)</small> (のかた)	ハイフキ	灰吹 <small>(唾壺)</small>
バイテン	梅天 <small>(つゆ)</small> (のそら)	バイバイ	賣買 <small>(うり)</small> (かひ)	ハイフク	拜伏 <small>(ふ)</small> (しおがむ)
バイデン	煤田 <small>(石炭層)</small> (に富め)	ハイハン	背叛 <small>(そむ)</small> (くこと)	ハイフク	拜復 <small>(謹)</small> (しみて返事)
ハイト	配當 <small>(く)</small> (ばりあてる)	ハイバン	杯盤 <small>(さ)</small> (かづきとき)	ハイフク	佩服 <small>(身)</small> (におびる)
ハイト	廢刀 <small>(刀)</small> (をさす)	ハイハン	廢藩 <small>(藩)</small> (をやめると)	ハイブツ	廢物 <small>(すた)</small> (れたもの)
ハイト	佩刀 <small>(刀)</small> (をさす)	ハイヒ	拜披 <small>(つ)</small> (しんでひ)	バイブル	聖書 <small>(耶穌教)</small> (のせい)
ハイトク	悖德 <small>(人道)</small> (にもとつ)	ハイビョ	肺病 <small>(病)</small> (の名)	ハイブン	敗聞 <small>(ま)</small> (けたしらせ)
ハイドク	拜讀 <small>(む)</small> (つしんでよ)	ハイフ	肺腑 <small>(はい)</small> (ざうの)	ハイブン	配分 <small>(わ)</small> (けくばる)
バイドク	徽毒 <small>(かさ)</small>	ハイフ	配布 <small>(く)</small> (ばる)	ハイヘイ	廢兵 <small>(兵士)</small> (はたらけない)

ハイヘー	敗兵(まけた兵士)	バイヨ	培養(つちかひやしなふ)	バイレイ	陪隸(ともびと)
ハイホー	敗報(まけたしらせ)	ハイラン	悖亂(もとみだれ)	ハイレツ	排列(ならぶこと)
ハイボ	敗亡(まけほろべる)	ハイラン	拜覽(つしんでみ)	ハイロ	葉色(はのいろ)
ハイボク	敗北(まけてにげる)	ハイリ	悖理(だうりにはづれたこと)	ハイロー	肺勞(肺けつかく)
バイボク	賣卜(うらなひ)	ハイリツ	廢立(やめたり、たてたり)	ハウタ	端唄(俗謡の一)
ハイメイ	拜命(おほせをうけ)	ハイリツ	排律(漢詩の律體の一)	ハエ	蠅(虫の名)
ハイメン	背面(うしろがは、うしろむき)	ハイリユ	配流(しまながし)	ハエ	鮪(魚の名、鱈)
ハイメン	拜面(あふことの敬語)	ハイリヨ	配慮(心をくばる)	ハエ	映(みえのよいと)
バイヤク	賣藥(うりぐすり)	ハイリヨ	拜領(賜はる)	ハエギワ	生際(髪の一)
ハイユ	俳友(はいくのなか)	ハイル	這入(いりこむこと)	ハエヌキ	生拔(其の土地うまれの人の)
ハイユ	俳優(やくしや)	ハイレイ	悖戾(みちにたがふ)	ハエル	生(草木がおひたつ)
ハイヨ	佩用(身におび川ぬ)	ハイレイ	拜禮(つしむ禮)	ハオ	霸王(はたがしらと)

ハオク	破屋(やぶれたいへ)	ハガス	剝(へがすこと)	ハガミ	齒嚙(はきしりなむ)
ハオリ	羽織(衣服の上)	バカス	魅(だます)	ハガユシ	齒癢(じれつたいと)
ハカ	破瓜(女の十五六歳の頃をいふ)	ハカセ	博士(學位の名)	ハカライ	計(とりにからふ)
ハカ	墓(死人をうづめる)	ハカセ	佩刀(さしたかたな)	ハカラウ	計(考へ定める)
バカ	馬鹿(おろか)	ハカタ	博多(一織)	ハカラズ	不圖(ふいと)
ハカイ	破戒(戒をやぶる)	ハカドル	抄(仕事のこと)	ハカリ	秤(物の輕重を知る)
ハカイ	破壊(やぶること)	ハカナシ	儂(どりとめたこと)	ハカリ	計(めあて、あて)
ハガイ	齒貝(貝の名)	ハガネ	鋼鐵(かたき鐵)	ハカリゴト	謀(もくろみ、策)
ハガイ	羽交(鳥の兩翼を交へた所)	ハカバ	墓場(はかのあると)	ハカル	計(謀、量、度、商)
ハガキ	端書(郵便一)	ハカマ	袴(腰につける衣)	ハガン	破顔(わらふこと)
ハカク	破格(格を破ること)	ハカマ	苞(花などのほか)	ハキ	破毀(やぶりこはす)
ハカシ	墓所(はかば)	ハカマイリ	墓參(ぼさん)	ハキ	霸氣(人に頭立つ氣性)

ハキ	破棄(やぶりすてる)	バキヤク	馬脚(うまのあし)	ハグ	矧(矢をつくる)
ハギ	接(つぎあはせた)	ハギユ	波及(段々に及ぶ)	ハク	魄(たましひ)
ハギ	脛(すね)	ハキョー	破鏡(かたがはれ)	バグ	馬具(馬の道具)
ハギ	萩(草花の名)	ハク	箔(金銀を薄くしたもの)	バク	猿(夢を食ふと想像した獣)
ハキキ	羽利(勢力ある人のこと)	ハク	佩(刀や衣を身にをつけること)	ハクア	白聖(礦物の名)
ハギシリ	齒軋(齒をかみ合せさしらすこと)	ハク	綴(つづる)	ハクアイ	博愛(廣く愛すること)
ハキダス	掃出(掃除すること)	ハグ	帛(きぬおりもの)	ハクイ	白衣(しろいきもの)
ハキダス	吐出(口から吐きだすこと)	ハク	吐(口より出す)	ハクウ	白雨(ゆふだち)
ハキタテ	掃立(掃除したて)	ハク	掃(はらひきよめ)	ハクウン	白雲(しらくも)
ハキダメ	掃溜(ごみだめ)	ハク	穿(ほらひきよめ)	バクエキ	博奕(かけごと)
ハギノモチ	萩餅(ほたもち)	ハク	剝(はがす、はぎとる)	ハクガク	博學(學問のひろきこと)
ハキモノ	履物(すべて足にはくもの)	ハグ		ハクギ	薄儀(手うすき謝禮)

バクギ	幕議(ばくふのぎろ)	ハクジ	白字(白ぬきの文字)	ハクジョー	薄情(人情のうすいこと)
ハクギ	齒莖(齒の根を包むところ)	ハクシキ	博識(知識のひろいこと)	ハクジョー	白狀(有體のまゝに答へること)
ハクゲキ	駁撃(他人の説をうつこと)	ハクジツ	白日(ひるま)	ハクシヨク	白色(しろい)
ハクゲキ	搏撃(うちたたくこと)	ハクシヤ	薄謝(手うすき謝禮)	ハクジン	白刃(ぬきみ)
バクゲキ	莫逆(互にしたしなくして逆はねること)	ハクジャク	薄弱(かよわきこと)	ハクセイ	剝製(鳥獸標本製作の法)
ハクゲン	博言(一學)	ハクシヤク	伯爵(爵の名)	ハクセキ	白哲(ましろきこと)
ハグサ	莠(田にはえる雑草)	ハクシユ	拍手(手をうちならすこと)	バクゼン	漠然(ばつとしてゐること)
ハクサイ	舶載(ふねにのせる)	バクシユ	麥酒(ビール)	バクゼン	蕪然(まつしぐら)
ハクサイ	薄才(うすいちゑ)	バクシユ	麥秋(麥のとり入れの時、舊曆五月)	ハクソ	齒屎(はにたまるかす)
ハクザツ	駁雜(いりまじれること)	ハクシユク	伯叔(兄と弟)	ハクタイ	薄待(そまつに冷遇すること)
ハクシ	白紙(しらかみ)	バクシヨ	曝書(本のむしほし)	バクダイ	莫大(きはめて大ききこと)
ハクシ	博士(學位の名、はかせ)	ハクシヨ	薄暑(夏のはじめのあつさ)	ハクダツ	剝奪(はぎとる)

バクダン	爆彈(ばくれつだん)	ハクバイ	白梅(しらうめ)	ハクブン	博聞(ひろくきし)
ハクチ	白痴(ばかもの)	バクバク	漠漠(ばつとひろが)	ハクボ	薄暮(たそがれどき)
バクチ	搏打(かけごと、博)	バクバク	寔寔(物しづかなさ)	ハクボ	伯母(おば)
バクチク	爆竹(とんどの火)	ハクハツ	白髮(しらが)	ハクマイ	白米(ついたこめ)
ハクチュ	白晝(ひるなか)	バクハツ	爆發(火を出して破)	ハクメイ	薄命(ふしあはせ)
ハクチュ	伯仲(兄弟)	バクハン	麥飯(むぎめし)	ハクメン	白面(年の若いこと)
ハクチュ	白鳥(白いとり)	ハクビ	白眉(すぐれたこと)	ハクライ	舶來(外國からくる)
バクチ	白張(服の名又其)	ハクヒヨ	薄氷(うすいこほり)	ハクラン	博覽(ひろくみると)
バクト	博徒(ばくちうち)	ハクフ	伯父(おぢ)	バクリ	幕吏(幕府のやく人)
ハクド	白銅(につける)	バクフ	幕府(武家が政治す)	ハクリ	薄利(利益のうすい)
ハクトク	薄徳(とくのうすい)	バクフ	瀑布(たき、瀧)	バクリ	幕僚(部下の人々)
ハクバ	白馬(しろうま)	ハクブツ	博物(動、植、礦)	ハグル	撥(はさまくる)

バクレツ	爆裂(バクハツに同)	ハゲ	禿(髪の毛けたあ)	ハコヤナギ	筐柳(木の名、白楊)
バクレン	莫連(女のすれから)	ハゲシ	烈(厲)	ハゴロモ	羽衣(はねのきもの)
ハクロ	白露(しらつゆ又舊)	ハゲマス	勵(いさみてなさ)	バサ	婆娑(舞の袖の翻へ)
ハグロ	鐵漿(ねをそめるか)	ハゲム	勵(一心にする)	ハサイ	破碎(やぶりとく)
バクロ	暴露(悪事などのあ)	バケモノ	化物(おぼけ)	ハザマ	狭間(あはひ)
ハクロン	駁論(他説を論じや)	バケル	化(ばく、かはる)	ハサマル	介(物の間にはい)
バクロ	博勞(馬喰、うまの)	ハケン	派遣(諸方へわけつ)	ハサミ	齧(蟹などのほさ)
ハクロ	白蠟(しろめ、金蠟)	ハコ	箱(匣、篋、筐)	ハサミ	鋏(物をはさみき)
バクロ	麥隴(むぎばたけ)	ハゴ	羽子(小兒の玩具)	ハサム	挾(物と物との間)
ハダンセイ	破軍星(北斗の第七)	ハゴクム	育(そだてる)	ハサム	剪(はさみできる)
ハケ	流通(ながれとほる)	ハコブ	運(物品をほこぶ)	ハサン	破産(財産を破る)
ハケ	刷毛(ちりをばらふ)	ハコベ	藜(草の名)	ハサン	破算(おいた算盤珠)

ハシ	橋	(河や池にかけ るはし)	ハシカ	疥疹(病の名)	ハシカ	芭蕉(草名、げせを)
ハシ	階	(堂にのぼるき だはし)	ハシガカリ	橋懸(能舞臺のはな みち)	ハシカケ	馬車(うまがひくる ま)
ハシ	箸	(食物をはさむ はし)	ハシガキ	端書(手紙の端にか き加へる文)	ハシカケ	破邪(不正をやぶる こと)
ハシ	嘴	(鳥蟲などの口 ばし)	ハシカケ	媒(なかだち)	ハシカケ	燥(かわく、子供 が調子にのる)
ハシ	端	(物のとぎれる はし)	ハシカケ	生薑(しやうが)	ハシカケ	播種(たねをまく)
ハシ	櫃	(木の名)	ハシカケ		ハシカケ	派出(てわけして出 させる)
ハシ	耻	(慚、愧、羞)	ハシカケ		ハシカケ	馬術(うまなつかふ じゆつ)
ハシ	ハジク	彈(たわめてはな つ)	ハシカケ		ハシカケ	場所(ところ)
ハシ	ハシケ	艇(小さい舟)	ハシカケ		ハシカケ	芭蕉(草名、げせを)
ハシ	ハシゴ	梯子(高に上る具)	ハシカケ		ハシカケ	馬車(うまがひくる ま)
ハシ	ハシコシ	敏(さとし)	ハシカケ		ハシカケ	破邪(不正をやぶる こと)
ハシ	ハシゴダン	梯子段(上にのぼる だんだん)	ハシカケ		ハシカケ	燥(かわく、子供 が調子にのる)
ハシ	ハシズメ	橋詰(はしのたもと)	ハシカケ		ハシカケ	播種(たねをまく)
ハシ	ハシタ	半(はんば、不足)	ハシカケ		ハシカケ	派出(てわけして出 させる)
ハシ	ウ	馬耳東風(うまのみ みにかぜ)	ハシカケ		ハシカケ	馬術(うまなつかふ じゆつ)
ハシ	ハシヌイ	端縫(はぬひに同じ)	ハシカケ		ハシカケ	場所(ところ)
ハシ	ハシバミ	榛(木の名)	ハシカケ		ハシカケ	芭蕉(草名、げせを)
ハシ	ハジマル	始(あらたにおこ る)	ハシカケ		ハシカケ	馬車(うまがひくる ま)
ハシ	ハジメ	始(初、肇、創)	ハシカケ		ハシカケ	破邪(不正をやぶる こと)
ハシ	ハシヨク	播植(種をまきうる こと)	ハシカケ		ハシカケ	燥(かわく、子供 が調子にのる)
ハシ	ハシヨル	端折(ちちめて短く する、はしなる)	ハシカケ		ハシカケ	播種(たねをまく)

ハシラ	柱	(家の屋根をさ さへるはしら)	ハタ	邊(へり、ふち、 そば)
ハシル	趨	(走、奔)	ハタ	將(また)
ハス	蓮	(水草の名、は ちす)	ハタ	二十(にじふ)
ハス	斜	(ななめ)	ハタ	牛酪(牛の乳からと った脂)
ハス	馳	(馬でかけはし る)	ハタ	膚(肌、はだへ、 ひふ)
ハズ	恥	(はちる)	ハタ	齒代(人力車の借り ちん)
ハズ	筭(理)		ハタ	場代(ばしよの代金)
ハズエ	場末(まちはづれ)		ハタ	肌(膚、ハダ)
ハズカシ	耻	(きまりがわる い、赤面)	ハタ	機織(はたをおるこ と又虫の名)
ハズカシメ	辱	(はちを興へ ること)	ハタ	裸(むきたしのか らだ)
ハズス	外	(とりのける、 のく)	ハタ	拂塵(ちりばらひ)
ハスパ	蓮葉(ーむすめ)		ハダギ	肌着(はたにつける きもの)

ハタケ	畑 (島、はた)	ハタビ	旗日 (大祭、日など)	バチ	撥 (さみせん、のば)
ハタケ	芥癩 (肌にでるふき)	ハダミ	肌身 (からだ)	バチ	桴 (杓、大鼓など)
ハタケナ	島菜 (菜の名)	ハタモト	旗下 (大将の本陣)	バチ	副 (自然とくると)
ハタゴ	旅籠 (やどや)	バダライ	馬盥 (馬を洗ふ盥具)	ハチク	淡竹 (竹の名)
ハタザオ	旗竿 (はたをたてる竿)	ハタラク	働 (つとめなす、活動)	ハチク	破竹 (竹をわること)
ハダシ	跣 (足に下駄などをはかぬこと)	ハタン	破綻 (やぶれほころびること)	ハチジヨ	八丈 (一島)
ハタシテ	果 (思つたとほり)	ハダン	破談 (相談がやぶれること)	ハチマキ	鉢巻 (頭に布など巻くこと)
ハタシアイ	果合 (ころしあふと)	ハダニキョ	巴旦杏 (木の名)	ハツ	發 (はなつ)
ハタス	果 (しとげる)	ハチ	八 (やつ、數の名)	ハツ	初 (いちばんはじめ)
ハタト	瑞 (手うつ音の形、容又ばつたり)	ハチ	鉢 (食器の名)	ハツ	果 (しとげたこと)
ハタハタ	蟻蛭 (虫の名)	ハチ	蜂 (虫の名)	バツ	罰 (つみ)
ハタハタ	雷魚 (魚の名)	ハチ		バツ	跋 (書物のおくがき、結末)

ハツアン	發案 (かんがへだす、議案を出す)	ハツカネズ	二十日鼠 (饅鼠)	ハッコ	醞酵 (酒の泡立つと)
ハツイ	發意 (思ひ立つ)	ハッキ	發揮 (あらはす)	ハッコ	發行 (書籍などをうり出すこと)
ハツイク	發育 (そだつ)	ハツギ	發議 (考をいひだす)	ハッコ	發向 (でむく)
ハツウマ	初午 (二月初の午の日)	ハッキリ	判然 (あきらか、は)	ハッコツ	白骨 (しろいほね)
ハツオン	發音 (音をだすこと)	ハッキン	白金 (金屬の名)	ハツサイ	伐採 (木をきりとる)
ハツカ	二十日 (十日の倍)	バッキン	罰金 (罪をつくなふ)	ハツサク	八朔 (陰曆の八月一日)
バツカ	幕下 (けらいの意)	ハツク	白駒 (しろいこま)	ハツサン	入算 (珠算で一けた)
ハツガ	發芽 (めがでる)	ハツク	入苦 (生老病死など八つの苦しみ)	バツシ	末子 (すゑの子)
ハツガ	發駕 (貴人の御出ま)	ハツケ	八卦 (易の八種の卦)	ハツシヤ	發車 (くるまのでる)
ハツカイ	發會 (はじめの會)	ハツケン	發遣 (おくりつかは)	ハツシヤ	發射 (銃などをうち出すこと)
ハツカク	八角 (かどの入つあ)	ハツゴ	發語 (いひだす)	バツシユツ	拔出 (ぬきだす)
ハツカク	發覺 (事のあらはれ)	バツコ	跋扈 (はびこること)	バツシヨ	跋渉 (わたりあるく)

ハッジョー	發條(ぜんまい)	バツタ	蜈蚣(虫の名)	ハット	發途(たびだち)
ハッシン	發信(音信を出す方)	ハツタイ	麩(むぎこがし、食物の名)	バット	拔刀(刀を抜くこと)
ハッシン	發疹(腫物の出ると)	ハツダケ	初茸(きのこの一種)	ハット	發動(うごきだす)
ハッスイ	拔萃(かきぬき)	ハツタツ	發達(のびそだつと)	ハツネ	初音(はじめのこゑ)
ハッセイ	發生(はえいづると)	ハツタン	入端(一織)	ハツネツ	發熱(ねつがでる、ほつねつ)
ハッセイ	發聲(こゑを出す)	パツチ	襦襦(ももひき、股引)	ハツバイ	發賣(うりだす)
ハッセキ	末席(末座)	ハツチャク	發着(出發と到着)	バツバイ	罰杯(罰として酒を飲ますこと)
ハッセン	入專(曆の語、雨多き時季の稱)	ハツチン	入珍(支那で膳にもる盛な美味)	ハツピ	法被(しるし半てん)
ハッソー	發送(おくり出す)	バツテイ	末弟(すゑのおと)	ハツビョー	發病(病がでる)
ハッソク	罰則(罰をきめた規則)	ハツテイ	發程(たびだち、かど)	ハツビョー	發表(衆人に示す)
ハッソク	末孫(後胤)	バツテキ	拔擢(ぬきいだす、よきぬく)	バツビョー	拔錨(船の港を出る)
ハツダ	發兌(賣り出す)	ハット	法度(おきて)	ハッブ	發布(ふれいだす)

ハッピン	發憤(いかりを出す)	ハツレン	發聲(天子の御車の出る)	ハトバ	波戸(波止場、はと)
ハッポ	發砲(大砲を打ち出す)	ハッロ	發露(あらはれる)	ハトムネ	鳩胸(胸の前へ張り出す)
ハッポ	八方(四方とよすみ)	ハツワ	發話(はなしかける)	ハドメ	齒止(車のめぐるを止める)
ハツボク	伐木(きをきる)	ハテ	果(ははり)	ハナ	花(華、植物の)
ハツマゴ	初孫(はじめのまご)	ハデ	華(はなやか、華美)	ハナ	端(はし)
ハツメイ	發明(考へだす)	バテイ	馬丁(馬かた)	ハナ	涕(はなしる)
ハツモノ	初物(はしり)	バテイ	馬蹄(馬のひづめ)	ハナ	鼻(顔にあるはな)
ハツヨ	發揚(あらはしあげ)	ハト	鳩(鳥の名)	ハナアヤメ	花菖蒲(草の名)
ハツラン	撥亂(世の亂を平げ)	ハト	波戸(なみよけ、途)	ハナアワセ	花合(闘花)
ンセイ	反正(太平にする)	ハト	波濤(おほなみ)	ハナイキ	鼻息(はなでする)
ハツリユ	末流(すゑの子孫)	ハド	波動(波のうごく)	ハナウタ	鼻唄(鼻にかけてうたふ)
ハツル	斫(すこしけつり)	ハト	罵倒(きつく罵ると)	ハナオ	鼻緒(下駄の)

ハナガミ	鼻紙(はなをふく紙)	ハナタケ	鼻茸(鼻のなかの)	ハナヤカ	花華(華美)
ハナカム	桐(はなをぬぐふ)	ハナタレ	鼻垂(はなをたらす)	ハナレル	離(別々になる)
ハナカンザシ	花簪(花の形した簪)	ハナツ	縦(放、發、ハナ)	ハナレゴマ	放駒(つなをはなれ)
ハナクワ	鼻屎(鼻の孔にたま)	ハナツマミ	鼻摘(はなをつまむ)	ハナワ	塙(山のさし出で)
ハナゲ	鼻毛(鼻孔にはえる)	ハナハダシ	甚(いげし、ひど)	ハニカム	差遣(はづかしがる)
ハナサカジ	花咲翁(お伽話のち)	ハナビ	花火(烟花)	ハニユ	埴生(埴土のある地)
ハナシ	話(噺、咄、談)	ハナブサ	花房(莢)	ハニワ	埴輪(埴土にて作れ)
ハナシル	鼻洩(鼻から出る粘)	ハナミ	花見(観花)	ハヌ	跳(をどり上る)
ハナス	放(別にする、は)	ハナミ	花實(はなとみ)	ハヌ	刎(首をきりさる)
ハナス	話(はなしをする)	ハナミズ	齒並(はならび)	ハヌ	撥(末をばらひ上)
ハナス	離(はなれしめる)	ハナムケ	鼻涕(はなしる)	ハヌイ	端縫(ふちぬひ、は)
ハナダ	縹(色の名)		餓(飢、旅立つ人)	ハヌケ	齒脱(はがぬける)

ハネ	羽(鳥のはね)	ハバム	沮(さまたげ支ふ)	ハボキ	羽帚(羽のはうき)
ハネ	撇(文字のー)	ハビコル	蔓延(草などはひひ)	ハホン	端本(はしたほん)
ハネ	泥穢(歩行の時泥の)	バビフウ	馬脾風(病の名)	ハマ	破覽(ー弓)
ハネ	弾機(はじきがね)	ハフ	破風(屋の切棟の端)	ハマ	濱(海河のきし)
ハネツルベ	桔槔(つるべの一種)	ハブ	波布(琉球の毒蛇)	ハマオギ	濱萩(草の名)
ハハ	母(女のおや)	ハフ	覇府(幕府)	ハマキ	葉卷(ー烟草)
ハバ	幅(巾、横のわた)	ハブク	省(除)	ハマグリ	蛤(貝の名)
ハバ	祖母(婆)	ハブタエ	羽二重(織物の名)	ハマナシ	濱梨(木の名)
ハハウエ	母上(はー)	ハブリ	羽振(勢力、權威)	ハマベ	濱邊(うみべ)
ハバカル	憚(おそれつゝし)	ハブリ	葉形(葉のかつかう)	ハママル	填(ほどよく入る)
ハバキ	歴衣(きやはん)	バフン	馬糞(うまのふん)	ハミガキ	齒磨(ー粉)
ハハソ	柞(木の名)	ハベリ	侍(居りの敬語)	ハミデル	食出(外へあまり出)

ハム	墳 (中へいれる、はめる)	ハヤク	破約 (約束をやぶる)	バラ	薔薇 (草の名)
ハム	食 (たべる)	ハヤシ	林 (木のしげるところ)	バラ	等 (たち、若殿)
ハメ	羽目 (かべの外をかこぶ板ばり)	ハヤシ	早 (速、疾)	ハラ	原 (のはら)
ハメコム	嵌込 (挿入)	ハヤス	雌 (にぎはす)	バラ	零亂 (ばらばら)
ハメツ	破滅 (やぶれぼろびること)	ハヤテ	疾風 (急にふき起る)	ハラ	祓 (神を祈りて災をのぞくこと)
バメン	馬面 (うまのかほ)	ハヤト	隼人 (薩摩)	ハラ	拂下 (政府でうる)
ハモ	鱧 (魚の名)	ハヤブサ	鴿 (隼、鳥の名)	ハラ	腹愈 (怒りをはらす)
ハモノ	刃物 (きれもの)	ハヤリオ	早雄 (逸男)	ハラ	同胞 (きやうだい)
ハモノ	端物 (はしたのもの)	ハヤリヤマ	流行病 (流疫)	ハラ	ハラチガイ
ハモン	破門 (晋なかまよりおひ出すこと)	ハユ	映 (うつる)	ハラ	ハラバイ
ハヤウチ	早打 (急ぎのつかひ)	ハユ	生 (はえる)	ハラ	ハラム
ハヤオケ	早桶 (棺桶)	ハラ	腹 (身體のはら)	ハラ	ハラモシ

ハラワタ	腸 (大腸)	ハリガネ	針金 (細長く伸した銅鐵線)	ハル	曇 (晴)
ハラシ	波瀾 (おほなみ)	ハリキ	馬力 (語一分間三萬三千磅あげる力)	ハル	貼 (のりではりつける)
ハリ	整 (蜂などの)	ハリコ	張子 (はりぬき)	ハル	批 (うつつこと)
ハリ	鍼 (醫者の用ある)	ハリシゴト	針仕事 (ぬひもの)	ハル	疇 (できものがはれる)
ハリ	刺 (草や木のはり)	ハリダシ	貼出 (はりだすこと)	ハル	腫 (遠くはなれたること)
ハリ	針 (ぬひばり)	ハリツケ	磔 (古の刑の名)	ハル	春雨 (春のあめ)
ハリ	梁 (家のはり、楯)	ハリネズミ	蝟 (獸の名)	ハレ	晴着 (りつばなきも)
ハリ	玻璃 (ガラス)	ハリフダ	張札 (はりがみ、はりふだ)	ハレ	破裂 (やぶれさける)
バリ	罵詈 (のゝしること)	ハリマゼ	張雜 (種々の書畫をまぜて貼ると)	ハレ	腫物 (できもの)
ハリアイ	張合 (きそひあふと)	ハル	春 (四季の一)	ハレ	破廉耻 (耻しらす)
ハリイ	鍼醫 (はりでなほす)	ハル	張 (ひろがりのび)	ハロ	拂 (掃、攘、祓)
ハリオーギ	糊扇 (紙でくるんだせんす)	ハル		ハロ	

ハロー	被 ^{はらふ} (きよめる)	ハンオー	反應 ^{おう} (かへりうち又)	ハンカコ	半過去 ^{くわ} (現在完了)
ハロー	拂 ^{はらふ} (はたく、しり)	ハンカ	繁華 ^{くわ} (にぎはしいと)	パンガサ	番傘 ^{さん} (粗末なあまが)
ハロー	波浪 ^{なみ} (なみ)	ハンカ	半價 ^{はん} (半分のあたへ)	パンカタ	晩方 ^{ばん} (くれがた)
ハロー	破牢 ^{やぶらう} (牢をやぶると)	ハンカ	反歌 ^{はん} (かへしうた)	ハンカチ	手帕 ^{てんぱ} (手ふき、ハン)
パン	麵包 ^{えんぱう} (麥粉にて製し)	パンカ	晚霞 ^{ばんか} (ゆふばえ)	ハンカツウ	半可通 ^{はんかつう} (なまものじ)
ハンアイ	汎愛 ^{はんあい} (ひろく人をあ)	パンカ	晩夏 ^{ばんか} (なつのなはり)	ハンカン	反間 ^{はんかん} (なかをへだて)
ハンイ	範圍 ^{はんい} (區域)	パンカ	挽歌 ^{ばんか} (死者を吊ふ詩)	ハンガン	判官 ^{はんがん} (裁判官)
バンイ	蠻夷 ^{ばんい} (えびす)	ハンカイ	半開 ^{はんかい} (半ひらくこと)	ハンキ	半旗 ^{はんき} (凶事に掲げる)
ハンエイ	繁榮 ^{はんえい} (さかえること)	パンカイ	挽回 ^{わんわい} (ひきもどすと)	ハンキ	半期 ^{はんき} (半年、半季)
ハンエン	蟠蜿 ^{ばんえん} (わだかまる)	パンガイ	番外 ^{ばんがい} (順番のほか)	ハンギ	版木 ^{ばんぎ} (印木)
ハンエン	半圓 ^{はんえん} (圓の半分)	ハンガク	半額 ^{はんがく} (半分のたか)	パンキ	萬機 ^{ばんき} (すべての政)
ハンエン	繁衍 ^{はんえん} (しげりふえる)	パンガク	晩學 ^{ばんがく} (おそまなび)	ハンギヤク	叛逆 ^{はんぎやく} (そむきさから)

ハンキユー	半弓 ^{はんきゆう} (小さなゆみ)	ハンケイ	半徑 ^{はんけい} (直徑の半分)	パンコ	萬戸 ^{ばんこ} (多くの家)
ハンキユ	半球 ^{はんきゆう} (地球の半)	パンケイ	萬頃 ^{ばんけい} (地面の廣い形)	ハンコー	版行 ^{ばんかう} (出版物を印刷し)
ハンキョ	反響 ^{はんきやう} (こだまのひ)	パンケイ	晚景 ^{ばんけい} (くれがたの景)	ハンコー	反抗 ^{はんかう} (てきたふこと)
ハンギョク	半玉 ^{はんぎよく} (おしやく)	ハンゲキ	反擊 ^{はんげき} (かへりうち)	ハンコー	頑行 ^{がんかう} (わかちくばる)
ハンキョク	蟠曲 ^{ばんきよく} (わだかまる)	ハンゲキ	繁劇 ^{はんげき} (いそがはしき)	パンコー	萬考 ^{ばんかう} (いろいろ考へ)
ハンキリ	半切 ^{はんきり} (手紙をかくか)	ハンケチ	手帕 ^{てんぱ} (ハンカチ)	パンコク	萬國 ^{ばんこく} (よるづのくに)
ハンキン	半金 ^{はんきん} (半額)	ハンケツ	判決 ^{はんけつ} (さばき)	パンコク	晩刻 ^{ばんこく} (ひのくれ)
バンキン	輓近 ^{ばんきん} (ちかごろ)	ハンゲツ	半月 ^{はんげつ} (半分のつき)	パンゴ	番號 ^{ばんごう} (じゆんばんの)
ハンク	半句 ^{はんく} (一句の半、少)	ハンケン	版權 ^{はんけん} (版行の權利)	ハンコン	癥痕 ^{しやうこん} (きづあと)
ハングツ	半靴 ^{はんくつ} (みじかい靴)	ハンゲン	半減 ^{はんげん} (なかばをへら)	ハンゴン	反魂 ^{はんこん} (たましひをか)
パングミ	番組 ^{ばんぐみ} (やくわりをし)	ハンコ	反語 ^{はんご} (意味の裏返る)	パンコンサ	盤根 ^{ばんこん} (極めて困難な)
ハンゲ	半夏 ^{はんげ} (草の名)	パンコ	萬古 ^{ばんこ} (ななき世、永)	クセツ	錯節 ^{さくせつ} (る境遇)
				ハンザイ	犯罪 ^{はんざい} (罪をかすと)

パンザイ	萬歲 <small>(いはひ唱へる)</small>	ハンジモノ	判物 <small>(かんがへもの)</small>	ハンジヨ	繁昌 <small>(じやう)</small>
ハンザツ	煩雜 <small>(わづらはしい)</small>	ハンシヤ	反射 <small>(てりかへす)</small>	ハンシヨ	半宵 <small>(やなか)</small>
パンサン	晚餐 <small>(ゆふめし)</small>	パンシヤケ	晚酌 <small>(たけなほの酒)</small>	ハンシヨ	帆檣 <small>(ほぼしら)</small>
ハンシ	挽詩 <small>(死人を吊ふ詩)</small>	ハンシユ	磐石 <small>(いはほ)</small>	ハンシヨ	反證 <small>(反對の證據)</small>
ハンジ	判事 <small>(官の名)</small>	パンシユ	藩主 <small>(大名)</small>	ハンシヨ	半疊 <small>(たみ半分)</small>
パンシ	萬死 <small>(とてもたすか)</small>	パンシユト	晚種 <small>(おそまきのた)</small>	ハンシヨ	晚鐘 <small>(くれのかれ)</small>
ハンシ	藩士 <small>(大名につかへ)</small>	ハンジユク	晚秋 <small>(あきのくれ)</small>	パンジヨ	萬乘 <small>(天子の位)</small>
ハンシ	半死 <small>(しにかかり)</small>	パンシユン	半熟 <small>(なまにえ)</small>	ハンシヨ	萬狀 <small>(よろづのさま)</small>
ハンシ	半紙 <small>(かみの名)</small>	パンシヨ	蕃書 <small>(西洋のしよ)</small>	ハンシヨク	繁殖 <small>(ふえひろがる)</small>
ハンジ	半時 <small>(はんとき)</small>	ハンシヨ	反照 <small>(てりかへし)</small>	ハンシヨク	伴食 <small>(實權なくして其職に在る者)</small>
パンジ	萬事 <small>(よろづのこと)</small>	ハンシヨト	半鐘 <small>(かねの一種)</small>	ハンシヨク	半身 <small>(からだはんぶ)</small>
				ハンシン	半信 <small>(なかば信ずる)</small>

ハンシン	叛臣 <small>(そむくけらい)</small>	ハンゼン	判然 <small>(はつきり)</small>	パンダイ	盤壘 <small>(魚を入れる淺)</small>
ハンシン	反身 <small>(そりみ)</small>	パンゼン	萬全 <small>(ごく完全な)</small>	パンダイ	萬代 <small>(まろづよ)</small>
ハンシン	叛心 <small>(そむくこころ)</small>	ハンソ	癩瘡 <small>(はれもの)</small>	ハンダン	判断 <small>(さげ)</small>
ハンセイ	反省 <small>(かへり見ると)</small>	ハンゾト	椀 <small>(器具の名、半)</small>	パンタン	萬端 <small>(よろづのこと)</small>
ハンセイ	繁盛 <small>(はんじやう)</small>	パンソ	伴僧 <small>(ともの僧)</small>	パンチャ	番茶 <small>(下等な茶)</small>
パンセイ	萬世 <small>(よろづよ)</small>	ハンソク	犯則 <small>(規則をむかす)</small>	ハンチク	斑竹 <small>(まだらのある)</small>
ハンセキ	叛跡 <small>(そむいたあと)</small>	パンソツ	番卒 <small>(ばんべい)</small>	ハンテイ	藩邸 <small>(大名のやしき)</small>
ハンセキ	藩籍 <small>(大名の領分)</small>	ハンタ	繁多 <small>(いそがしい)</small>	ハンテイ	判定 <small>(さげきため)</small>
ハンセツ	汎説 <small>(一般に通ずる)</small>	ハンタイ	反對 <small>(うらはら)</small>	ハンテン	半纏 <small>(裃天)</small>
ハンセツ	半切 <small>(唐紙白紙の半)</small>	ハンダイ	飯盛 <small>(食事の盛)</small>	ハンテン	反轉 <small>(ころぶ)</small>
ハンセン	半錢 <small>(五厘)</small>	パンタイ	萬態 <small>(いろ／＼の)</small>	ハンテン	半天 <small>(なかぞら)</small>
ハンセン	帆船 <small>(ほかけぶね)</small>	パンダイ	番盛 <small>(番人のすわつ)</small>	ハント	半途 <small>(とちゆう)</small>

ハンブ	版圖(りやうぶん、領地)	バンニン	萬人(くの人、多)	ハンブ	頒布(わかちくばる)
バンド	鑛士(鑛物の名)	バンニン	番人(みはりにん)	バンブウ	晩風(夕方ふくかぜ)
ハント	半島(三方だけ水に圍まれるしま)	ハンネツ	煩熱(あつくろしい)	ハンブク	叛服(そむくとした)
ハンド	反動(うちかへし、ゆりかへし)	ハンネン	半年(六ヶ月)	ハンブク	半腹(山のなかほど)
バント	番頭(商店の支配人)	バンネン	晩年(年老いたると)	ハンブク	反覆(くりかへすと)
バント	晩冬(ふゆのくれ)	ハンノ	半納(半額をなさめ)	バンブク	萬福(幸多きこと)
バンド	坂東(くわんと)	ハンパ	半端(はした)	バンブツ	萬物(よるづのもの)
ハンニヤ	般若(知慧又鬼女)	ハンバイ	販賣(うりさばく)	ハンブン	繁文(わづらはしき)
ハンニン	判任(一官)	ハンパク	斑白(しらがまじり)	ハンブン	半分(二分の一)
ハンニン	叛人(むほんにん)	ハンバツ	藩閥(藩等のたかき)	ハンペイ	藩屏(かき、へい)
ハンニン	半人(一人前の半分)	バンパン	萬般(よるづのこと)	ハンペイ	半平(食物の名、はんぺん)
バンニン	蕃人(やばんひと)	ハンビ	反比(一対一)	バンペイ	番兵(みはりの兵、歩哨)

ハンベツ	判別(見わけ)	バンミン	萬民(多くのたみ)	ハンリョ	蟠龍(わだかまれ)
ハンペン	半片(はんきれ)	ハンム	繁務(いそがしいつ)	ハンリン	半輪(なにかかけた)
ハンペン	半平(はんぺい)	ハンメイ	反命(命令にそむく)	ハンルイ	煩累(わづらはしい)
ハンポ	反哺(すがおやなや)	ハンメン	半面(顔の半分、か)	ハンレイ	凡例(書のはしがき)
ハンポ	繁忙(いそがしいと)	ハンモン	煩悶(むだえくるし)	ハンレツ	班列(ならび)
バンポ	萬方(方々、いろいろ)	ハンヤ	半夜(よなか)	ハンロ	坂路(さかみち)
バンポ	萬邦(よるづのくに)	バンユ	萬有(萬物)	ハンロ	販路(うりさばくみ)
ハンボン	版本(版木ですつた)	バンユ	變勇(野蠻的の勇氣)	ハンロ	絆籠(ほだす、つな)
ハンボン	醜木(ほんこく木)	ハンラン	汜濫(洪水の出ると)	ハンロー	煩勞(こころをわづらはす)
ハンマイ	飯米(めしにたく米)	ハンリユ	飯粒(めしつぶ)		
ハンミチ	半道(一里の半分)	ハンリョ	煩慮(おもひわづら)		
ハンミョ	斑猫(虫の名)	ハンリョ	伴侶(なかまづれ)		

『ひ』

日(太陽、ひる)

ヒ	火 (物をやくひ、くわじ)	ヒイキ	最良 (力を添へて人を助けること)	ヒエキ	裨益 (おきなひたすけること)
ヒ	緋 (あかいろ)	ヒイコ	曾孫 (孫の子)	ヒエツ	披閱 (ひらき見ると)
ヒ	秘 (ひみつ)	ヒイジジ	曾祖父 (祖父の父)	ビエドリ	鴨 (鳥の名)
ヒ	梭 (はたをおる具)	ヒイズ	秀出 (ぬきんでると)	ヒエル	冷 (ひやいかなる)
ヒ	樋 (水を流しやる)	ヒイババ	曾祖母 (祖父の母)	ヒエン	飛簾 (殿堂の軒のさき)
ヒ	婢 (めしつかひ女)	ヒイラギ	柎 (木の名)	ヒオ	氷魚 (魚の名)
ヒ	妃 (きさき)	ヒイン	庇蔭 (かばふこと)	ヒオイ	日覆 (目を覆ふ具)
ヒ	碑 (いしぶみ)	ビウ	微雨 (すこしのあめ)	ヒオーギ	檜扇 (扇の一種)
ヒ	目睛 (目のやまひ)	ビウ	眉宇 (まゆのあたり)	ヒオドシ	緋緘 (一のゆるひ)
ヒール	麥酒 (酒の名)	ヒウオ	乾魚 (ひしの)	ヒオムシ	蛭 (朝生れ夕に死ぬ山の名)
ヒアイ	悲哀 (かなしく、あはれなこと)	ヒウテ	火打 (一石)	ピオン	美音 (うつくしい音)
ヒイ	非違 (國法にたがふこと)	ヒエ	稗 (草の名)	ピオン	鼻音 (はなごゑ)

ピオン	微温 (ゆるまゆのあつさ)	ヒカゲ	日影 (日陰)	ヒガシ	彼岸 (かなたのきし)
ヒガ	彼我 (かれとわれ)	ヒカゲ	日蔭 (草の名)	ピカン	美觀 (うつくしきみえ)
ヒガ	餅 (もちがひ)	ヒガケ	日掛 (毎日金を出す)	ヒキ	避忌 (いむこと)
ヒガイ	鯨 (魚の名)	ヒガケ	餅事 (理にあたらぬ)	ヒキ	蕨 (かへるの一種)
ヒガイ	被害 (害をかうむる)	ヒガシ	乾菓子 (干乾きたる菓子)	ヒキ	疋 (匹、反物又鳥獸など數へる)
ヒカエ	控 (扣、副)	ヒガシ	東 (方角の名)	ヒキ	辨毀 (そしる)
ヒカエ	支 (一柱)	ヒガム	餅 (かたよる、ゆがむ)	ヒギ	非淺 (道理にはつれ)
ヒカエル	扣 (後の川に備へる)	ヒガメ	餅目 (見あやまり)	ヒキ	蟾蜍 (ひきかへる)
ヒカガミ	引屈 (膝關節の内側)	ヒガラ	日雀 (鳥の名)	ビキ	尾季 (花合せで最後)
ヒカク	比較 (くらべ見ると)	ヒカラビル	乾枯 (かわきはてる)	ヒキアイ	關係 (かかりあひ)
ヒガク	費額 (入川の金額)	ヒカル	光 (かやくこと)	ヒキアケ	引明 (よあけ、黎明)
ヒガク	美學 (美を研究する學問)	ヒカン	脾癪 (病の名)	ヒキアテ	引當 (抵當)

ヒキアワセ	引合 <small>あはせ</small> (紹介)	ヒキツケ	引付 <small>ひきよ</small> (一時氣絶す)	ヒキワケ	引分 <small>ひきわけ</small> (勝負つかぬ時引分けること)
ヒキイル	率 <small>ひきふる</small> (帥、將)	ヒキテ	引手 <small>ひきで</small> (障子唐紙の)	ヒキワタシ	引渡 <small>ひきわた</small> (長くひきはるゆづりわたす)
ヒキウケ	引受 <small>ひきうけ</small> (擔)	ヒキデモノ	引出物 <small>ひきだ</small> (おくりもの)	ヒキワリ	碾割 <small>ひきわり</small> (大麥をくだい)
ヒキウス	挽白 <small>ひきう</small> (碾白)	ヒキマワス	引廻 <small>ひきまわ</small> (ひつぱりま)	ヒキン	卑近 <small>ひきん</small> (手近くやさしきこと)
ヒキカエ	引替 <small>ひきか</small> (交換)	ヒキマワル	挽廻 <small>ひきまわ</small> (車をひきまはる)	ヒク	引 <small>ひ</small> (延、牽、曳、挽)
ヒキガエル	蟾蜍 <small>かへる</small> (かへるの一種)	ヒキヤク	飛脚 <small>ひきやく</small> (急事を報ずる便)	ヒク	彈 <small>ひ</small> (樂器をひく)
ヒキコシ	引越 <small>ひきこ</small> (轉居)	ヒキユ	貔貅 <small>ひきゅう</small> (軍人のこと)	ヒク	彎 <small>ひ</small> (弓をひく)
ヒキザン	引算 <small>ひきざん</small> (減法)	ビキユ	彌久 <small>ひきやく</small> (久しきにわたること)	ヒク	退 <small>ひ</small> (しりぞく)
ヒキズル	引摺 <small>ひきず</small> (長く地上をひいて行く)	ヒキヨ	悲境 <small>ひきよ</small> (悲しきありさま)	ヒク	碾 <small>ひ</small> (ひきうすでひく)
ヒキダシ	引出 <small>ひきだし</small> (ひき出すこと)	ヒキヨ	卑怯 <small>ひきよ</small> (おこづちなし、おくびやう)	ビク	比丘 <small>ひきよ</small> (僧のこと)
ヒキタテ	引立 <small>ひきだ</small> (つれ行く、あげ用ゐる)	ヒキヨク	秘曲 <small>ひきよ</small> (おくのての音)	ヒクイドリ	火食鳥 <small>ひきよ</small> (鳥の名)
ヒキツギ	引繼 <small>ひきつぎ</small> (つづぐこと)	ヒギリ	日切 <small>ひぎり</small> (日のかぎり、にちげん)	ヒクシ	低 <small>ひ</small> (矮、卑)

ヒクツ	卑屈 <small>ひくつ</small> (いくちのなきこと)	ヒケラカス	街 <small>ひ</small> (みせびらかすてらふ)	ビコー	備荒 <small>ひくわう</small> (わざはひの時備へ)
ヒグラシ	茅蜩 <small>ひぐらし</small> (蟲の名)	ヒケン	披見 <small>ひけん</small> (ひらき見ると)	ビコー	微功 <small>ひくこう</small> (いさゝかのて)
ヒグレ	日暮 <small>ひぐ</small> (くれ)	ヒケン	鄙見 <small>ひけん</small> (己の見こみ)	ヒゴイ	緋鯉 <small>ひごい</small> (魚の名)
ヒケ	引 <small>ひ</small> (退散、まけ)	ヒケン	比肩 <small>ひけん</small> (かたをならべること)	ヒコク	被告 <small>ひごく</small> (訴へられた方)
ヒゲ	鬚 <small>ひげ</small> (髭、髯)	ヒゲン	鄙諺 <small>ひげん</small> (いやしいことわざ)	ヒコバエ	藥 <small>ひこばえ</small> (木のきり株から生じた芽)
ヒゲ	卑下 <small>ひげ</small> (へりくだると)	ヒコ	彦 <small>ひこ</small> (男の美稱)	ヒゴロ	日頃 <small>ひごろ</small> (このごろ)
ヒゲキ	飛檄 <small>ひげき</small> (いそぎのしらせふみ)	ヒコ	曾孫 <small>ひご</small> (孫の子、ひい)	ヒザ	膝 <small>ひざ</small> (足のひざ)
ヒゲキ	悲劇 <small>ひげき</small> (かなしいしば)	ヒゴ	飛語 <small>ひご</small> (うはさ)	ビサイ	微細 <small>ひさい</small> (こまかいこと)
ヒケシ	火消 <small>ひげし</small> (ひをけす、消防夫)	ヒゴ	鄙語 <small>ひご</small> (あなかいことば)	ヒザカケ	膝掛 <small>ひざかけ</small> (まへ掛、車に乗る時の毛布)
ヒケツ	秘結 <small>ひげつ</small> (傾通の無いこと)	ヒゴ	庇護 <small>ひご</small> (かばふこと)	ヒサギ	楸 <small>ひさぎ</small> (木の名)
ヒケツ	否決 <small>ひげつ</small> (否ときめると)	ヒゴ	非業 <small>ひご</small> (定つた報のな)	ヒサグ	竈 <small>ひさぐ</small> (販、あきなふ)
ヒケツ	秘訣 <small>ひげつ</small> (おくのて)	ビコー	微行 <small>ひご</small> (しのびあるき)	ヒサゴ	瓠 <small>ひさご</small> (瓠、匏、ふくべ)

ヒサシ	久 (時のながいこと)	ヒジキ	鹿角菜 (海草の名)	ビジャク	微弱 (かよわいこと)
ヒサシ	庇 (軒の前になれ)	ヒシゲ	拉 (おしつぶす)	ビシヤモン	毘沙門 (天竺の神の名)
ヒサツ	飛札 (いそぎのてがみ)	ヒシコ	鯉 (魚の名、ひし)	ヒシ	ヒ首 (あひくち、く)
ヒザマズク	跪 (ひざまづく、てかがむ)	ヒジジ	曾祖父 (祖父の父)	ヒジユツ	秘術 (秘密の術)
ヒサン	飛散 (とびちる)	ヒジツキ	肘突 (ひぢつ、小)	ビジュツ	美術 (書詩歌音楽等)
ヒサン	悲慘 (ごくあはれな)	ヒジツボ	肘壺 (開き戸の櫃に)	ヒジユン	批准 (可否を定めて)
ヒシ	葵 (水草の名)	ヒジデッポ	肘鐵砲 (ひぢではれ)	ヒシヨ	避暑 (暑をさけること)
ヒジ	肱 (肘)	ヒシト	緊 (きびしく、す)	ヒシヨ	秘書 (たいじの書)
ヒジ	秘事 (ひめごと)	ヒジニ	餓死 (うゑじに)	ビシヨ	美女 (うつくしい女)
ビジ	美辭 (うつくしいこと)	ヒシメク	犇 (おしあふ)	ヒシヨ	悲傷 (かなしみ)
ビジ	美事 (ほめるべきこと)	ヒシヤク	柄杓 (水をくむ具)	ヒシヨ	飛翔 (空をまひか)
ヒシオ	干潮 (海水の干たむ)	ヒシヤク	飛錫 (僧侶の行脚)	ヒシヨ	裨將 (そへ大將)

ヒシヨ	肥饒 (土地のこえた)	ヒズケ	日付 (日をかきつけ)	ヒソ	皮相 (うはつら)
ヒシヨ	非常 (つねならぬ)	ピストル	短銃 (小さい銃)	ヒソ	悲壯 (かなしみに堪)
ヒシヨ	非情 (心なきもの)	ヒズメ	蹄 (牛、馬などの)	ヒゾ	秘藏 (大切に保存す)
ヒシヨ	微傷 (わずかなる)	ビセイ	美聲 (よいこゑ)	ヒソカ	窃 (竊、密)
ヒシヨ	微笑 (少しくわらふ)	ヒセキ	肥瘠 (こえたること)	ビソク	鼻息 (はないき)
ヒシヨ	微少 (すくなきこと)	ヒセシ	卑賤 (いやしいこと)	ヒソム	潜 (しのんである)
ヒシヨ	美稱 (ほめていふ)	ヒセン	被選 (えらばれること)	ヒソム	探 (顔をしかむ)
ヒシヨク	非職 (非役)	ヒゼン	疥癬 (病の名)	ヒダ	變 (積、袴などの)
ヒシヨク	美食 (うまいたべ)	ビセン	微賤 (いやしきこと)	ヒタイ	額 (顔の上部の名)
ヒジリ	聖 (徳高き人の尊)	ヒセント	非戦闘員 (にあづか)	ヒダイ	肥大 (こえふとると)
ビジン	美人 (うつくしい女)	ヒソ	砒素 (元素の名)	ヒタス	浸 (漬、つける)
ヒスイ	翡翠 (鳥の名、かは)	ヒソ	鼻祖 (一番の祖先)	ヒタスラ	只管 (ひとむきに)

ヒタタレ	直垂(古の衣服の名)	ヒツイ	筆意(文字をかまへ)	ヒッコス	引越(他へうつると)
ヒダチ	肥立(だんだん快くなる、そだつ)	ヒツウ	悲痛(かなしくいた)	ヒツコム	引込(誘ふ、退く、家にこもる)
ヒダラ	干鱈(ほしだら)	ヒツカ	筆架(ふでかけ)	ヒツサゲル	提(撃、ひきさげ)
ヒダリ	左(右の反對)	ヒツカケル	引懸(ぶら下る、だます、借つて返さぬ)	ヒツサン	筆算(数字をかいて數へること)
ヒタル	浸(ぬれとほる、漬)	ヒツキ	筆記(ふででしるす)	ヒツシ	筆紙(ふでとかみ)
ヒダルシ	餓(はらがへる)	ヒツギ	棺(柩、くわんを)	ヒツシ	必死(死ぬる覺悟)
ヒタン	悲嘆(かなしみなげ)	ヒツキョー	棺(柩、くわんを)	ヒツジ	未(十二支の一)
ビダン	美談(ほめるべきはなし)	ビツクリ	喫驚(おどろくこと)	ヒツシヤ	羊(獸の名)
ビダンシ	美男子(顔のよい)	ヒツケ	火付(火をつけること)	ヒツシユ	筆者(かいた人)
ビチユ	微衷(我が心の中)	ビツコ	破(不具者の一)	ヒツジヨ	必須(なくてはならぬ)
ヒテリキ	筆篋(樂器の名)	ヒッコ	筆耕(寫しものを業とする人)	ヒツセイ	必定(かならず)
ヒツ	櫃(上に向つて開く大きなはこ)				畢生(一生のこと)

ヒツセイ	筆勢(ふでのいきほ)	ヒツド	筆道(文字をかき法)	ヒデリ	早(雨ふらぬこと)
ヒツセキ	筆跡(ふでのあと)	ヒツパケ	逼迫(さしせまる)	ヒテン	批點(批評すべき點)
ヒツセン	筆洗(ふであらひ)	ヒツパリ	引張(ひいてたるめ)	ヒデン	秘傳(かくして容易に傳へぬこと)
ヒツソク	逼塞(おちぶれる)	ヒツプ	匹夫(常の男)	ヒト	人(にんげん)
ヒツソリ	悄然(しづか、さび)	ヒツプ	匹婦(常の婦)	ヒト	費途(費用の出みち)
ヒツタクル	引捲(手あらく奪ひとる)	ヒツポ	筆法(字のかき方)	ヒト	悲悼(かなしみなげ)
ヒツタン	筆端(ふでのさき)	ヒツメツ	必滅(かならずしぬ)	ヒト	非道(道ならぬこと)
ヒツダン	筆談(字をかいてはなしする)	ヒツヨ	必要(なくてはならぬ)	ヒト	無情(人のうけにん)
ヒツチユ	匹儔(なにかま)	ヒツヨ	必要(なくてはならぬ)	ヒト	人請(人のうけにん)
ヒツツク	引着(ひきつける)	ヒツロ	必用(かならず用ゐるべきこと)	ヒト	單衣(衣服の名)
ヒツテキ	匹敵(つりあふ、あひてになる)	ヒテイコツ	尾骶骨(脊骨の下部)	ヒト	一重(ひとひら、單)
ヒット	筆頭(第一といふ意)	ヒテイ	否定(けないといふこと)	ヒト	偏(ひとすぢに)

ヒトキワ	一際 <small>(一層)</small>	ヒトナミ	人並 <small>(ふつう)</small>	ヒドリ	日取 <small>(日をとりきめ)</small>
ヒトクセ	一癖 <small>(ひとつのくせ)</small>	ヒトフシ	一節 <small>(ひとくぎり)</small>	ヒナ	鄙 <small>(あな)</small>
ヒトクチ	一口 <small>(一口のくち)</small>	ヒトフデ	一筆 <small>(手紙の始の語)</small>	ヒナ	雛 <small>(鳥などの少)</small>
ヒトゴロシ	人殺 <small>(人をころす)</small>	ヒトボシド	點火時 <small>(ひのくれが)</small>	ヒナシ	日濟 <small>(日々にかへす)</small>
ヒトシ	均 <small>(齊、等)</small>	ヒトマズ	一先 <small>(まづ)</small>	ヒナタ	日向 <small>(日のてらす)</small>
ヒトシオ	一入 <small>(一段)</small>	ヒトマトメ	一纏 <small>(ひとつにまとめ)</small>	ヒナブリ	夷振 <small>(古歌の一體)</small>
ヒトジチ	人質 <small>(妻子等を敵へ)</small>	ヒトマワリ	一廻 <small>(まはり)</small>	ヒナワ	火繩 <small>(火を點じて携へる繩)</small>
ヒトズテ	人傳 <small>(人に托すると)</small>	ヒトミ	瞳 <small>(眸、目の中心)</small>	ヒナン	非難 <small>(悪しきをなじ)</small>
ヒトチガエ	人違 <small>(人をかちがへること)</small>	ヒトミゴク	人身御供 <small>(犠牲)</small>	ヒナン	美男 <small>(ビダンシに同)</small>
ヒトデ	人手 <small>(ひとのちから)</small>	ヒトリ	一人 <small>(いちにん)</small>	ヒニク	皮肉 <small>(かはとにく、人につらくあたる)</small>
ヒトトナリ	爲人 <small>(しつ、もちまへ、き)</small>	ヒトリ	獨 <small>(吾一人のみの)</small>	ヒネ	陳 <small>(ふるい穀物)</small>
ヒトナダレ	人頽 <small>(群集の押され散ること)</small>				

ヒネモス	終日 <small>(一日中、しゅうじつ)</small>	ヒバシ	火箸 <small>(火をはさむ箸)</small>	ヒビキ	響 <small>(音がたはる)</small>
ヒネル	拵 <small>(ちまはす)</small>	ヒバシラ	火柱 <small>(柱の如く立てる火)</small>	ヒビヤキ	響燒 <small>(響ある様にやいた磁器)</small>
ヒノイリ	日没 <small>(日入、にちぼつ)</small>	ヒバチ	火鉢 <small>(炭火をおこしおく具)</small>	ヒビョー	批評 <small>(よしあしを論ずること)</small>
ヒノエ	丙 <small>(十二支の一)</small>	ヒバナ	火花 <small>(火が花の如く飛ぶもの)</small>	ヒビョーイン	避病院 <small>(びやういん、流行病者院)</small>
ヒノキ	檜 <small>(木の名)</small>	ヒバリ	雲雀 <small>(鳥の名)</small>	ヒフ	皮膚 <small>(はだ)</small>
ヒノクレ	日暮 <small>(ひくれ)</small>	ヒハン	批判 <small>(ひひやうする)</small>	ヒフ	被覆 <small>(おほふこと)</small>
ヒノコ	火粉 <small>(火のとびちるもの)</small>	ヒバン	非番 <small>(やすみの番)</small>	ヒフ	被風 <small>(衣服の名)</small>
ヒノシ	火熨斗 <small>(布帛のしわをのばす具)</small>	ヒヒ	披靡 <small>(敵がまけしり)</small>	ヒフ	日歩 <small>(日利子をてへること)</small>
ヒノテ	火手 <small>(火のもえる力)</small>	ヒヒ	狒 <small>(獸の名)</small>	ヒブ	日賦 <small>(ひなしすること)</small>
ヒノデ	日出 <small>(日のさし出る)</small>	ヒビ	日日 <small>(まいにち)</small>	ヒブ	美風 <small>(うつくしき)</small>
ヒノト	丁 <small>(十二支の一)</small>	ヒビ	塀 <small>(あかぎれ)</small>	ヒフウ	火吹 <small>(火をおこす道具)</small>
ヒバイヒン	非賣品 <small>(うらないしなもの)</small>	ヒビ	壺 <small>(罍、陶器など)</small>	ヒフキ	

ヒフク	被服(きもの)	ヒボ—	誹謗(そしること)	ヒマゴ	曾孫(まごのこ、彦)
ヒフク	美服(うつくしいきもの)	ヒボ—	非望(だて不相應なくは)	ヒマシニ	日増(日ごとによす)
ヒフク	微服(貴人等の身なりをやつす)	ビボ—	彌縫(一時しのぎにつくらふこと)	ヒマワリ	日廻(向日葵、草の名)
ヒフン	悲憤(かなしみいきどほること)	ビボ—	備忘(わすれたる時をしのぐ)	ヒマン	肥満(こえふとる)
ヒブン	碑文(石碑にほりつづける文)	ビボ—	未亡人(ごけ)	ビミ	美味(うまいあぢ)
ヒブン	美文(うつくしき文章)	ヒホケン	被保険(保険される)	ヒミツ	秘密(かくしごと)
ヒブン	非分(理にあはぬ身分不相配)	ヒボシ	火乾(火にかわかつこと)	ビミョ—	微妙(妙にして幽玄なること)
ヒヘイ	微分(數學の科)	ヒボシ	日乾(日光でかわかつこと)	ヒムロ	氷室(こほりむろ)
ヒボ	疲弊(つかれよわる)	ヒボシ	千乾(うゑてやせる)	ヒメ	姫(媛)
ヒボ	紐(ひも)	ヒボシ	秘本(秘藏の書物)	ヒメイ	碑銘(石碑の銘)
ヒボ—	秘方(他人に知らせぬ法)	ヒボン	非凡(なみくならぬこと)	ヒメイ	悲鳴(かなしみなく)
ヒボ—	飛報(いそぎのしらせ)	ヒマ	隙(間、罅)	ヒメイ	非命(非業)

ビメイ	美名(ほまれ)	ヒヤ	鄙野(いやしきこと)	ビヤクロー	白銀(しろめ)
ヒメゴト	秘事(かくしごと)	ヒヤアセ	冷汗(つめたいあせ)	ヒヤス	冷(つめたくする)
ヒメン	罷免(官職などやめ)	ヒヤカス	冷(つめたくする)	ヒヤツカン	百官(多くのや)
ヒモ	細(ものを結ぶ太さ糸)	ヒヤク	非役(つとめをやめ)	ヒヤツキ	百鬼(いろいろのば)
ビモク	眉目(まゆとめ、ほまれ)	ビヤクエ	白衣(しろいきもの)	ヒヤツケイ	百計(いろいろのは)
ヒモク	比目(ならべること)	ビヤクジ	百事(すべてのこと)	ピヤノ	洋琴(西洋樂器の名)
ヒモジ	餓(腹がへる)	ヒヤクシヨ—	百姓(しやう、人民)	ヒヤミツ	冷水(つめたいみづ)
ヒモト	火元(火のしえはじ)	ビヤクダン	白檀(木の名)	ヒヤムギ	冷麪(きりむぎをひ)
ヒモノ	檜物(わげもの)	ヒヤクド	百度(百たび)	ヒヤメシ	冷飯(つめたいめし)
ヒモノ	干物(ほしたるもの)	ヒヤクブン	百分(百でわる、一算)	ヒヤンチン	香椿(たまつばき、木の名)
ヒモロギ	神籬(神を祭る所、やしる)	ヒヤクマン	百萬(一萬の百倍)	ヒユ	譬喩(たとへ)
ヒモロギ	胙(神のおそなへ)	ヒヤクミ	百味(食物のうまい)	ヒユ	莧(草の名)

ビョーデン	謬傳 (あやまりのつたへ)	費用 (うりやう)	飛揚 (とひあがる)	口傭 (日やとひ)	豹 (獸の名)	雹 (雨の氷りてふるもの)	鈺 (釘の一種)	秒 (分の六十分一)	病痾 (やまひ)	病院 (病人をとまらせて直す所)	苗裔 (子孫、しそん)	評價 (ねづもり)
ビョーカイ	氷塊 (氷のかたまり)	氷海 (こほりのほり)	氷解 (うたがひのうけること)	嫖客 (あそびて)	剽悍 (みがらでつよ)	病氣 (やまひ)	評議 (さうだん)	剽輕 (こつつけい)	兵具 (いくさだうぐ)	表具 (かけものふすまなどのふす)	氷結 (氷がはりつめる)	評決 (評議してとりさめること)
ビョーゴ	病後 (やまひのなほ)	表號 (しるし)	病根 (やまひのもと)	表札 (もんふだ)	冰山 (氷の山、南北極にある)	廟算 (政府のみこみ)	拍子 (舞樂などの調子を合すこと)	表紙 (書物の表裏につけるあつ紙)	表示 (あらはししめす)	病死 (やまひでしぬること)	標識 (めじるし)	標準 (めあて、めど)
ビョーゴ	病後 (やまひのなほ)	表號 (しるし)	病根 (やまひのもと)	表札 (もんふだ)	冰山 (氷の山、南北極にある)	廟算 (政府のみこみ)	拍子 (舞樂などの調子を合すこと)	表紙 (書物の表裏につけるあつ紙)	表示 (あらはししめす)	病死 (やまひでしぬること)	標識 (めじるし)	標準 (めあて、めど)
ビョーゴ	病後 (やまひのなほ)	表號 (しるし)	病根 (やまひのもと)	表札 (もんふだ)	冰山 (氷の山、南北極にある)	廟算 (政府のみこみ)	拍子 (舞樂などの調子を合すこと)	表紙 (書物の表裏につけるあつ紙)	表示 (あらはししめす)	病死 (やまひでしぬること)	標識 (めじるし)	標準 (めあて、めど)

ビョーシヨ	廟所 (おたまや)	表彰 (あらはしはめる)	表象 (かたちをあらはす)	病症 (病氣のたち)	病床 (病人のねど)	病狀 (やまひのさま)	兵仗 (儀衛の武器)	評定 (評議してきめる)	病身 (病多きからだ)	表旌 (あらはしほめ)	剽竊 (他の文句をぬすむこと)	飄然 (ひらりと)
ビョーゼン	渺然 (ひろびる)	標疽 (病の名)	表裝 (表具)	平仄 (詩の)	表題 (表紙にかいた名、標題)	病體 (ひやうきのか)	瓢箪 (酒を入れる器)	氷炭 (互に親しまぬ)	漂着 (たひよひつく)	標註 (本文の上につく)	氷柱 (こほりのはしら)	病中 (ひやうちゆう)
ビョーテン	氷點 (水が氷となるべき温度)	標點 (しるし)	剽盜 (おひはぎ)	標燈 (しるしのと)	平等 (ひとしきと)	廟堂 (朝廷、政府)	病人 (病氣ある人)	漂泊 (たひよひながれる)	表自 (あらはにいふこと)	評判 (うはさ)	表皮 (皮膚のうはか)	屏風 (室内に立てる道具)
ビョーテン	氷點 (水が氷となるべき温度)	標點 (しるし)	剽盜 (おひはぎ)	標燈 (しるしのと)	平等 (ひとしきと)	廟堂 (朝廷、政府)	病人 (病氣ある人)	漂泊 (たひよひながれる)	表自 (あらはにいふこと)	評判 (うはさ)	表皮 (皮膚のうはか)	屏風 (室内に立てる道具)
ビョーテン	氷點 (水が氷となるべき温度)	標點 (しるし)	剽盜 (おひはぎ)	標燈 (しるしのと)	平等 (ひとしきと)	廟堂 (朝廷、政府)	病人 (病氣ある人)	漂泊 (たひよひながれる)	表自 (あらはにいふこと)	評判 (うはさ)	表皮 (皮膚のうはか)	屏風 (室内に立てる道具)

ヒョーボ	漂母(せんたくば)	ヒヨク	肥沃(土地のこえた)	ヒラク	啓(智徳などをひらく)
ヒョーボー	標榜(あらはし)	ヒヨケ	日除(ひをよける)	ヒラタシ	平(たひらかなり)
ヒョーボー	渺茫(ひろびる)	ヒヨケ	火除(火の延焼をよける)	ヒラチ	平地(たひらな土地)
ヒョーホン	標本(みほん、ひな)	ヒョットコ	彦徳(飄男)	ヒラニ	平(ひとへに)
ヒョーメン	表面(うはへ)	ヒヨドリ	鶇(鳥の名)	ヒラヒラ	翩々(ひるがへる)
ヒョーヤナギ	未央柳(木の名、金糸桃)	ヒヨリ	日和(そらあひ)	ヒラメ	平目(魚の名)
ヒョーリ	表裏(おもてうら)	ヒヨワシ	疴弱(かよわい)	ヒラメカス	閃(ひかへさせ)
ヒョーリユ	漂流(たよひな)	ヒラ	平(たひら、なみ)	ヒラメカス	閃(ひらへさせ)
ヒョーレイ	漂零(おちぶれる)	ヒライシン	避雷針(らいよけ)	カラメク	閃(ひらへさせ)
ヒョーロ	兵糧(兵糧、軍人)	ヒラウ	拾(おちたるもの)	ヒラヤ	平屋(二階の無い)
ヒョーロン	評論(評し論する)	ヒラク	開(披)	ビラン	糜爛(やぶれた)
ヒヨク	比翼(つばさをなら)	ヒラク	拓(地をひろめる)	ビリ	最下等(又は最終)

ヒリ	非理(理にはづれた)	ヒル	放(體外に排泄す)	ヒレフス	平伏(ひらたくなり)
ヒリツク	辣痛(むりくいた)	ヒルイ	比額(たぐひ)	ヒロ	尋(およそ六尺の長さ)
ヒリヨ	肥料(こやし)	ヒルガエス	翻(しめる)	ヒロ	卑陋(いやしきこと)
ビリヨク	微力(わづかの力)	ヒルガエル	翻(ひるがへる)	ヒロ	披露(ひろめ)
ヒリン	比隣(のきをならべ)	ヒルガオ	晝顔(草の名)	ヒロ	疲勞(つかれ)
ヒリン	鄙吝(けちんぼ)	ヒルネ	晝寝(ひるねること)	ヒロ	尾籠(失禮の意)
ヒル	蒜(草の名)	ヒルム	痺(力がよわる)	ヒロ	天鷲絨(織物の名)
ヒル	蛭(虫の名)	ヒルメシ	晝飯(正午の食事)	ヒロ	廣(ひろくなる)
ヒル	晝(日のある間)	ヒレ	鯖(魚の名)	ヒロク	微祿(おちぶれる)
ヒル	干(かわく)	ヒレイ	比例(わりあはせ)	ヒロシ	廣(博、弘、宏)
ヒル	噓(くさめする)	ビレイ	美麗(うつくしい)	ヒロソデ	廣袖(袖を袋のやう)
ヒル	簸(箕であふりふ)	ヒレツ	卑劣(いやしきこと)	ヒロバ	廣場(ひろいばしよ)

ヒロブタ	廣蓋 (又は其の如く蓋)	ヒンイ	品位 (くらゐ)	ヒンシ	品詞 (名詞動詞など)
ヒロマ	廣間 (ひろい座敷)	ビンカキ	贅掻 (贅をかたくし)	ヒンシユク	鑿鑿 (かほなしかめ)
ヒロメル	廣 (ひろむ)	ヒンカク	品格 (品位)	ビンシヨク	敏捷 (すばやいこと)
ヒワ	鴉 (鳥の名)	ヒンカク	賓客 (おきやく)	ビンシヨク	憫笑 (あはれみわら)
ビワ	琵琶 (樂器の名)	ビンギ	便宜 (べんり、たよ)	ビンズル	賓頭 (羅漢の名、像)
ビワ	批把 (木の名)	ヒンキユー	貧窮 (びんぼう)	ヒンセイ	貧生 (びんぼな生徒)
ヒワダ	檜皮 (ひのきの内か)	ヒンク	貧苦 (まづしくくる)	ヒンセイ	品性 (せいしつ)
ヒワリ	日割 (日をわりあて)	ヒンケツ	貧血 (血のすくなき)	シンセイ	擯斥 (けなししりぞ)
ピン	止針 (とめばり)	ビンゴ	備後 (おと)	ヒンセン	貧賤 (まづしくいや)
ビン	髮 (頭髮の左右の)	ヒンコー	品行 (おこなひ、身)	ビンセン	便船 (たより船)
ビン	瓶 (ガラスの器)	ヒンコク	稟告 (申し上げる)	ビンゼン	憫然 (あはれ)
ビン	便 (たより、つい)	ビンサシ	贅差 (贅をふくらす)		

ヒンソー	貧相 (貧しいさま)	ブ	部 (ぶぶん)
ビンソク	敏速 (すばやきこと)	ブ	斑 (ぶち、まだら)
ビンツケ	髮付 (ー油)	フート	呪 (メートル法の)
ヒンパン	頻繁 (しげきこと)	ブアイ	歩合 (わりまへ)
ヒンピョー	品評 (しなさだめ)	ファンナイ	不案内 (案内知らぬ)
ヒンプ	貧富 (びんぼかねも)	ファイ	不意 (思ひのほか)
ビンベン	屢勉 (つとめはげむ)	ファイ	布衣 (いやしい人)
ビンボー	貧乏 (まづしきこと)	ブイ	無意 (ムイに同じ)
ヒンミン	貧民 (まづしいたみ)	ブイ	無異 (かはりなし)
ヒンルイ	品類 (しな、たぐひ)	ブイ	無爲 (なにもせぬと)
ビンロー	檳榔 (木の名)	ブイ	武威 (武力のいくわ)
ビンワン	敏腕 (はたらきのお)	ブイク	撫育 (いたつくしみそ)

ファイゴ	鞆 <small>ふいがう</small> (火をおこす具)	フウガワリ	風變 <small>かぜはり</small> (はつてゐる)	フウサイ	風采 <small>かぜのさい</small> (ひとがら、や)
ファイチヨ	吹聴 <small>ちやう</small> (ひろう)	フウカン	諷諫 <small>ふうかん</small> (物によそへい)	フウサイ	風災 <small>かぜのさい</small> (な)
ファイリ	斑入 <small>まだら</small> (ことある)	フウキ	富貴 <small>たかひ</small> (財多く位高き)	フウシ	風姿 <small>かぜのすがた</small> (やうす)
フィン	訃音 <small>しよ</small> (死去のしらせ)	フウキ	富貴 <small>たかひ</small> (財多く位高き)	フウシ	諷刺 <small>ふうし</small> (それとなく人)
ブイン	無音 <small>むおん</small> (たよりをせぬ)	フウギ	風儀 <small>かぜのぎ</small> (ならはし)	フウシ	夫子 <small>ふし</small> (賢者をたうと)
フウイン	封印 <small>ふういん</small> (封じめにあす)	フウキョ	風教 <small>ふうけう</small> (世のなしへ)	フウジヤ	風邪 <small>かぜ</small>
フウイン	風韻 <small>ふうん</small> (みやびのおも)	フウキン	風琴 <small>ふうきん</small> (楽器の名、オ)	フウシユ	風習 <small>かぜのしゆ</small> (ならはし)
フウウ	風雨 <small>ふうう</small> (かぜあめ)	フウケイ	風景 <small>ふうけい</small> (けしき)	フウシヨ	封書 <small>ふうしよ</small> (ふうじたてが)
フウウン	風雲 <small>ふうん</small> (かぜとくも)	フウゲツ	風月 <small>ふうげつ</small> (かぜとつき)	フウシヨク	諷誦 <small>ふうじゆ</small> (よみとなへ)
フウカ	富家 <small>ふうか</small> (かねもちのい)	フウコ	風光 <small>ふうかう</small> (けしき)	フウジロ	風色 <small>かぜのいろ</small> (けしき)
フウカ	風化 <small>ふうか</small> (風儀をよくす)	フウコ	風候 <small>ふうこう</small> (時候のぐあひ)	フウジン	封蠟 <small>ふうろう</small> (封し目にはり)
フウガ	風雅 <small>ふうが</small> (みやび)	フウコ	風候 <small>ふうこう</small> (時候のぐあひ)	フウジン	風塵 <small>ふうじん</small> (ほこり)

フウセツ	風説 <small>ふうせつ</small> (うはさ)	フウハ	風波 <small>ふうは</small> (なみかぜ、あ)	フウシ	浮雲 <small>うきぐも</small>
フウセン	風船 <small>ふうせん</small> (輕氣球)	フウバイ	風媒 <small>ふうばい</small> (かぜがなかた)	フウシ	不運 <small>ふしあはせ</small>
フウソク	風俗 <small>ふうそく</small> (ならはし)	フウハク	風伯 <small>ふうはく</small> (かぜをおこす)	ブウン	武運 <small>ぶうん</small> (いくさの運)
フウタイ	風袋 <small>ふうたい</small> (いれもののお)	フウビ	風靡 <small>ふうび</small> (なびかせる)	フエ	笛 <small>ふえ</small> (楽器の名)
フウチ	風致 <small>ふうち</small> (おもしろ)	フウヒョ	風評 <small>ふうひやう</small> (うはさ)	フエ	鰓 <small>うきぶくろ</small> (魚のうき袋)
フウチヨ	風潮 <small>ふうしやう</small> (世のなりゆき)	フウフ	夫婦 <small>ふうふう</small> (めをと)	フエキ	不易 <small>ふえき</small> (かはらぬこと)
フウテン	風鐙 <small>ふうてん</small> (軸物の兩端に)	フウブン	風聞 <small>ふうぶん</small> (うはさ)	フエキ	扶掖 <small>ふえき</small> (たすけること)
フウツウ	風通 <small>ふうつう</small> (織物の名)	フウミ	風味 <small>ふうみ</small> (あじはひ)	フエツ	斧鉞 <small>ふえつ</small> (の、まさか)
フウテイ	風體 <small>ふうたい</small> (なりふり、す)	フウライ	風來 <small>ふうらい</small> (何處からとも)	フエテ	不得手 <small>ふてて</small> (じゆくれん)
フウテン	瘋癲 <small>ふうてん</small> (気がひ)	フウラン	風蘭 <small>ふうらん</small> (蘭の一種)	フエル	殖 <small>ふえ</small> (敷がます、ふ)
フウド	風土 <small>ふうど</small> (土地のありさ)	フウリュ	風流 <small>ふうりゆう</small> (みやび)	フエン	不縁 <small>ふえん</small> (えんぐみの破)
フウト	封筒 <small>ふうとう</small> (手紙を入れる)	フウリン	風鈴 <small>ふうりん</small> (軒につる鈴)	フエン	布衍 <small>ふえん</small> (のへ廣げると)

フエン	敷衍(おしひろげる)	フカイ	附會(くわい) (こじつけ)	ブカン	武官(くわん) (軍人、文官)
フエンリヨ	無遠慮(遠慮せぬ)	フカイ	府會(くわい) (府の經費など議する會)	フキ	蓆(せき) (蓆、草の名)
フオン	不穩(おだやかならぬ)	フカイ	不快(くわい) (面白からぬ)	フキ	襖(ふすま) (きものふき)
フカ	鱧(魚の名)	フガイナシ	無腑甲斐(いひがひない)	フキ	不軌(むほん)
フカ	不可(よからぬ)	フカク	不覺(いづくもない)	フギ	不羈(ものにかは)
フカ	負荷(おひになふ)	ブガク	舞樂(雅樂のまひ)	フギ	不義(義にそむく)
フカ	躰化(卵がかへる)	フカシ	深(ふかい)	ブギ	武器(いくさ道具)
フカ	浮華(はでやか)	フカシギ	不可思議(はかりがたき)	ブギ	舞妓(まひひめ)
フカ	賦課(わりあて)	フカス	蒸(むす)	フキアゲ	吹上(噴水)
フカ	附加(つけくはへる)	フカス	更(夜などを)	フキツ	不吉(めでたくない)
フカ	部下(府のうち又郡部のこと)	フカデ	深手(おもききず)	ブキツチヨ	不器用(ぶきよう)
フカ	部下(手した)	フカミ	深處(ふかいところ)	フキナガシ	吹流(旗の一種)

フキブリ	吹降(風ふき雨ふる)	フキン	附近(そのきんじよ)	フクイク	馥郁(香のかんげし)
フキヤ	吹矢(すいでふきだす)	フキン	布巾(食器などをぬぐふ)	フクイン	福音(幸なるおとづ)
フキユ	不朽(たれぬ)	フキン	賦金(わりあてたか)	フクイン	幅員(ひろさ)
フキユ	不急(急ならざる)	フク	拭(ぬぐふ)	フクエキ	服役(役に服すると)
フキユ	普及(ゆきわたると)	フク	吹(風をつくる)	フグウ	不遇(不仕合)
フキヨ	不興(面白からぬ)	フク	葺(屋根をおほふ)	フクオン	複音(單音ならぬ)
フギヨ	俯仰(うつむくとあふむくと)	フク	噴(はき出す)	フクコ	腹稿(腹中のしゆか)
ブギヨ	奉行(命を受けてとりに行ふ)	フク	副(そへ)	フクサ	袂紗(帛でつくれる)
ブキヨク	舞曲(まひの曲)	フグ	不虞(思ひがけぬ)	フクザイ	服罪(罪に服すると)
フキヨセ	吹寄(風で吹寄せ物種々を)	フグ	不具(かたは)	フクサイテ	不俱(ともに天をい)
フキリヨ	不器量(器量のわるい)	フグ	河豚(魚の名)	フクシ	戴天(たいかぬ)
フキブ	不器量(器量のわるい)	フクアン	腹案(はらの中の考)	フクシ	副使(つきそひの使)
フキブ	不器量(器量のわるい)	フクアン	腹案(はらの中の考)	フクシ	副詞(動詞などを限定する語)

フクシヤ	復寫(またうつし)	フクスウ	複數(二以上の數)	フクトク	伏匿(かくれること)
アケシヤ	福者(しあはせもの)	フクスケ	福助(脊ひきく頭大なる人)	フクドク	復讀(くりかへしよむりかへしよ)
フクシユ	復讐(かたきうち)	フクセキ	復籍(實家の戸籍にかへる)	フクハイ	覆敗(くつがへり破れること)
フクジユ	服従(したがふこと)	フクセン	伏線(あらかじめ用意し置くこと)	フクビキ	福引(くじをひかせて物をあてること)
フクシヨ	副書(姓名をかきそへること)	フクセン	複線(二つならんだ線路)	フクヒ	複比(一々例)
フクシヨク	復職(もとの職にもどること)	フクソ	輻湊(よりあつまること)	フクブ	腹部(腹の部分、物のなかほど)
フクシヨク	復飾(還俗すること)	フクソ	福相(福福しい人相)	フクブン	福分(しあはせのよ)
フクシヨク	服飾(きものなどの總名)	フクゾ	腹藏(腹の中にかくすこと)	フクベ	瓠(匏、へうたん)
フクシン	腹心(心の底までうちあかすこと)	フクチュ	腹中(はらのなか)	フクヘイ	伏兵(かくれた兵)
フクジンズ	福神漬(漬もの名)	フクツウ	腹痛(はらいたみ)	フクボツ	覆没(くつがへりしづむこと)
フクス	伏(したがふ、かくれる)	フクテツ	覆轍(車の轍へること)	フクホニ	復本位(二種の物を本位とする)
フクス	服(したがふ、身につける)	フクトク	福德(しあはせ)		

フクマク	腹膜(腹部にある膜)	フクロ	梟(鳥の名)	フケル	深(ふかくなる、たけなはにな)
フクム	服務(務にしたがふこと)	フクロクジュ	福祿壽(七福神の一)	フケン	府縣(府や縣)
フクム	含(銜、口にいれ)	フクロダナ	袋柵(袋の柵、戸柵)	フケン	符驗(ききめ、しる)
フクメイ	復命(かへりてへんじすること)	フクワケ	福分(品物をわけあはること)	フゲン	富源(とみのみなも)
フクメン	覆面(かほをつむ)	フケ	雲胎(髪にたつ白いあか)	フゲン	普賢(一々菩薩)
フクヤク	服藥(くすりをつむ)	ブケ	武家(武士のいへす)	フゲン	附言(つけ加へた言)
フクヨ	服用(身につけ用ゐること)	フケイ	不稽(むかんがへ、根拠無)	ブゲン	分限(かれもち)
フクヨ	服膺(よく心にとめて忘れぬこと)	フケイ	不敬(うやまはぬこと)	ブゲン	侮言(あなどること)
フクラム	脹(ふくれる)	ブゲイ	武藝(武道にかはる)	フゴ	畚(土などもりて運ぶ器具)
フクリン	覆輪(へりをおほひかざれるもの)	フケイキ	不景(景氣がわるい)	フゴ	武庫(武器ぐら)
フクル	脹(内より外へ張る)	フケツ	氣(さびしい)	フコ	不孝(孝行にはづれ)
フクロ	袋(袋)	フケル	不潔(きたないこと)	フコ	不幸(ふしあはせ)

フゴー	符號(しるし)	フサイ	負債(借りた金)	フサン	不參(まぬらぬこと)
フゴー	富豪(かれもち)	フサイ	不才(はたらきのな)	フシ	節(物のくぎり)
フゴー	符合(二つのこと)の 符合(よくあふこと)	フザイ	不在(ならぬこと)	フシ	父子(ちちとことども)
ブコー	武功(いくさの手柄)	ブサイク	不細工(ふてぎは)	フジ	富士(山の名)
フゴーカク	不合格(合格しない)	フサガル	塞(さへぎりさま)	フジ	不時(時ならぬこと)
フコク	布告(あまれくつげ)	フサグ	鬱(気がはれず)	フジ	不時(時ならぬこと)
ブコク	誣告(しひうつたへ)	フサグ	塞(さへぎる)	フシ	藤(花の名)
ブコツ	無骨(禮儀を知らぬ)	フザケル	戲(たはむれる)	ブジ	武士(さむらひ)
フサ	房(花實の一莖に 簇り垂れたる)	ブサタ	無沙汰(おとづれな)	ブジ	蕪辭(つまらぬこと)
フサ	總(糸を束れて其 端を散し垂ら したるもの)	ブザツ	蕪雜(入り亂れて條 理のないこと)	ブジ	武事(いくさのこと)
フザ	跌坐(あぐらをか)	ブサホー	不法(きやうぎの わるいこと)	フシアワセ	無事(ひまなこと)
		フサワシ	相應(かなふこと)	フシギ	不仕(たつしや)
					不運(あはせ)
					不慮(せのないこと)
					合(あはせ)
					不思議(あやしいこと)

フシダラ	檢不束(だらしない)	ブジュツ	武術(武のわざ)	フジヨ	不定(さだまらぬこと)
フジダナ	藤架(藤つるをまと)	フシユビ	不首尾(首尾のわる)	ブシヨ	不精(くはしから)
フジツ	不日(日ならず)	フジユン	不順(順序の亂れる)	ブシヨ	無性(なまげがち)
フジツ	不實(まことのない)	フジヨ	扶助(たすけること)	ブシヨ	武將(たいしやう)
フジバカマ	藤袴(草の名)	ブシヨ	部署(手くばり)	フシヨク	腐蝕(くさること)
フシマツ	不始(始末のわるい)	フシヨ	負傷(きずを負ふこと)	フシヨク	扶植(たすけしたて)
フジミ	不仁身(始ど感じの)	フシヨ	覺鐘(かねの一種)	ブジヨク	侮辱(あなどりはず)
フシメ	伏目(下をむいてゐ)	フシヨ	不肖(親ににぬこと)	フシヨク	不密(うたがはしい)
フシヤ	府社(社格の一)	フシヨ	不祥(ふきつ)	フシヨク	善請(家などを造る)
フジユ	不自由(自由ならぬ)	フシヨ	不勝(心地のすぐ)	フシヨク	婦人(をんな)
フジユク	不熟(じゆくしない)	フシヨ	不承(承知)	フシヨク	夫人(妻の尊稱)
ブジユツ	撫恤(いたはりあ)	フシヨ	不淨(清からぬこと)	フシヨク	不仁(なまげ心)

ブシニ	武神 <small>(ま)</small> 武道のかみさ	フセイ	浮世 <small>(うきよ)</small>	フセル	伏 <small>(フスに同じ)</small>
フシニセツ	不親切 <small>(こと)</small> 親切でない	フセイ	不正 <small>(ただしくない)</small>	フセン	附箋 <small>(つけふだ、さ)</small>
フス	伏 <small>(よこにする、ふ)</small> せる、かくす	フゼイ	賦税 <small>(ねんぐ)</small>	フリ	扶桑 <small>(げがみ)</small> 日本のこと
フス	臥 <small>(横になりてね)</small>	フゼイ	風情 <small>(おもむき、あ)</small>	ブリ	無雙 <small>(ならびなきと)</small>
フス	俯 <small>(俛、うつむく)</small>	ブゼイ	無勢 <small>(人数の少きと)</small>	ブロー	武裝 <small>(いくさのした)</small>
フズイ	賦 <small>(わりあてる、)</small> 詩などつくる	フセイリツ	不成立 <small>(なりたたな)</small>	フソー	不相應 <small>(さうおう)</small> 適當でない
ブスイ	不随 <small>(おもふまいに)</small> うごかぬこと	フセグ	防 <small>(禦、扨、拒)</small>	フソク	不足 <small>(たらぬこと)</small>
フスブ	不粹 <small>(ぶこつ、)</small> 無風流 <small>(いぶる、くす)</small>	フセキ	附籍 <small>(他家へついた)</small> 戸籍	フソク	不測 <small>(はかられぬと)</small>
フスマ	襖 <small>(障子)</small>	フセツ	敷設 <small>(布設、しきま)</small> 敷 <small>(うけること)</small>	フゾク	附屬 <small>(つきそふこと)</small>
フスマ	袂 <small>(ふとん)</small>	フセツ	浮説 <small>(ねなしこと)</small>	フソロイ	不揃 <small>(そろばない)</small>
フセ	布施 <small>(僧にほどくす)</small>	フセツ	符節 <small>(わりふ)</small>	フリソ	不遜 <small>(たかぶること)</small>
		フセヌイ	伏縫 <small>(縫込をわりか)</small> 縫 <small>(くし)</small> 寝 <small>(をす)</small>	フタ	蓋 <small>(もののおほひ)</small>

フダ	札 <small>(ものを書きし)</small> るした小板	フタツ	布達 <small>(ふれ告げると)</small>	ブチ	斑 <small>(まだら)</small>
フダ	符 <small>(神佛のまもり)</small> ふだ	フタマタ	二俣 <small>(二つにわかれ)</small>	フチャ	普茶 <small>(料理)</small>
ブダ	豚 <small>(獸の名)</small>	フタメ	二目 <small>(二つの目)</small>	フテヤク	附着 <small>(ひつつくこと)</small>
フタイ	附帶 <small>(つきそふこと)</small>	フタメ	不為 <small>(ためにならぬ)</small>	フチュ	不忠 <small>(忠義でない)</small>
フダイ	譜代 <small>(世々つかふ臣)</small>	フタモノ	蓋物 <small>(蓋のある入物)</small> 陶器の合子	フチヨ	不調 <small>(とーのはぬと)</small>
ブタイ	舞臺 <small>(をどりば)</small>	フタン	負擔 <small>(おひになふと)</small>	フチヨ	符牒 <small>(しるし)</small>
フタイトコ	再從 <small>(またいとこ)</small>	フダン	不斷 <small>(たえざること)</small>	フチヨ	符帳 <small>(商家で物價)</small> 符帳 <small>(を隠語でつ)</small> けたもの
フタエ	兄弟 <small>(またいとこ)</small>	ブダン	武斷 <small>(武力によりて)</small> 事をさげく	フチヨ	符牒 <small>(ふちやうに同)</small>
フタオヤ	二重 <small>(二つかさなつ)</small> たこと	フチ	扶持 <small>(たすけること)</small>	フチヨ	符牒 <small>(ふちやうに同)</small>
フタコ	兩親 <small>(父母)</small>	フチ	不治 <small>(病のなほらぬ)</small>	ブチヨ	不調法 <small>(つたない)</small> あやまち
フタゴコロ	二子 <small>(一織)</small>	フチ	不洽 <small>(こと)</small>	フチン	浮沈 <small>(うきしづみ)</small>
フタタビ	貳心 <small>(異心)</small>	フチ	縁 <small>(へり)</small>	ブツ	擊 <small>(うつこと)</small>
	再 <small>(二度)</small>	フチ	淵 <small>(潭、水の深き)</small>		

フツウ	不通(通ぜぬこと)	フツキョー	拂曉(あけがた)	ブツコ	物故(死ぬること)
フツウ	普通(なみ)なる	ブツキョー	佛教(佛のをしへ)	フツゴ	不都合(都合のわる)
ブツカ	物價(ものゝあたひ)	ブツキリ	打切(一餉)	ブツサキ	打裂(一羽織)
ブツカ	佛家(寺院)	ブツダ	佛具(佛器)	ブツサン	佛參(てらまゐり)
ブツカ	佛果(ほとけとなる)	フツクリ	賑(ふくれてゐる)	ブツサン	物産(その土地に産するもの)
ブツカク	佛閣(てら)	フツケイ	副啓(そへてまうす)	ブツシ	佛師(佛像をつくる人)
フツカヨイ	二日酔(宿酔)	フツケン	復権(失つた権利をとりかへす)	ブツジ	佛事(佛法の祭り)
フツカン	副官(師團一)	ブツケン	物權(法律の語、有體物を目的とする權)	ブツシツ	物質(ものゝたち)
ブツギ	物議(世間でのうは)	フツコ	復古(むかしにかへ)	ブツシユカン	佛手柑(木の名)
ブツギ	佛器(佛事に用ゐる道具)	フツゴ	佛語(ふらんす語)	ブツシヨ	佛書(佛教の本)
ブツキ	服忌(は父母の死に忌むこと、例へば忌五十日服)	ブツゴ	佛語(佛教上の語)	ブツジヨータ	物上擔保(物件にて法律の語、なす債權の擔保)

フツシヨク	拂拭(ぬぐふこと)	フットー	佛騰(わきあがる)	フデ	筆(文字を書く具)
ブツシヨク	物色(ものゝいる、人相がき)	ブツドー	佛堂(佛を安んずる堂)	フテイ	不逞(不庭、命に従はぬ者を云ふ)
ブツゼン	佛前(ほとけのまへ)	ブツド	佛道(ほとけのみち)	フテイサイ	不體裁(みにくし)
ブツソ	佛像(ほとけのすがた)	ブツピン	物品(しなもの)	フテキ	不敵(ものにおそれぬこと)
ブツソ	物騒(ものさわがしきこと)	ブツポー	佛法(ほとけののり)	フテキ	不出來(わらういでき)
ブツダ	佛陀(ほとけ)	ブツポーソー	佛法僧(三寶又鳥の佛法僧名)	フテキト	不適當(適當しないこと)
ツブダン	佛壇(佛像位牌をおく壇)	ブツマ	佛間(佛だんのある間)	フテクサレ	不貞(自棄、やけを) 腐(おこすこと)
ブツチガイ	打違(交叉、うちちがひ)	ブツミョ	佛名(ほとけの名號)	フデサキ	筆端(筆のほたるき)
ラブツチョーズ	佛頂(面、ふあいかほ)	ブツモン	佛門(佛道)	フテネ	不貞寢(不平のため) 不貞(ねてゐる)
フツツカ	不束(才能のたならぬこと)	ブツリ	物理(ものの道理)	フテル	腐敗(て命に従はぬ)
フツテイ	佛底(とほしきこと)	ブツリキ	佛力(佛のちから)	フテンノモ	普天下(あめがした)
フットー	沸湯(にえゆ)	ブツロン	物論(ブツギに同じ)	フト	不圖(はからず)

フト	浮圖(佛、塔)	フトイ	太藺(水草の名)	フトン	布團(坐下にしくも)
ブト	嶼子(小虫の名、蚋)	フトオリ	太織(織物の名)	フナ	鮪(魚の名)
フトー	不常(理にあたらぬ)	フドキ	風土記(本の名)	ブナ	榎(木の名)
フト	仆倒(たふれること)	フトクデン	武徳殿(内裏の御殿)	フナアソビ	船遊(船にのつて遊)
フト	埠頭(船舶のどま)	フトクサク	不得策(利益な)	フナヨイ	船酔(船酔)
フド	不同(同じがらぬ)	フトクヨ	不得要領(わけの)	フナノリ	船乗(船員、海員)
フド	不動(うごかぬ)	リヨ	大物(衣類の総稱)	フナビト	船人(せんどう)
ブト	舞踏(なとり)	フトッパラ	大腹(いころのふ)	ブナン	無難(さはりなき)
ブド	葡萄(果の名)	フトドキ	不届(不都合)	フニアイ	不似合(にあはない)
ブド	無道(道なきこと)	フトモモ	太股(股の内部のふ)	フニョ	富饒(とみてにぎは)
ブド	不動産(動すこと)	フトコロ	懐(衣と胸との間)	フニョ	不如意(心のま)
フトー	不透明(すきとほ)	フトモノ	大物(帛の総稱)	フニン	赴任(つとめにおも)

ブニン	無人(人手の少ない)	フバツ	不拔(ぬきさらぬ)	フヘイ	不平(平かならぬ)
フニン	不人情(なさけの)	フバル	武張(たけいきほ)	フヘン	不變(かはらぬ)
フヌケ	腑脱(ばかもの)	フビ	武備(いくさぞなへ)	フヘン	浮泛(水にうかぶ)
フネ	舟(船、艇、舸、解)	フビン	不憫(あはれ、かは)	フベン	不便(便利でない)
ブネン	無念(ムネン)	フビン	不敏(さとからぬ)	フボ	父母(ちちはは)
フノ	不能(できない)	フヒン	不品行(おこなひの)	フホ	不法(法にはづれた)
フノリ	布苔(海草の名)	フブキ	吹雪(風まじりのゆ)	フマン	不満(満足せぬ)
フハイ	腐敗(くさること)	フフク	不服(したがはぬ)	ブマン	侮慢(あなどること)
フハク	布帛(もめんときぬ)	フブン	不文(學問のない)	フミ	文(書、かきもの)
フハク	浮薄(情のうすい)	フブン	部分(ぶわけ、一つ)	フミキリ	踏切(汽車線路と人)
フバコ	文箱(状箱)	フブン	不文律(律の効力)	フミダイ	踏臺(あしつぎ)
		フブン	不文律(生ずるに)	フミダン	踏段(はしごだん)

フミニニ	蹂躪(じゅうりん)	フニ	浮遊(うかれあそぶ)	ブラシ	刷子(はけ)
フム	踐(履、踏、躪)	フユ	富有(かねもち)	フラスコ	硝子壺(がらす製の長いびん)
フムキ	不向(相当しない)	フユ	蟬蟻(蟲の名)	フラチ	不埒(ふとらき)
フモ	不毛(草木のほえぬこと)	ブユ	武勇(たけぐいさま)	フラン	腐爛(くされたれ)
フモ	誣妄(なきことなあらんとしひる)	フユキトド	不行届(ゆきとどかぬこと)	フラン	不亂(みだれぬこと)
フモト	麓(山のすそ)	フヨ	附興(賦興、あたへさづける)	フラン	腐亂(くされみだれ)
フモン	不問(とはない、ほつておく)	フヨ	蠨子(アトに同じ)	ブランコ	鞞(しうせん、運動機械の名)
ブモン	部門(部類)	フヨ	芙蓉(蓮)	フランコ	佛蘭西(國の名)
ブモン	武門(武士の家から)	フヨ	不川(いらぬこと)	フランネル	細絨(舶來の毛織物)
フヤケル	潤(水にひたりてふくれる)	フヨク	扶翼(たすけること)	フリ	振(すがた)
フヤス	殖(ふえさせる)	ブライ	無頼(あふれもの)	ブリ	鯽(魚の名)
フユ	冬(季節の名)	ブラケ	部落(人民のむれ)	ブリキ	鐵葉(薄い鐵板に錫をぬつた物)

フリダス	振出(采のふりはじめる)	ブリョ	無聊(つれづれ)	フルウ	顛(戦、ぶるぶる)
フリダス	降出(雨がふりはじめ)	ブリョク	武力(いくさのちか)	フルウ	奮(ふんばつする)
フリソデ	振袖(ながいそで)	フリ	不倫(みちでない)	フルギ	古着(ふるいきもの)
フリムク	振向(かへりみる)	フル	狂(くるふ)	フルクサシ	古臭(ふるい、陳腐)
フリヤイ	振合(他のやうすあ)	フル	震(ゆれること)	フルサト	故里(故郷、こきや)
ブリヤク	武略(いくさのほか)	フル	降(そらより落ち)	フルシ	古(おほく年がた)
フリニューモン	不立(禪宗の語、眞意を文字でわからぬこと)	フル	觸(あたる、さは)	フルス	舊(ふるくする)
フリヨ	俘虜(とりこ)	フル	羅斗(篩)	フルス	古巢(もとのす)
フリヨ	不慮(無慮)	フル	部類(類により別を立てること)	フルテ	古手(ふるぎ、ふる)
フリヨ	不慮(無慮)	フル	振(ふりうごかす)	フルマイ	振舞(おこなひ)
フリヨ	不慮(無慮)	フル	震(ゆれて動く)	ブレ	無禮(禮なきこと)
フリヨ	不慮(無慮)	フル	震(ゆれて動く)	ブレ	不例(びやうき)

フレル	觸 (さばる)	ブンカ	分科 (一學科を更に小分したるもの)	ブンギョー	分業 (しわざを分け行ふこと)
フロ	風呂 (茶の湯の具、ゆあみの湯)	ブンカ	文化 (世のひらけること)	ブンケ	分家 (わかれたいへ)
フロー	浮浪 (さまよふ)	ブンカ	文華 (文學のこと)	ブンケイ	刎頸 (友情の親密、11の交り)
フロク	附録 (つけがき)	ブンガイ	憤慨 (いきどほりなげ)	ブンゲイ	文藝 (文學一切の藝)
フロシキ	風呂敷 (物をつゝむ布帛)	ブンカイ	分解 (ときわかたつ)	ブンゲキ	奮激 (ふるひはげむ)
フワ	不和 (むつまじからぬこと)	ブンガイ	分外 (みぶん不相)	ブンゲン	分限 (身のほど)
ブワケ	部分 (ふるゐわけ)	ブンガク	文學 (ふみのみち、學問の一種)	ブンコ	文庫 (文のくら)
ブンイ	文意 (文のいみ)	ブンカツ	分割 (わけること)	ブンコツ	粉骨 (力をつくすこと)
ブンイキ	雰圍氣 (大氣、くう)	ブンカン	文官 (文事にたつくわん、さばる官吏)	ブンサイ	粉碎 (こなみじん)
ブンウン	文運 (世の學藝のありさま)	ブンキ	奮起 (氣をふるひて立つこと)	ブンサイ	文彩 (いろどり)
ブンカ	噴火 (火を吹き出すこと)	ブンギ	紛議 (事のもつれ)	ブンザイ	文才 (文章の才)
ブンカ	文科 (11大學)	ブンキ	分岐 (わかれた)	ブンザイ	分際 (みのほど)

ブンサン	分散 (ちりちりになること)	ブンシヨク	扮飾 (みづくるひ、おけしやう)	フンタイ	粉黛 (女のけしやう)
ブンシ	文士 (文章を業とせる人)	ブンシン	奮進 (いきほひよく進むこと)	ブンタイ	文體 (文章のていさ)
ブンシ	分子 (分散の横線上にある數)	ブンシン	文身 (いれずみ)	ブンタイ	分隊 (隊伍の名)
ブンシツ	紛失 (うしなふこと)	ブンシン	分身 (子をうむこと)	ブンダイ	文題 (文章のだい)
ブンジャク	文弱 (よわきこと)	ブンジン	文人 (詩や書畫等に志す人)	ブンダイ	文臺 (短冊をのせる臺)
ブンシユ	文集 (文をあつめた本)	ブンスイ	噴水 (ふき出し)	ブンタン	分擔 (手わけしてつかさどる)
ブンシヨ	文書 (しよるゑ)	ブンズウ	分數 (分母分子から成立つた數)	ブンダン	文壇 (文章をもてあそぶ社會)
ブンシヨ	分署 (わかれのやくしよ)	ブンズマリ	糞滯 (便通のないと)	ブンチ	分地 (土地を子弟にわけること)
ブンジョー	紛擾 (もつれみだれ)	ブンセキ	分析 (こまかに分つこと)	ブンチ	聞知 (きゝしること)
ブンシヨ	文章 (言語を文字でかきあらはしたるもの)	ブンセン	奮戦 (ふるひたゝかふこと)	ブンチョー	文鳥 (鳥の名)
ブンシヨ	文章 (はしたるもの)	ブンセン	文選 (活字ひらひの職工)	ブンチン	文鎮 (書物かみなど)
ブンシヨ	分掌 (わかちつかさどること)	ブンゼン	憤然 (いきどほるかたち)	ブンツウ	文通 (文のやりとり)

ブンテン	文典(文章の法則を説ける書)	ブンピ	分泌(液汁のにじみ出る)	ブンポー	文法(文章の法)
フンド	忿怒(いかること)	ブンピツ	文筆(文章をかくと)	ブンボク	文墨(詩文書畫の總稱)
フントー	奮闘(ふるひ戦ふこと)	ブンブ	分賦(わりあて)	フンポン	粉本(畫のしたがり)
フンドー	分銅(はかりのおも)	ブンブツ	文武(文事と武事)	ブンマワシ	規(圓をかく道具の名)
フンドシ	犢鼻褌(したおび)	ブンブン	文物(學問の事がら)	フンマン	忿懣(いかること)
ブンドリ	分捕(わけどり)	フンピン	芬芬(香の高い形容)	フンミョー	分明(はつきりわかる)
フンロン	紛紜(ごたごた)	ブンベイ	分袂(たもとをわか)	ブンメイ	文明(世のひらけたこと)
ブンバ	分派(えだは、わか)	フンベツ	分別(わかまへ考へること)	ブンメン	文面(文のかきつけ)
ブンパイ	分配(分つこと)	ブンベン	分娩(子をうむこと)	ブンヤ	分野(ぶんげん、天の廿八宿に當る所)
フンパツ	奮發(ふるひたつ、きばる)	フンボ	墳墓(はか)	フンユ	賞勇(つよいいさほ)
フンバル	蹈張(ふみはる)	ブンボ	分母(分數の横線下の數)	フンラン	紛亂(こみいる)
フンパン	噴飯(笑ひにたへぬこと)	ブンボー	文房(文よむへや)		

ブンリ	分離(わかればなれる)	ヘイオク	弊屋(やぶれたいへ)	ヘイキ	平氣(とんちやくせ)
ブンリ	文理(文章のすぢ)	ヘイエキ	兵役(徴兵に出る)	ヘイカン	平杆(體操器械の一)
ブンリョー	分流(わかれのな)	ヘイエイ	兵營(衛戍、兵士の住處)	ヘイガク	兵學(軍事に關する學)
ブンリョー	分量(物のかさ、ほどあひ)	ヘイイン	兵員(兵士)	ヘイカク	兵革(いくさのこと)
ブンルイ	分類(類を分つこと)	ヘイア	平易(たやすいこと)	ヘイカク	平角(百八十度の角)
フンレイ	奮勵(ふるひげむ)	ヘイイ	弊衣(やぶれたき)	ヘイガイ	弊害(あしきならは)
ブンレイ	文例(文のかきかた)	ヘイイ	平夷(たひらか)	ヘイカク	平角(二直角)
ブンレツ	分裂(さげわかれる)	ヘイイ	平安(無事)	ヘイガ	平臥(ねること)
ブンワ	文話(文章についてのはなし)	ヘイア	平安(無事)	ヘイガ	米價(こめのねだん)
ヘ	「ハ」	ヘイオ	弊衣(やぶれたき)	ヘイガ	弊害(あしきならは)
ヘ	綜(機のこと)	ヘイオ	弊屋(やぶれたいへ)	ヘイキ	平氣(とんちやくせ)

ハイキ	兵器(武器)	ハイコー	並行(ならぶこと)	ハイシ	斃死(たふれじに)
ハイキ	兵機(いくさのほづ)	ハイコー	閉口(屈服、こまる)	ハイジ	平時(つねのとき)
ハイキヨ	閉居(家にとちこも)	ハイゴ	併合(あはせること)	ハイジツ	平日(ふだん)
ハイキヨ	屏居(退きて家に居ること)	ハイコク	弊國(自國の謙稱)	ハイシヤ	弊社(會社、新聞社などの謙稱)
ハイキヨ	屏去(しりぞきさる)	ハイコク	米穀(こめのるゐ)	ハイシヤ	兵車(軍用のくる)
ハイキン	平均(ひきならすと)	ベイコク	米國(あめりか)	ハイシユ	兵種(へいたいのし)
ハイダ	兵具(いくさ道具)	ハイサ	平沙(たひらなすな)	ハイシユ	弊習(わるいならば)
ハイケ	平家(平氏)	ハイサ	閉鎖(とざすこと)	ハイジュツ	兵術(いくさのしか)
ハイゲイ	睥睨(にらむこと)	ハイサン	平産(やすらかな出)	ハイシヨ	兵書(兵法の本)
ハイケン	兵權(軍事上の權力)	ハイシ	兵士(兵卒、へいた)	ハイシヨ	聘招(まねきよぶ)
ハイゲン	平原(たひらなはら)	ハイシ	平氏(源氏)	ハイジョ	閉場(て人を入れ)
ハイコ	閉戸(戸をとざすと)	ハイシ	瓶子(酒をる器)	ハイジョ	兵仗(いくさ道具)

ハイジョ	平常(ふだん)	ハイセン	兵船(いくさぶね)	ハイタンブ	兵站部(軍用品を貯る處)
ベイシヨ	米商(こめや)	ハイセン	兵燹(いくさくわじ)	ハイチ	平地(ひらち)
ハイシヨク	兵食(ひやうらう)	ハイゼン	炳然(あきらか、はつきり)	ハイテイ	平定(たひらげ定め)
ハイシン	平信(普通のため)	ハイソ	平素(ふだん)	ハイテイ	閉廷(法廷をとちる)
ハイシン	壁臣(きに入りのけ)	ハイソ	兵曹(武官の階級)	ハイテン	閉店(店をしまふこと)
ハイジン	兵刃(きれもの、は)	ハイソク	閉塞(とちふさぐと)	ハイテン	弊店(我店の謙稱)
ハイジン	壁人(氣に入つたも)	ハイゾク	弊俗(わるい風俗)	ハイドン	併呑(あはせのむ)
ハイシン	平身(平伏すること)	ハイソツ	兵卒(上等兵以下の軍人)	ハイネン	平年(ふだんの年、閏年に對し)
ハイヌ	聘(まねく)	ハイタイ	兵隊(兵卒の隊)	ハイバ	兵馬(いくさ)
ハイセイ	兵勢(兵士のいきほ)	ハイタク	弊宅(自宅の謙稱)	ハイハク	幣帛(神へ供へる物)
ハイゼイ	平生(つね)	ハイタン	兵端(職のいとぐち)	ハイハン	平板(おもしろみな)
ハイセキ	兵籍(軍人たる籍)	ハイタン	平坦(たひら)		等(きこと、詩文等にいふ)

ヘイハン	平反(訟を再審理すること、復審)	ヘイボー	兵鋒(兵勢、軍隊の)	ヘイヨ	併用(二つをあはせ)
ヘイビ	兵備(軍備)	ヘイボン	平凡(なみ)	ヘイラン	兵亂(いくさのみだ)
ヘイフ	斃仆(たふれしぬること)	ヘイミヤク	平脈(普通のみやく)	ヘイリョク	兵力(軍隊のちから)
ヘイフウ	弊風(わるい風習)	ヘイミン	平民(華士族に對して)	ベイリン	米粟(こめぐら)
ヘイフク	平服(ふだんぎ)	ヘイメン	平面(たひらな表面)	ヘイレイ	聘禮(ゆひなふ、尊長を招く禮)
ヘイブツ	幣物(おくりもの、ささげもの)	ヘイモク	閉目(目をふさぐ)	ヘイレツ	並列(駢列、ならぶ)
ヘイブン	平分(等しくわけ)	ヘイモツ	聘物(おくりもの、進物)	ヘイワ	平和(おだやかなと)
ヘイヘイボ	平々(平凡でとるに)	ヘイモン	聘問(みやげを持つての訪問)	ヘキ	癖(くせ)
ヘイホ	弊舖(弊店)	ヘイモン	閉門(門をとぢる)	ベキ	器(數學の語、三乗)
ヘイホ	平方(數學の語、同)	ヘイユ	平癒(全快、ぜんく)	ヘキエキ	辟易(おそれたじろ)
ヘイホ	兵法(戰術、いくさ)	ヘイユ	併有(あはせたもつ)	ヘキエン	僻遠(都に遠きこと)
		ヘイユ	弊邑(自村の謙稱)	ヘキカイ	碧海(あなうなばら)

ヘキキョ	僻郷(かたゐなか)	ヘキソン	僻村(かたゐなかの)	ヘス	滅(へらす、少く)
ヘキギョク	碧玉(鑽物の名)	ヘキユ	僻邑(ヘンソンに同)	ヘリ	臍(ほぞ)
ヘキクウ	碧空(あなぞら)	ヘキラク	碧落(あなぞら)	ヘタ	下手(しわざのまづ)
ヘキグウ	僻隅(かたゐなか)	ヘキレキ	霹靂(かみなり、強)	ヘタ	帶(うてな、へそ)
ヘキザイ	僻在(あなかすまひ)	ヘキロー	僻陋(なやしい、あ)	ベタキン	總金(全體が金色の)
ヘキジ	僻事(ひがこと)	ヘキロン	僻論(理にあはぬ論)	ヘダテル	隔(とほくする)
ヘキシユ	僻習(くせ)	ペキン	北京(支那の都)	ヘチマ	絲瓜(草の名)
ヘキシヨ	壁書(公衆に示す張紙の類)	ヘコオビ	兵兒帶(男のしごき)	ベツカ	別課(本科のほかの課目)
ヘキシヨク	碧色(みどりいろ)	ヘコム	陷(おちいる、ひ)	ベツカク	別格(特別の格式)
ヘキセツ	僻説(かたよつた説)	ヘサキ	舳(船のかしら)	ベツキ	別記(別にしるす)
ヘキチ	僻地(かたゐなか)	ベシ	可(だらう、しな)	ベツギ	別儀(ほかのわけ)
ヘキト	劈頭(第一番)	ヘシアウ	壓合(おしあふこと)	ベツキョ	別居(わかれてゐる)

ベッケ	別家(ぶんけ)	ベツシヨ	別所(別荘)	ベツパ	別派(別のえだ、わ)
ベツケン	瞥見(ちらと見ると)	ベツジヨ	蔑如(いやしみかる)	ベツバイ	別杯(わかれのさか)
ベツコ	別戸(べつのいへ)	ベツジヨ	別條(かはつたこと)	ベツピン	別品(上等の品)
ベツコ	別項(別のかでう)	ベツセキ	別席(ほかの座席)	ベツピン	別嬪(みめのよい女)
ベツコ	鼈甲(たいまい)	ベツソ	別莊(別業、別墅)	ベツプウ	別封(別に封じる)
ベツコン	別懇(とりわけした)	ベツタケ	別宅(べつのいへ)	ベツミヨ	別名(別のな)
ベツサツ	別册(別の書冊)	ベツダン	別段(とりわけ)	ベツラウ	詔(誚、おべつか)
ベツシ	別視(みさげる、さ)	ベツテイ	別邸(しもやしき)	ベツリ	別離(わかればなれ)
ベツシ	別紙(べつのかみ)	ベツツイ	寵(かまど)	ベツル	折(へぎとる)
ベツジ	別事(べつのこと)	ベツト	別途(用方のちがふ)	ベド	反吐(ふづくこと)
ベツシ	蔑視(さげしむ)	ベツト	別當(官の名)	ベニ	紅(色の名)
ベツシツ	別室(別のへや)	ベツド	別働(別にはたらく)	ベニ	臙脂(唇にぬる)

ベニサシ	紅差(指の、無名)	ヘル	綜(機(たて糸を)揃へ列ねる)	ベンエキ	便益(つがふよき)
ヘバリツク	粘着(ねばりつく)	ヘルウ	白露(國名)	ヘンカ	變化(かはり)
ヘビ	蛇(蟲の名)	ヘルギイ	白耳義(國名)	ヘンカ	返歌(かへしうた)
ヘベレケ	泥酔(よつばらひ)	ペルシヤ	波斯(國名)	ヘンカイ	邊海(あたりのうみ)
ヘボ	下手(普通以下)	ベルリン	伯林(どいつの都)	ベンカイ	辨解(いひわけ)
ヘヤ	部屋(家内にしきり)	ペン	洋筆(西洋の筆)	ヘンカイ	變改(あらためる)
ヘラ	篋(竹を細長く平)	ヘンアイ	偏愛(一方のみを愛)	ヘンカク	變格(不規則の格)
ヘラス	減(少くする)	ヘンイ	偏倚(かたよる)	ヘンカタ	變革(かへあらため)
ヘラズゲチ	不減口(悪口)	ヘンイ	變異(かはること)	ヘンガク	扁額(がく)
ヘリ	縁(ふち)	ヘンウン	片雲(きれぐのく)	ベンガク	勉(學問を勉める)
ヘリクダル	謙(己を卑下する)	ヘンエイ	片影(一片のかげ)	ヘンカン	變換(かへること)
ヘル	減(少くなる)	ヘンエキ	變易(うつりかはり)	ヘンカン	返簡(へんじ)

ヘンキ	騙欺(かたりあざむ)	ヘンゲン	片言(かたこと)	ペンサキ	洋筆(べんぢくの先)
ベンキ	便器(大小便をとる器)	ヘンコ	偏固(かたくな)	ペンサク	先(につけるもの)
ベンギ	便宜(たより、づが)	ヘンコ	變故(つねとかはつたこと)	ペンサツ	鞭策(むちうつ)
ヘンキ	番瀝青(塗料の名、油漆)	ヘンコー	變更(かへあらためる)	ヘンサン	返札(返書)
ヘンキヤク	返却(かへすこと)	ベンコー	辯口(しやべること)	ヘンシ	編纂(書冊をあつめあむこと)
ヘンキョー	邊境(くにぎかひ)	ヘンゴシ	辯護士(法廷でいひたすける人)	ヘンシ	變死(不時の災難で死ぬること)
ヘンキョー	偏境(かたあなか)	ヘンサイ	變災(わざはひ)	ヘンジ	片時(かたとき)
ベンキョー	勉強(ほねをり)	ヘンサイ	返濟(かへします)	ヘンジ	返事(うけこたへ)
ヘンクツ	偏屈(かたくな)	ヘンザイ	遍在(ひろく存在する)	ヘンシヤ	變事(かほつたこと)
ヘンケイ	變形(かほつたかたち)	ベンサイ	辯才(くちまへのうまいこと)	ヘンシヤ	編者(書物をあんだ人)
ベンケイ	辨慶(一編)	ベンサイ	辨濟(借金をかへすこと)	ベンシヤ	辯者(よくしやべる人)
ヘンケン	偏見(ひがんだ見識)	ベンザイテ	辨財天(七福神の一)	ヘンシヤク	扁鵲(支那の古の名醫の名)

ベンシユ	拊手(手をうつてよるこぶ)	ヘンシヨク	變色(いろがかはる)	ヘンセン	蹠躑(舞などでたちめぐること)
ヘンシユ	扁舟(小舟)	ヘンシン	偏身(半身)	ヘンゾー	變造(つくりかへること)
ヘンシユ	偏執(頑固、かたい)	ヘンシン	偏心(いちづに思ひこんだ心)	ヘンソク	變則(かほつたきそ)
ヘンシユ	編輯(編纂、書物をあむこと)	ヘンシン	遍身(全身)	ヘンダイ	篇題(表題)
ヘンシヨ	返書(返事のでがみ)	ヘンシン	返信(返事、へんじ)	ヘンタク	貶謫(官をさげて遠國にうつす)
ベンジヨ	傾所(かはや)	ヘンジン	變心(きのかはると)	ベンタク	鞭撻(むちうつこと)
ヘンシヨ	返照(入日のひかり)	ヘンジン	變人(かほりもの)	ヘンタン	偏袒(かたはだぬぎ)
ヘンシヨ	泛稱(ひろくさし)	ヘンスイ	邊陲(くにのはし)	ベンチ	鞭笞(むち)
ヘンシヨ	返章(返事の文章)	ヘンセイ	編制(くみたて)	ベンチ	便地(便利の土地)
ヘンシヨ	返上(かへすこと)	ヘンセイ	編成(あみなすこと)	ヘンチツ	篇帙(書物)
ベンシヨ	辨償(つぐなふこと)	ベンゼツ	辯舌(辯口、べんこ)	ヘンチツ	貶黜(官を退けおとすこと)
ヘンジヨ	變成(女が男に生れがはる)	ヘンセン	變遷(うつりかへり)	ヘンテコ	變挺(へんなこと、かほつたこと)

ペンテン	辨天(辨財天)	ヘンパイ	返杯(かへすさかづ)	ヘンペン	片片(きれく)
ペンデン	便殿(高貴の御休所)	ペンバク	辯駁(他の説をいひやぶること)	ペンベン	便便(でぶくぐ)
ヘンド	邊土(かたよつた土)	ペンパツ	辨髮(毛をあみさげたる髮)	ヘンペン	翩翩(鳥蝶などの舞ふさま)
ヘントー	籩豆(たかつきの類)	ヘンピ	邊鄙(あなか)	ヘンポー	邊防(國境のまもり)
ヘントー	扁桃(木の名)	ベンピ	便秘(大便秘の通ぜぬこと)	ヘンポー	返報(むくい)
ヘントー	返答(こたへ)	ベンブ	拊舞(手をうちてまふこと)	ヘンポン	翩翩(ひるがへるさま)
ヘンドー	變動(かはりうごく)	ヘンブク	囑蝠(かうもり)	ヘンム	片務(一方ばかりつとめること)
ベントー	辨當(行厨)	ヘンブク	邊幅(身のまはり)	ペンメイ	辨明(あかりをたてること)
ヘンニョー	編入(くみいれること)	ヘンブツ	變物(かはりもの)	ペンモー	辨妄(事のまちがひをいひひらく)
ペンネイ	便俵(くちまへのよ)	ペンヘイ	便嬖(人のきをとる)	ペンモー	便蒙(初學者にはやわかり)
ヘンノー	返納(かへしなさめ)	ヘンペキ	偏辭(かたいぢ)	ヘンモク	篇目(表題)
ヘンパ	偏頗(かたよること)	ペンベツ	辨別(わかまへわか)	ヘンヤク	變約(約束をかへる)

ヘンヨー	邊要(國境の要害)	ホ	帆(舟の)	ホーイ	胞衣(えな)
ヘンラン	變亂(いくさ)	ホ	穗(稻などのほ)	ホーイ	包圍(かこみつつむ)
ペンラン	便覽(便利に見られ)	ホ	朴(木の名)	ホーイ	方位(むき)
ペンリ	辨理(事務を取あつ)	ホ	鵬(おほとり)	ホーイ	抱圍(かへかこむ)
ペンリ	便利(つがふのよい)	ボ	帽(一子)	ホーイ	法衣(僧のころも)
ヘンレイ	返禮(おかへしのれ)	ボ	棒(細長いきざれ)	ホーイ	芳意(深切な志)
ペンレイ	勉勵(つとめはげむ)	ホ	苞(花のつぼみ)	ホーイ	暴威(あらあらしい)
ヘンレキ	遍歴(あまれくへめぐる)	ボ	防遏(ふせぎとめる)	ホーイツ	放逸(ほしいま)
ペンロ	便路(ちかみち)	ホ	頰當(めんぼほ)	ホーイン	法印(僧位の名)
ペンロン	辯論(いひあらしめ)	ホ	奉安(安置したてま)	ホーイン	暴飲(多く飲むこと)
		ホ	方案(たくらみ)	ホーウ	暴雨(ひどいあめ)
		ホ	法案(法律の下がき)	ホーエ	法衣(僧のころも)

『146』

ホーエ	法會(佛法のまつり)	ホーカ	烽火(のろし)	ホーカン	寶鑑(よいかがみ)
ホーエイ	泡影(氷のあわと物)	ホーカ	放歌(大聲でうたふ)	ホーカン	砲艦(軍艦の一種)
ポ—エキ	貿易(外國人との通)	ホーガ	萌芽(草木のめをふ)	ホーカン	抱關(もんげん)
ホ—エム	微笑(ほほゑむの)	ホーガ	奉加(神佛に寄進す)	ホーカン	法官(さいばんの)
ホ—エン	砲烟(大づゝのけむ)	ホーカイ	法界(一節)	ホーカン	奉還(かへしたて)
ポ—エンキヨ	望遠鏡(とほめ)	ホーカイ	崩潰(くづれること)	ホーカン	幫間(たいこもち)
ホ—オ	鳳凰(鳥の名)	ホーガイ	法外(理にはづれ)	ホーガン	芳翰(他人の手紙の)
ホ—オ	法皇(上皇の刺髪し)	ホーガイ	方外(論外、物外)	ホーガン	砲丸(大砲のたま)
ホ—オン	報恩(恩をかへすと)	ポ—ガイ	妨害(さまたげ)	ホーガン	包含(ふくむこと)
ポ—オク	茅屋(あばらや)	ホーガク	方角(むき)	ポ—カン	傍觀(そばでみる)
ホ—カ	法貨(法律上有効)	ホーカツ	包括(ひきこめる)	ホーガン	抱合(かかへふくむ)
ホ—カ	烽火(つけび)	ホーカブリ	頰被(ほほかぶりの)	ポ—カン	暴漢(あばれもの)

ポ—カン	防寒(さむさをふせ)	ホ—キボシ	帚星(彗星)	ホ—グ	反故(かきつぶし)
ポ—カン	坊間(まちなか)	ポ—キヤク	忘却(わすれる)	ポ—グイ	棒杭(土中にうち)
ホ—カン	寶冠(一草)	ポ—ギヤク	暴虐(ひどくいぢめ)	ポ—クン	暴君(亂暴なきみ)
ホ—キ	抛棄(なげすてる)	ポ—ギヤク	暴逆(手あらしきこと)	ポ—クン	傍訓(ふりがな)
ホ—キ	帚(ははきの音便)	ホ—キユ	俸給(給金)	ホ—クン	亡君(なききみ)
ホ—キ	法規(すべての法律)	ホ—ギヨ	崩御(天子の御かく)	ホ—ケイ	方計(ばかりごと)
ホ—キ	寶器(たからとなる)	ホ—ギヨ	防禦(ふせぐこと)	ホ—ケイ	奉迎(むかへたてま)
ホ—キ	芳紀(女のとしごころ)	ホ—ギヨ	鮑魚(ほしうな、ひ)	ポ—ケイ	傍系(系圖のわかれ)
ホ—キ	蜂起(むらがりおこ)	ホ—キヨ	暴舉(亂暴なふるま)	ホ—ケイ	謀計(ばかりごと)
ホ—キ	法義(法律のすぢ)	ホ—キヨ	封境(領地のさかひ)	ホ—ゲキ	砲擊(大砲でうつと)
ポ—キ	豎期(おいぼれたと)	ホ—キヨ	豐凶(作物のでき)	ホ—ケツ	鳳闕(皇居、天子の)
ポ—キ	謀議(はかりごとの)	ホ—ギヨク	寶玉(たからたま)	ホ—ケル	惚(きわけする、)

ホーケン	寶劍(たからのつる)	ホーコ	奉公(公に奉ずる)	ホーコク	邦國(くに)
ホーケン	奉獻(たてまつる)	ホーコ	方向(むき)	ホーコク	亡國(亡びたる國)
ホーケン	封建(大名が國々を支配すること)	ホーコ	芳香(かんばしい)	ホーコヒヨ	暴虎馮河(いのちしらすの行)
ホーケン	方言(くにことば)	ホーコ	彷徨(さまよふ)	ホーコン	方今(現今、ただい)
ホーゲン	放言(いひばなつ)	ホーコ	放曠(やりばなし)	ホーコン	亡魂(幽霊、なきた)
ホーゲン	法眼(僧位の一)	ホーコ	法號(かいみやう)	ホーサ	礪砂(鑽物の名)
ホーケン	冒険(危険を冒してしごとをする)	ホーゴ	抱合(だきあふ)	ホーザイ	報賽(御禮まゐり)
ホーケン	望見(ながめること)	ホーゴ	膀胱(小便ぶくろ)	ホーザイ	方劑(藥の調合)
ホーゲン	妄言(みだりなこと)	ホーコ	暴行(あらかま)	ホーザイ	亡妻(なきつま)
ボンゲン	暴言(らんぼうのこと)	ホーコ	報告(しらせ)	ホーザク	防材(港口に設ける防禦物の名)
ホーゴ	亡語(ひとりごと)	ホーコク	報國(國にむくい)	ホーザク	方策(方畧、けいり)
ホーコ	砲工(砲兵と工兵)	ホーコク		ホーサク	豊作(五ここのよい)

ホーサツ	芳札(手紙の敬稱)	ホージ	捧持(さげもつと)	ホーシヤ	報謝(むくい)
ホーサツ	榜札(たてふだ)	ホージ	寶璽(天皇の御印)	ホーシヤ	砲車(大砲の車)
ホーサツ	謀殺(ばかりころす)	ホーシ	帽子(かぶりもの)	ホーシヤ	茅舎(かやぶきのい)
ホーザト	棒砂糖(砂糖の一種)	ホーシ	榜示(けいじふだ)	ホーシヤ	坊舎(僧のすむとこ)
ホーサン	放散(放ちちらす)	ホーシ	眸子(目のひとみ)	ホーシヤ	傍若(かたてきま)
ホーサン	硼酸(藥の名)	ホーシ	茅茨(ちがや)	ホーシユ	無人(なすること)
ホーサン	寶算(高貴の御とし)	ホージ	法事(佛事)	ホーシユ	法主(一宗の長)
ホーシ	放恣(ほしいまま)	ホージ	房事(交合)	ホーシユ	寶珠(たからのたま)
ホーシ	奉仕(つかへまつる)	ホーシキ	法式(きまりの式)	ホーシユ	防守(ふせきまもる)
ホーシ	法師(僧のこと)	ホージコク	法治國(法律により治めるくに)	ホーシユ	報酬(おれい)
ホーシ	芳志(厚意、芳情、おこころざし)	ホージマ	棒縞(たてじま)	ホーシユク	房州(安房のくに)
ホーシ	放肆(きまゝなる)	ホーシヤ	礪砂(藥品の名)	ホージュツ	豊熟(ゆたかにじゆ)

ホーシユン 芳春(花ざかりのほ)
 ホーシヨ 芳書(他人の手紙の敬稱)
 ホーシヨ 奉書(かみの名)
 ホーシヨ 苞苴(まひなひ)
 ホーシヨ 幫助(たすける)
 ホーシヨ 褒賞(こはうび)
 ホーシヨ 芳情(おなげ、しんせつ)
 ホーシヨ 褒状(ほめたかき)
 ホーシヨ 法帖(すり本)
 ホーシヨ 豊饒(土地こえて物)
 ホーシヨ 豊穰(五穀よくみ)
 ホーシヨ 放生(生物をながす)

ホーシヨ 法條(法律の條文)
 ホーシヨ 方丈(寺の主のへや)
 ホーシヨ 帽章(帽のしるし)
 ホーシヨ 亡狀(亂暴なおこ)
 ホーシヨ 奉職(官につくこと)
 ホーシヨ 飽食(くひあくこと)
 ホーシヨ 望蜀(一つかなへて)
 ホーシヨ 暴食(無茶ぐひ)
 ホーシヨ 頰白(小鳥の名)
 ホーシヨ 放心(精神のちらば)
 ホーシヨ 方針(方向、主義)
 ホーシヨ 法身(佛の本體)

ホーシン 芳心(なげ、しん)
 ホーシン 芳信(花のさいたし)
 ホーシン 法人(市、會社など)
 ホーシン 邦人(わがくにびと)
 ホーシン 傍人(そばのひと)
 ホーシン 暴人(亂暴な人)
 ホーズ 焙(あぶる)
 ホーズ 坊主(僧)
 ホーズ 紡錘(糸をとるに)
 ホーズ 頰杖(うでで顔を)
 ホーズ 酸漿(草の名)

ホーズフデ 坊主筆(ほさきの切)
 ホースン 方寸(一寸四方、又)
 ホーセイ 暴政(亂暴な政治)
 ホーセイ 邦制(くにのきまり)
 ホーセイ 方正(正しいこと)
 ホーセイ 法制(おきて)
 ホーセイ 砲聲(大砲のおと)
 ホーセキ 寶石(貴き石)
 ホーセキ 紡績(絲をつむぐと)
 ホーセツ 妄説(あやまつた論)
 ホーゼン 保全(安全にたもつ)

ホーセン 防戦(ふせきたいか)
 ホーセンカ 鳳仙花(草花の名)
 ホーゼン 茫然(ぼんやり)
 ホーソ 寶祚(天子のみくら)
 ホーソ 苞苴(りもの、おく)
 ホーソ 疱瘡(病の名)
 ホーソ 奉送(天皇をおくり)
 ホーソ 包装(つつみよそ)
 ホーソ 包藏(つつみかくす)
 ホーゾ 寶藏(たからぐら)
 ホーゾ 法則(法規、きそく)
 ホーソク 滂沱(雨の盛にふる)

ホータイ 奉戴(いたゞきたて)
 ホータイ 縋帶(傷口をつむ)
 ホーダイ 砲臺(たいば)
 ホーダイ 彪大(ばかに大いな)
 ホーダイ 放題(思ひのままに)
 ホーダイ 棒鱈(食物の名)
 ホーダイ 寶丹(藥の名)
 ホーダン 法談(佛道の説教)
 ホーチ 妄誕(そらごと)
 ホーチ 報知(しらせ)
 ホーチク 放逐(おひらふと)
 ホーチュ 庖厨(くりや)

ホーチー	庖丁(料理する刃物)	ホード	法度(おきて)	ホードク	捧讀(さいげよむ)
ホーチョ	傍聴(そばできく)	ボート	暴徒(あばれもの)	ホーニョ	豊饒(肥えてよくみゆる)
ホーチョ	暴漲(俄にみなぎる)	ホード	封土(諸の侯領地)	ホーニン	放任(うちやりおく)
ホーチョ	膨脹(ふくれる)	ホート	朋黨(なから)	ホーネン	放念(氣にかけぬ)
ホーチョク	奉勅(みことのり)	ホート	放蕩(身のおさま)	ホーネン	豊年(實のりのよい)
ホーテイ	法定(一相續人)	ホート	奉答(こたへたて)	ホーノ	奉納(神佛にさ)
ホーテイ	捧呈(さげること)	ボート	冒頭(文のかきは)	ホーハイ	澎湃(水のみなぎ)
ホーテイ	法廷(裁判の席)	ホート	砲塔(軍艦の一部)	ホーバイ	朋輩(友達、なから)
ホーテイ	鵬程(とほいふなち)	ホート	報答(むくいる)	ホーハツ	蓬髮(ふりみだした)
ホーテイ	方程(一式)	ホード	報道(報知、しら)	ホーハツ	砲發(大砲をばなつ)
ホーテキ	放擲(なげうつこと)	ホート	寶塔(たからの塔)	ホーハツ	暴發(急におこる)
ホート	短艇(輕舸、こぶね)	ボード	暴動(あれまはると)	ホーハン	誅判(にせいん)

ホーヒ	放屁(へをひること)	ホーブツ	方物(地方特殊の産物)	ボーパー	茫々(ひるびる)
ホービ	褒美(ほめること)	ボーフラ	棒振(ぼうふり、虫)	ボーパー	箭々(たち)
ホーフ	抱負(もちまへ、器量)	ホーブン	法文(法律の文)	ホーボク	芳墨(香のよいすみ)
ホーフ	豊富(ゆたかにとむ)	ホーヘイ	奉幣(つる)	ホーボネ	額骨(くわんこつ)
ホーフ	防廢(くさりをとめ)	ホーヘイ	砲兵(兵種の一)	ホーマツ	泡沫(あわ)
ホーフ	暴富(にほかにとむ)	ホーベニ	頬紅(頬にぬるべに)	ホームル	葬(死骸を土中にうづめる)
ホーフ	亡父(なき父)	ホーヘン	褒貶(ほめるとそし)	ホーメイ	奉命(つしんで命にしたがふ)
ホーフウ	防風(風をふせぐ)	ホーベン	方便(かりの手段)	ホーメイ	芳名(人の氏名の尊稱)
ホーフウ	暴風(あらいかせ)	ボーパー	亡母(なきはは)	ホーメイシ	保命酒(一種の酒)
ホーフク	抱腹(はらなか)	ホーパー	這々(辛うじて)	ホーメン	方面(その方にあた)
ホーフツ	彷彿(よくなる、た)	ホーパー	方法(しかた)	ホーメン	放免(ゆるしはなつ)
	髣髴(よくなる、た)	ホーパー	魴鱒(魚の名)	ホーモ	法網(法律のあみ)

ホーモツ	寶物(たからもの)	ホーライ	蓬萊(一山)	ボール	厚紙(あつがみ)
ホーモツ	捧物(ささげもの)	ボークライ	暴雷(ひどいかみな)	ホールイ	法類(同宗旨の僧)
ホーモン	訪問(人をとひたつ)	ホークラク	法樂(佛法のおんが)	ホーレイ	法令(法律や命令)
ホーモン	砲門(大砲のつつぐ)	ホーラツ	放埒(身持あしきと)	ボークレイ	暴戻(亂放なこと)
ホーモン	法文(のりのふみ)	ホーラン	峰巒(みね)	ボークレイ	亡靈(なきたま)
ホーユ	鳳紋(一賞)	ホーリ	方里(一里四方)	ホーレン	鳳輦(天子の御車)
ホーヨ	朋友(友だち)	ホーリ	法理(法律の原理)	ホーロー	放浪(さまよふ)
ホーヨ	鳳輿(天皇のおくる)	ホーリ	鳳梨(あななす)	ボークロー	望樓(ものみの高)
ホーヨ	保養(養生)	ホーリツ	法律(法令)	ホークロク	俸祿(ふち、ちぎや)
ホーヨ	法用(佛法上の用向)	ホーリヤク	方略(はかりごと)	ホークロク	焙烙(素焼の土鍋)
ホーヨ	奉養(親につかへ)	ボークリヤク	謀畧(はかりごと)	ホークワ	法話(宗教上のはな)
ホーヨ	洋(ひろびろと)	ボークル	鞠(球、まり)	ホークワ	飽和(十分にける)

ホアン	保安(安全をたもつ)	ホガラカ	朗(はれ、しい)	ボクシヤ	卜者(うらなひする)
ホイ	補遺(漏れを補ふ)	ボキ	簿記(帖面付け)	ボクジョー	墨帖(石すりの手本)
ホイ	布衣(いやしき身分)	ボギ	母儀(ははぎみ)	ボクジョー	牧場(まきば)
ホイ	本意(まことのこと)	ホグ	反古(紙書きがしの)	ホクシン	北辰(北極星)
ホイロ	焙爐(物を乾かす具)	ボク	僕(しもべ、自分)	ホグス	解(ほどく)
ボイン	拇印(つめいん)	ホクイ	北緯(一何度)	ボクス	卜(うらなふ)
ボイン	母音(あいうえおの)	ホクエツ	北越(越前越中越後)	ボクゼイ	卜筮(うらなひ)
ホエル	吼(吠、咆、哮)	ボクガ	墨畫(すみゑ)	ボクセキ	木石(きやいし)
ホカ	外(よそ)	ボクギョー	牧牛(かひうし)	ボクセキ	墨蹟(かいた筆のあ)
ホカク	捕獲(とらへること)	ボクグウ	木偶(でく、人形)	ボクソ	牧草(牛馬の食ふ)
ホカク	補角(合して平角と)	ボクサツ	撲殺(ぶちころす)	ホクソズキ	北叟頭巾(頭巾の一)
ボカシ	暈(染方の名)	ボクシ	牧師(傳道者)	ボクタク	木鐸(木の舌のすず)

ホクチ	火口 <small>(燃火をうつし)</small>	ボクド	僕僮 <small>(下男、こぞう)</small>	ホクメン	北面 <small>(きたむき、一)</small>
ボクチ	墨池 <small>(すみつぼ)</small>	ボクトツ	木訥 <small>(ぶこつ)</small>	ボクリ	木履 <small>(げたの一種)</small>
ボクチク	牧畜 <small>(畜類を養ふ)</small>	ボクバ	木馬 <small>(きでこさへた)</small>	ホクリク	北陸 <small>(一ノ道)</small>
ホクチヨ	北朝 <small>(南朝に對して)</small>	ボクハ	牧馬 <small>(牧場にある)</small>	ボクレイ	僕隸 <small>(しもべ)</small>
ボクチヨク	機直 <small>(しやうちき)</small>	ボクハイ	木牌 <small>(木のふだ)</small>	ホゲレル	解 <small>(ほどける)</small>
ボクテキ	牧笛 <small>(牧童がふく)</small>	ボクヒ	僕婢 <small>(男女のめし)</small>	ホクロ	黒子 <small>(はだの上の黒)</small>
ホクテキ	北狄 <small>(きたのえびす)</small>	ボクヒツ	木筆 <small>(鉛筆)</small>	ボクン	謨訓 <small>(をしへ)</small>
ホクト	北斗 <small>(星の名)</small>	ホクヒヨ	北氷洋 <small>(北極のう)</small>	ボケ	木瓜 <small>(木の名)</small>
ボグト	墨斗 <small>(やたて、すみ)</small>	ホクフウ	北風 <small>(きたかぜ)</small>	ボケ	惚 <small>(ぼんやり)</small>
ホクド	北堂 <small>(母の尊稱)</small>	ホクボ	北邙 <small>(やきば、火葬)</small>	ホゲイセン	捕鯨船 <small>(くぢらをと)</small>
ボクト	木刀 <small>(木のかたな)</small>	ボクミシ	牧民 <small>(民をさめる)</small>	ホゲタ	帆桁 <small>(帆をはるけた)</small>
ボド	牧童 <small>(牛かひのこと)</small>	ボクメツ	撲滅 <small>(うちたやす)</small>	ホケツ	補缺 <small>(かけたるをお)</small>

ボケル	惚 <small>(ぼんやりする)</small>	ボサン	墓參 <small>(はかまゐり)</small>	ホシモノ	乾物 <small>(日にかわす)</small>
ホケン	保險 <small>(損亡を豫め請)</small>	ホシ	星 <small>(天にかいやく)</small>	ホシヤク	保釋 <small>(未決罪人に歸)</small>
ホゴ	保護 <small>(たすけまもる)</small>	ホシ	欲 <small>(願はし、ほしい)</small>	ホシユ	保守 <small>(古きを守る)</small>
ホコ	矛 <small>(戈、鋒)</small>	ボシ	拇指 <small>(おやゆび)</small>	ホシユ	補修 <small>(つくるふこと)</small>
ホコ	歩行 <small>(あるき)</small>	ボシ	母子 <small>(ははと子、元)</small>	ホシヨ	補助 <small>(たすけること)</small>
ホコラ	祠 <small>(おやしる)</small>	ボシ	墓誌 <small>(はかじろし)</small>	ホシユ	補習 <small>(おぎなひ習ふ)</small>
ホコリ	埃 <small>(こまかい塵)</small>	ホシイ	糲 <small>(かわかしため)</small>	ホジユ	補充 <small>(おぎなひみ)</small>
ホコリ	矜 <small>(誇、伐)</small>	ホシイママ	擅 <small>(恣、縦、放、肆)</small>	ボシユ	募集 <small>(つものりあつめ)</small>
ホコロブ	縦 <small>(とげほぐる)</small>	ホジクル	穿 <small>(ほる、さがし)</small>	ボシヨ	簿書 <small>(かきつけやち)</small>
ホサ	輔佐 <small>(たすけること)</small>	ホジシ	脯 <small>(日にほした肉)</small>	ボシヨ	墓所 <small>(はかしよ)</small>
ホサキ	穂先 <small>(穂のさき、刃)</small>	ホジソケン	保持訴權 <small>(め又賠償)</small>	ホシヨ	保證 <small>(うけあひ)</small>
ボサツ	菩薩 <small>(佛の次の位、道心かたき僧)</small>		利を得る權	ホシヨ	歩哨 <small>(ばんべい)</small>

ホス	干(乾)	ホタ	榑(薪にする木の端)	ポチポチ	點點(……)
ホズエ	上枝(うはえだ)	ホダ	捕拿(からめとると)	ホチユ	補註(在來の註を)
ポスト	柱函(いうびんいれ)	ボダイ	菩提(佛の道)	ホチヨ	步調(足なみ)
ホゾ	臍(腹の中ほどにあたるくぼみ)	ホダサレル	被裨(つなきつけら)	ホツイ	發意(思ひたち)
ホゾ	帯(木の實などのついたうてな、へた)	ホダス	裨(つなき止める)	ホツガ	發駕(貴人の御出發)
ホソク	捕捉(とらへること)	ホタテガイ	帆立貝(貝の名)	ホツカイ	北海(きたのうみ)
ホソク	補足(おきなひたす)	ボタモチ	牡丹餅(あんななどをつけたもち)	ボツカク	墨客(詩人や書家)
ホソシ	細(せまくながい)	ホタル	螢(蟲の名)	ホツガン	發願(神佛にねがひをたてる)
ホソビキ	細引(あさなは)	ホダワラ	穗俵(海藻の名)	ホツキ	發起(おもひたつと)
ホソメ	細目(少し目をあけ)	ボタン	釧(洋服などの)	ホツギ	發議(評議をもち出)
ホゾン	保存(たもちおくも)	ボタン	牡丹(草の名)	ボッキ	勃起(おこりたつと)
		ボチ	墓地(はかち)	ポッキョ	卜居(すまひをきめ)

ホッキョー	法橋(僧位の名)	ホッサ	發作(おこりたつ)	ホットー	發頭(事をくはだて)
ポッキョー	木強(ぶこつ)	ボツジカン	沒字漢(あきめくら)	ポットデ	憫出(一の女中)
ホッキョク	北極(地球のきたの極はて)	ボツシユ	沒收(官にとり上げること)	ボツニユ	没入(めりこむ、とりあげる)
ホック	發句(俳句)	ホツシン	發心(佛の道に入る)	ホツネツ	發熱(熱がでること)
ポックリ	木履(げた)	ホツス	欲(思ふ)	ホツペタ	頰邊(ほほ)
ホッケ	法華(佛教の一派)	ホツス	拂子(佛具の名)	ボツメツ	沒滅(ほろびてなく)
ポッケン	木劍(木製のつるぎ)	ホツス	法嗣(佛家のよつぎ)	ボツラク	沒落(ほろびること)
ホツゴ	發語(かたりだす)	ホツソー	法相(一宗)	ホツレ	紕(とけほぐれる)
ポツゴ	没後(しんだあと)	ホツタン	發端(はじめ)	ホテイ	布袋(七福神の一)
ポッコー	勃興(さかんにあがる)	ボツチャリ	豐麗(こえてうるは)	ホド	程(る、をり、あ)
ホッコク	北國(きたのくに)	ボツテキ	沒溺(しづみおぼれ)	ボドー	母堂(ははの尊稱)
ホツゴン	發言(いひだす)	ポット	惘然(ぼんやり)	ホドアイ	程合(ころあひ、ほどあひ)

ホドク	解 (とく)	ホネオシミ	骨惜 (しほみ) (懶惰、働くを怠る)	ホフク	匍匐 (はらばひ)
ホトケ	佛 (佛教の神)	ホネオリ	骨折 (力を盡すこと)	ホフル	屠 (きり殺す)
ホドコス	施 (あまれくしく物をやる)	ホネガラミ	骨纏 (やまひの名)	ホヘイ	歩兵 (兵種の名)
ホトトギス	時鳥 (杜宇、子規、杜鵑)	ホネヌキ	骨抜 (魚のほれをぬきとること)	ホボ	略 (粗、あらし)
ホトバシル	迷 (とびはしる)	ホノオ	炎 (火さき、焔)	ホボ	保姆 (母のかはり、幼稚園の先生)
ホトブ	潤 (ふやける、ぬれふくれる)	ホノカ	仄 (側、かすか、すく)	ホメク	熱 (ほとぼる)
ホトボリ	熱 (あたゝかみ)	ホバク	捕縛 (とらへしげる)	ホメル	譽 (褒、ほむ)
ホトリ	邊 (頭、上、きんべん)	ホバシラ	帆柱 (帆を巻き上げる柱)	ホメン	逋免 (にげのがれる)
ホトンド	殆 (幾、たいてい、すんでのときに)	ホヒ	墓碑 (はかのたて石)	ホヤ	老海鼠 (動物の名)
ホニユ	哺乳 (ちちでそだてる、動物)	ホヒツ	補弼 (そばより助けること)	ホヤ	火屋 (らんぶのほや)
ホニン	補任 (官職に任じる)	ホヒョ	墓表 (はかじるし)	ボヤ	幕夜 (よる)
		ボヒョ	墓標 (はかじるし)	ボヤ	小火 (小さい火事)

ホユ	吼 (咆哮、ほえる)	ホル	彫 (きざむ、彫刻)	ホンアジ	翻案 (文などのつく)
ホヨ	保養 (やうじやう)	ホル	堀 (鑿、あなあけ)	ホニイ	本意 (もとよりの意)
ホヨク	補翼 (おぎなひたす)	ホルトガル	葡萄酒 (國の名)	ホニイ	本位 (もとにする)
ホラ	法螺 (貝の名、大そ)	ホルモサ	臺灣 (たいわん)	ホニイン	本員 (議員自らの稱)
ホラ	洞 (うつろの岩あな)	ホレル	恍惚 (戀慕)	ホニイン	本院 (院などからいふ)
ボラ	鮠 (魚の名)	ホレコム	惚込 (心まどふ)	ホニインボ	本因坊 (圍碁のいへ)
ホリ	堀 (渠、壕、塹)	ホロ	幌 (母衣)	ボンウ	盆雨 (おほあめ)
ホリヌキ	堀抜 (ほりぬき井戸)	ボロ	襤褸 (ふるき布きれ)	ホンエイ	本營 (ほんぢん)
ホリモノ	彫物 (彫刻)	ホロエイ	微醉 (びすゐ、ほろ)	ボンオドリ	盆踊 (盆に行ふた)
ホリユ	蒲柳 (からだのよわいこと)	ホロブ	亡 (滅)	ホンカ	本歌 (和歌のこと、狂歌に對して)
ホリヨ	捕虜 (とりこ)	ホロホロチヨ	珠鷄 (鳥の名)	ホンカイ	本懷 (まことのおもひ)
ホリワリ	掘割 (運河)	ホロヨイ	微醉 (少しよふこと)		

ホンカン	本官 <small>(くわん)</small> (官吏の自稱)	ホンコク	翻刻 <small>(へす)</small> (版本を少し違へず再出版すること)	ホンシヨ	本署 <small>(しやう)</small> (主なる役所)
ホンキ	本氣 <small>(ほんき)</small> (本心)	ホンゴク	本國 <small>(ほんこく)</small> (わが生國)	ホンシヨ	本性 <small>(ほんしん)</small> (本心)
ホンギ	本紀 <small>(ほんき)</small> (帝王の事を記した歴史)	ボンコツ	拳固 <small>(けんこつ)</small> (げんこつ)	ボンシヨ	本省 <small>(ほんしやう)</small> (主なる官省)
ホンギ	本義 <small>(ほんぎ)</small> (まことの意味)	ホンサイ	本妻 <small>(ほんさい)</small> (正しい妻)	ボンシヨ	梵鐘 <small>(ぼんしやう)</small> (てらのつき)
ホンキン	本金 <small>(ほんぎん)</small> (純金)	ボンサイ	梵妻 <small>(ぼんさい)</small> (僧の妻、だいに)	ホンシヨク	本色 <small>(ほんしき)</small> (もちまへ)
ボンケレ	盆暮 <small>(ぼんぼ)</small> (盆と年のくれ)	ボンサイ	盆栽 <small>(ぼんさい)</small> (はちうゑの草)	ホンシヨク	本職 <small>(ほんしやく)</small> (おもな職、内職に對す、本官)
ホンケ	本家 <small>(ほんけ)</small> (もとのいへ、家もと、宗家)	ホンザン	本山 <small>(ほんざん)</small> (一宗の長たるてら)	ホンシン	本心 <small>(ほんしん)</small> (本來のこころ)
ホンケ	本卦 <small>(ほんけ)</small> (六十一歳還暦)	ボンジ	梵字 <small>(ぼんじ)</small> (天竺の文字)	ホンジン	本陣 <small>(ほんじん)</small> (大将のぢんや)
ホンゲツ	本月 <small>(ほんげつ)</small> (このつき)	ホンシキ	本式 <small>(ほんしき)</small> (正式)	ボンジン	凡人 <small>(ぼんじん)</small> (なみのひと)
ホンゲン	本源 <small>(ほんげん)</small> (みなもと)	ホンジツ	本日 <small>(ほんじつ)</small> (今日、けふ)	ホンセキ	本籍 <small>(ほんせき)</small> (原籍、戸籍の地)
ホンケンソ	本權 <small>(ほんけん)</small> (權利を基とし、訴權張すること)	ホンシヤ	本社 <small>(ほんしや)</small> (本家の神社、會社新聞社の主社)	ボンセキ	盆石 <small>(ぼんせき)</small> (盆景)

ホンゼン	本然 <small>(ほんぜん)</small> (うまれつき、天然)	ホンダワラ	穗俵 <small>(ほたわら)</small> (海藻の名)	ホンド	本堂 <small>(ほんだう)</small> (寺の本尊を置く堂)
ホンゼン	本膳 <small>(ほんぜん)</small> (本式の膳部)	ホンチ	奔馳 <small>(ほんち)</small> (かけはしる)	ホンド	本道 <small>(ほんだう)</small> (おものみち)
ホンソ	奔走 <small>(ほんそう)</small> (はしりまはる)	ホンチ	本地 <small>(ほんち)</small> (本土、ほんご)	ホンニン	本人 <small>(ほんにん)</small> (當人、その實人)
ホンゾ	本草 <small>(ほんそう)</small> (植物學)	ボンチエ	ほんち繪 <small>(ほんちゑ)</small> (おどけて世をち繪、諷した畫)	ホンネン	本年 <small>(ほんねん)</small> (ことし)
ボンゾク	凡俗 <small>(ぼんぞく)</small> (世間なみ)	ホンチヨ	本朝 <small>(ほんてう)</small> (我朝、わがくに)	ホンノ	本能 <small>(ほんのう)</small> (うまれながらの才能、直覺)
ホンゾン	本尊 <small>(ほんぞん)</small> (主とする佛像)	ホンテイ	本邸 <small>(ほんてい)</small> (主なやしき、別邸に對し)	ボンノ	煩惱 <small>(ぼんなん)</small> (情慾のまよひ)
ホンタイ	本體 <small>(ほんたい)</small> (もとよりの形)	ホンテン	本店 <small>(ほんてん)</small> (せ、支店に對し、この店)	ホンバ	本場 <small>(ほんば)</small> (其品物の原産地)
ホンタイ	本體 <small>(ほんたい)</small> (まことの姿)	ボンテン	梵天 <small>(ぼんてん)</small> (印度の神の名)	ホンブ	本府 <small>(ほんぷ)</small> (當府)
ホンダイ	本臺 <small>(ほんだい)</small> (けんたい、見臺)	ホンド	本土 <small>(ほんど)</small> (本國、おもな)	ボンブ	凡夫 <small>(ぼんぷ)</small> (凡人、さとらぬ人)
ホンタク	本宅 <small>(ほんたく)</small> (まことのいへ)	ポンド	磅 <small>(ぼん)</small> (西洋の目方の名、名又貨幣を數へる語)	ホンブク	本腹 <small>(ほんぶく)</small> (本妻の腹に生れること)
ホンダチ	本裁 <small>(ほんだち)</small> (おとなの衣服、中裁に對し)	ホント	本常 <small>(ほんたう)</small> (眞正、まこと)	ホンブク	本復 <small>(ほんぶく)</small> (病のぜんくわ)

ホンポ	本邦(わがくに)	ホンモン	本門(正門)	マイ	間
ボンボリ	雪洞(手燭臺の一種)	ホンヤ	本屋(おもや、書店)	マ	間
ボンマエ	盆前(盆にまぢかい)	ホンヤク	翻譯(外國文を我文になほすこと)	マ	間
ボンマツ	本末(もと、すえ、終始)	ボンヤリ	朦朧(漠然、惘然)	マ	間
ホンマル	本丸(ねじろ)	ボンヨ	凡庸(世間なみ)	マイ	舞
ホンミヨ	本命(自分の生れ)	ホンライ	本来(もとより)	マイ	舞
ホンミヨ	本命(た年のえと)	ホンリユ	奔流(はしりながれ)	マイ	舞
ホンミヨ	本名(實の名)	ホンリユ	奔流(る)	マイ	舞
ホンム	本務(主なるつとめ)	ホンリユ	本流(もとのながれ)	マイ	舞
ホンメイ	本命(かけまはると)	ボンリヨ	凡慮(凡人のかへが)	マイ	舞
ホンモ	本望(本懐、元から)	ホンリヨ	本領(もちまへ)	マイ	舞
ホンモノ	本物の(にせならぬも)	ホンロ	翻弄(人をなぶりも)	マイ	舞
ホンモン	本文(附録注解に對し主文をいふ)			マイ	舞

『ま』

マイス	賣僧(僧を罵りていふ語)	マイボツ	埋没(うづもれて見えぬこと)	マガエ	紛(摸擬)
マイズル	舞鶴(一軍港)	マイマイ	每每(いつもいつも)	マガオ	眞顔(眞面目)
マイソ	味爽(よのあけがた)	マイヤ	毎夜(マイパンに同)	マガキ	雛(かきね)
マイソ	埋葬(死人をうづめ)	マイラス	進(たてまつる)	マガゴト	禍事(わざはひ、わるいこと)
マイチド	今一(いまいちど)	マイル	參(行くの敬語)	マカス	委(任)
マイチヨ	度(も一つべん)	マイル	哩(英里、我十四町餘にあたる)	マカズ	負(まけるやうにする)
マイド	毎朝(まいあさ)	マエ	前(おもて、むい)	マカゼ	間敷(へやのかず)
マイナイ	毎度(いつも、たび)	マヘオキ	前置(まへことば、冒頭)	マガタマ	寛風(一戀風)
マイニチ	賄賂(そでのした)	マエダレ	前垂(ひざかけの布)	マカナイ	曲玉(飾玉の名)
マイネン	毎日(にちにち、ひ)	マエヤク	前厄(やくどしの前)	マカル	賄(こしらへだす)
マイパン	毎年(まいとし)	マカイ	前厄(の年)	マカル	罷(退出すること)
マイバン	毎晩(よごと、よな)	マガウ	窺界(まのすむ)	マガル	曲(ゆがみたわむ)
マイフク	埋伏(うづもれたやうにかくれる)		紛(みだれる)		

マキ	眞木(木の名)	マキタバコ	巻烟(たばこを細長く巻きたる物)	マクラ	枕(頭をのせて寝る具)
マキ	巻(巻物の略、一のもの)	マキバ	牧場(牛馬を飼ふ場所)	マクラガリ	眞暗(十分に暗いと、まつくら)
マキ	牧(牛馬をかふ處)	マキモノ	巻物(巻軸)	マクル	捲(まきあげる)
マキ	楨(木の名)	マキラワシ	紛(まぎはれること)	マクレザイ	僥倖(げうかう)
マキ	薪(たき)	マギワ	眞際(まごとのきは)	マグレル	紛(まぎれる)
マキアミ	旋網(網の一種)	マク	膜(うすかば)	マクロ	眞黒(全體黒いと、まつくろ)
マキエ	蒔繪(漆の上に金銀でゑがいた物)	マク	幕(引まはしてしきりにする布)	マグロ	鮪(魚の名)
マキガミ	巻紙(半切紙をたつ合せたもの)	マク	蒔(種を、播)	マグワ	馬杷(農具の名)
マキガリ	巻狩(四方をとり巻てかりをする)	マク	撒(水を)	マクワ	眞桑(瓜の一種)
マキゾエ	巻添(他の爲に自分も罪に陥る)	マク	卷(簾を)	マゲ	鬻(髪のがね)
マキタ	眞北(正北)	マクサ	秣(馬をかふ枯草)	マケオシミ	眞惜(けねといふこと)
		マグチ	間口(地所や家の正面の横はげ)	マケル	眞(まく)

マゴ	孫(子の子)	マサシ	正(ただし、まこと)	マシヨ	魔障(あくまの類)
マゴ	馬子(馬かた)	マサツ	摩擦(こすること)	マシラ	猿(さる)
マゴコロ	眞心(まごころの心)	マサニ	正(當、將、方)	マジリ	毗(まなじり)
マゴツク	惑(まどふ、うる)	マサル	眞猿(動物の名さる)	マジル	交(雜、錯、いりこむ、こんする)
マゴト	眞(誠、實、いつはらぬこと)	マサル	優(勝、すぐれる)	マジロク	暄(またたく、瞬)
マゴビキ	孫引(人の引物を其まひくこと)	マザル	雜(交、まじる)	マジロシ	眞白(こくしろい)
マコモ	眞菰(水草の名)	マジエル	交(まじふ、まじはらせる)	マジワリ	交(つきあひ)
マサカリ	眞盛(まつさかり)	マシテ	況(矧)	マシシ	麻疹(はしか)
マサカリ	鍼(をの)	マジナイ	呪(禁厭)	マス	坐(人の動作にそへ敬意を示す語)
マサキ	眞辟葛(蔓草の名)	マシマス	御座(ますを更に敬ふ語)	マス	鯉(魚の名)
マサキ	正木(木の名)	マジメ	眞面目(本氣のこと)	マス	枿(物のかさを計る具)
マサゴ	眞砂(こまかき砂)	マジユツ	魔術(ふしぎなじゆ)	マス	増(ふやす)

マズ	先 <small>まづ</small> (さきに)	マタイトコ	三從 <small>今はいとこの兄弟</small> (子同志でいふ)	マチアイ	待合 <small>待ちあはすこ</small> (と又其所)
マスイ	癡醉 <small>えなくなるを</small> (たなしく、曲)	マタウツシ	轉寫 <small>寫したものを更にうつす</small> (借りたるもの)	マチガイ	間違 <small>ちがひ</small> (ちがひ)
マスグニ	眞直 <small>くらしむきの</small> (物足らぬこと)	マタガシ	轉貸 <small>を更にかす</small> (二方にわたる)	マチドオシ	待遠 <small>どほし</small> (まつほど久し)
マズシ	不味 <small>まづし</small> (うまくなし)	マタガル	跨 <small>(マタに同じ)</small>	マチマチ	區々 <small>さまざま</small>
マスト	櫓 <small>(ほばしら)</small>	マタゲル	跨 <small>(またぐ)</small>	マツ	待 <small>(俟、俟)</small>
マスマス	益益 <small>(いよいよ)</small>	マタゲル	瞬 <small>(またぐ)</small>	マツカ	眞赤 <small>(ごくあかいと)</small>
マズモツテ	先以 <small>まづ</small> (まづ一番に、手紙の語)	マタタク	瞬 <small>目ばたきをなす</small> (枝のさきがまたであるもの)	マツカゼ	松風 <small>(まつふくかぜ)</small>
マストラオ	丈夫 <small>ますらを</small> (増荒男)	マダブリ	斑 <small>(ぶち)</small>	マツケラ	眞暗 <small>(マクラガリに同じ)</small>
マタ	又 <small>(本が一人で末二に分れた處)</small>	マダラ	町 <small>(商家の軒を並べる地)</small>	マツクロ	眞黒 <small>(マクロに同じ)</small>
マタ	勝 <small>(足と足との間)</small>	マチ	襜 <small>(衣服のまち)</small>	マツゲ	睫 <small>(目ぶちの毛)</small>
マタ	又 <small>(亦、復、還)</small>	マチ		マツゴ	末期 <small>(死にぎは)</small>
		マツコ		マツコ	抹香 <small>かろ</small> (香の名)

マツコー	眞向 <small>まむき</small> (まむき)	マツセ	末世 <small>(すゑのよ)</small>	マツムシ	松虫 <small>(山の名)</small>
マツコークジ	抹香 <small>かろ</small> (鯨の一種)	マツセキ	末席 <small>(しもぎ)</small>	マツヤニ	松脂 <small>(松の木のやに)</small>
マツザ	末座 <small>(末席)</small>	マツダイ	末代 <small>(死しての後の世)</small>	マツリ	祭 <small>(祀)</small>
マツサオ	眞青 <small>(まことにあを)</small>	マツタク	全 <small>(すべて)</small>	マツリゴト	政 <small>(世を治むるみ)</small>
マツサカリ	眞盛 <small>(マサカリに同じ)</small>	マツタケ	松蕈 <small>(菌の一種)</small>	マツリユ	末流 <small>(すゑのながれ)</small> (すゑのわかれ)
マツサキ	眞先 <small>(一ばんさき)</small>	マツタシ	全 <small>(かけた所無し)</small>	マツロ	末路 <small>(人生のなはり)</small> (人生の行くすゑ)
マツサツ	抹殺 <small>(ぬりけしとる)</small>	マツチ	隣寸 <small>(すりだし)</small>	マツワル	纏 <small>(まとふ)</small>
マツシ	末子 <small>(つしのこ、ば)</small>	マツチャ	抹茶 <small>(ひき茶)</small>	マテ	蛭 <small>(貝の名)</small>
マツジ	末寺 <small>(本山に屬する)</small>	マツパ	末派 <small>(すゑの派)</small>	マデ	迄 <small>(朝から晩)</small>
マツシゲラ	蕪地 <small>(はげしく進み)</small>	マツバ	松葉 <small>(まつのは)</small>	マト	的 <small>(めあて)</small>
マツシロ	眞白 <small>(マシロに同じ)</small>	マツパダカ	眞裸 <small>(まことのはだ)</small>	マド	窓 <small>(隔)</small>
マツスグ	眞直 <small>(少しもまがらぬこと)</small>	マツピラ	眞平 <small>(ひとへに好ま)</small>	マド	魔道 <small>(あしき道)</small>

マトイ	圓居 <small>（輪に居ならぶ）</small>	マナコ	眼 <small>（めだま）</small>	マバラ	疎 <small>（しげからぬと）</small>
マトウ	纏 <small>（からまる）</small>	マナヅリ	眺 <small>（めじり）</small>	マビ	麻痺 <small>（しびる）</small>
マドウ	惑 <small>（まよふ、心亂れる）</small>	マナズル	眞鶴 <small>（鶴の一種）</small>	マビク	間引 <small>（間を處々ぬい）</small>
マドカケ	窓掛 <small>（窓にかけて日光を遮るもの）</small>	マナブ	學 <small>（まねならぶ）</small>	マビト	眞人 <small>（古の姓の）</small>
マトメ	纏 <small>（まとむること）</small>	マニアワセ	間合 <small>（あはせ、一時の用にあてると）</small>	マヒトツ	今一 <small>（いまひとつ）</small>
マドワス	惑 <small>（まよはす）</small>	マニマニ	隨意 <small>（そのまま、なすりゆきにかま）</small>	マヒル	眞晝 <small>（ひるなか、正午）</small>
マナ	眞魚 <small>（うな、さかな）</small>	マヌカル	免 <small>（のがる）</small>	マブ	間夫 <small>（情夫）</small>
マナ	眞字 <small>（本字）</small>	マヌケ	間拔 <small>（うつかりせる者）</small>	マブカ	眼深 <small>（めがかくれるほど）</small>
マナイタ	眞魚板 <small>（粗、魚を料理する板）</small>	マヌケ	眞似 <small>（摸倣）</small>	マブタ	瞼 <small>（眼の上を被ふ皮）</small>
マナカ	眞中 <small>（まんなか）</small>	マネ	招 <small>（よぶ）</small>	マブチ	睡 <small>（目のふち）</small>
マナカ	間中 <small>（一間の半分）</small>	マネク	マノアタリ	マホー	魔法 <small>（妖術、ふしぎ）</small>
マナガツオ	鯨 <small>（魚の名、眞鯨）</small>	マノアタリ	面 <small>（めのまへ）</small>	マボロシ	幻 <small>（無き姿のあるが如く映るもの）</small>

ママ	儘 <small>（その）</small>	ママヤカ	忠實 <small>（ちうじつ）</small>	マル	清器 <small>（大小便をうけ）</small>
ママコ	繼子 <small>（まごとの子）</small>	マモル	守 <small>（護、衛）</small>	マルオビ	全帯 <small>（一の帛を折つ）</small>
ママゴト	飯事 <small>（子供の遊びの名）</small>	マヤク	麻薬 <small>（しびれぐすり）</small>	マルゴシ	丸腰 <small>（刀無しのこと）</small>
ママアナ	狸穴 <small>（たぬきのあな）</small>	マユ	繭 <small>（蠶の糞）</small>	マルシ	圓 <small>（まるい）</small>
ママエル	見 <small>（目上の者にあふ、まみゆ）</small>	マユ	眉 <small>（目のうへの方にある毛）</small>	マルタ	丸太 <small>（林木の丸木）</small>
ママレル	塗 <small>（ぬれ汚れる、まぶる、まみる）</small>	マユズミ	眉墨 <small>（黛）</small>	マルダシ	全出 <small>（かくさぬこと）</small>
ママシ	蝮 <small>（へびの一種）</small>	マユミ	檀 <small>（木の名）</small>	マルハダカ	丸裸 <small>（赤裸々、無一物）</small>
ママ	豆 <small>（穀物の一磨）</small>	マヨウ	迷 <small>（思ひまされる）</small>	マルノミ	圓鑿 <small>（鑿の一種）</small>
ママカス	豆粕 <small>（支那からくる肥料の名）</small>	マヨケ	魔除 <small>（あくまをのけ）</small>	マルノミ	全吞 <small>（かますしてのむこと）</small>
ママゴコロ	實心 <small>（しんじつ）</small>	マヨナカ	眞夜中 <small>（よなか）</small>	マルメロ	楓椿 <small>（木の名）</small>
ママツ	磨滅 <small>（すれつぶれること）</small>	マリ	鞠 <small>（毬）</small>	マルヤケ	全焼 <small>（せんせう）</small>
マママメシ	實實 <small>（まめやかであら）</small>	マリシテン	摩利支天 <small>（神の名）</small>	マルワゲ	丸鬚 <small>（人の妻のゆふまげ）</small>

マレ	稀 (希、罕)	マンエン	蔓延 (ひろがること)	マンザイ	萬歳 (三河—)
マロ	磨 (和氣清—)	マンガ	漫畫 (そらるがきの)	マンサク	滿作 (米などのよく)
マロブ	轉 (ころがる)	マンカイ	満開 (花がみなさく)	マンザラ	萬更 (それでよな)
マワシモノ	廻者 (間牒、しのび)	マンガン	満掩 (鑛物の名)	マンサン	蹣跚 (足のよろめく)
マワヌ	廻 (めぐらす)	マンガン	満願 (ぐわんかけ)	マンザン	滿山 (やまいちめん)
マワタ	眞綿 (蠶のわた)	マンキ	満期 (のをはると)	マンジ	卍 (天竺の萬の字)
マワリド	廻 (遠、迂遠)	マンクウ	満腔 (マンコーを見)	マンシユ	滿洲 (支那の一部)
マワル	廻 (めぐる)	マンゲツ	満月 (もちづき)	マンジユ	饅頭 (食物の名)
マン	萬 (千の十倍又多)	マンコー	満腔 (むねいつばい)	マンシン	滿身 (からだ一ぱい)
マンイチ	萬一 (まんいち)	マンゴ	萬劫 (かぎりなきと)	マンシン	慢心 (たかぶること)
マンイン	満員 (人数の定員に)	マンザ	満座 (座にをるすべ)	マンセイ	慢性 (病のながいた)
マンエツ	満悦 (十分のよろこ)	マンサイ	満載 (一ぱいにのせ)	マンゾク	満足 (かけたこと)

マンダラ	曼陀羅 (浄土の有様)	マンピツ	漫筆 (そらるがき)	マンリキ	萬力 (器械の名)
マンチャク	瞞着 (ごまかす)	マンピョ	漫評 (批評)	マンリョ	萬兩 (木の名)
マンチョ	満潮 (さしほ)	マンビョ	萬病 (いろいろの)	マンロク	漫録 (そらるがき)
マンテンカ	滿天下 (世界中みな)	マンブク	満腹 (はら一ぱい)		
マンド	萬度 (たたび、あま)	マンブク	萬福 (多くの幸)		
マンド	萬燈 (木匡に紙を張	マンマク	幔幕 (たれまく)		
マシニョ	萬葉 (一集)	マンマル	眞圓 (ごくまるいと)		
マンネン	萬年 (一万年、久し)	マンマン	漫漫 (海のはてし無)		
マンノ	萬能 (よろづの藝能)	マンメン	満面 (かほぢゆう)		
マンビキ	萬引 (買ふ風をして)	マンモク	満目 (見えるかぎり)		
		マンユ	漫遊 (たびをしてあ)		
		マンラン	孟浪 (とりとめのな)		

『み』

ミ	箕 (穀物のあらを)
ミ	實 (草木のみ)
ミ	己 (十二支の一)
ミ	御 (君の一影)
ミアイ	見合 (互に相見ると)
ミイツ	御稜威 (御威光)
ミイラ	木乃伊 (埃及の産物)

ミイリ	實入(みがいること)	ミオボエ	見覺(みしること)	ミカタ	味方(我がかたうど)
ミウケ	身請(落籍、贖身)	ミオロス	見下(上からしたを 見る)	ミカド	御門(天皇、門の尊 稱)
ミウチ	身内(みより、親族)	ミカイ	未開(いまだひらけ ぬこと)	ミガル	身輕(身のかるい、 自由になる)
ミエ	外見(みつき)	ミカキ	御垣(恒をたつとん でいふ)	ミカワミズ	御溝水(皇居の周圍 にあるほり)
ミエイ	御影(佛の繪の尊稱)	ミガキコ	磨粉(みがくに用ゐ るこな)	ミガワリ	身代(他人の身の がはり)
ミエイド	御影堂(御影をな さめる堂)	ミカギル	見限(おもひきる、 とりあはぬ)	ミカン	味宜(舌のはたらき)
ミエガクレ	隠見(或は見え或は かくれる)	ミガク	磨(とぎみがく)	ミカン	未完(なほらない)
ミエダスキ	三重障(三の斜線を 打交した模様)	ミカケ	見掛(みえ)	ミカン	蜜柑(菓物の名)
ミオ	水脈(ふれの通るみ ち)	ミカゲ	御影(たましひの尊 稱、みえい)	ミキ	幹(木の體をなす ところ)
ミオクリ	見送(送別)	ミカサズケ	三笠付(三様にし つげさす)	ミギ	右(方角の名)
ミオツクシ	浮標(水脈しらせの くひ)	ミカヅキ	三日月(陰曆三日の 新月)	ミキリ	見切(みかぎる、 すくうる)

ミギリ	砌(軒又階下の石 疊の處、日用 文で折、頃の 意)	ミゴシラエ	身拵(衣服のよそ ほひ)	ミジカシ	短(長くなし)
ミギワ	汀(水のきは)	ミゴト	尊(御事の義、神 又貴人の尊稱)	ミジメ	不見(酷くされてつ らいと、悲惨)
ミクダリハ	三行半(さりじやう)	ミゴト	見事(うらはし、り つば)	ミジユク	未熟(いまだ熟せぬ こと)
ミクリ	三稜草(草の名)	ミコトノリ	勅(詔、天子のお ほせ)	ミシヨ	實生(みげえ)
ミグルシ	見苦(みにくい、み ともない)	ミコミ	見込(おもひつき、 めあて)	ミシヨ	身上(みの上へ、 うまれつき)
ミカツ	未決(まだきまらぬ こと)	ミゴロ	未済(いまだすまぬ こと)	ミシル	見知(認識)
ミケン	眉間(兩眉の間、ひ たひの中央)	ミコン	未婚(まだよめいり せぬこと)	ミシン	彌針(洋服などぬふ きかい)
ミコ	神子(いちご、かん なき)	ミサイ	未濟(いまだすまぬ こと)	ミシン	未進(年貢などのな さまらぬこと)
ミコシ	御子(皇太子、親王)	ミサオ	操(心のみだれぬ こと)	ミジン	微塵(かきこと)
ミコシ	御輿(神の御たまを のせるもの)	ミサキ	岬(海中につきで た陸地)	ミジンコ	微塵子(虫の名)
ミコシ	見越(物の上をこえ て見えること)	ミサゴ	鳴鳩(鳥の名、鴟)	ミス	御簾(すたれの敬語)
ミコシ		ミササキ	陵(天皇后妃の御 墓)	ミズ	針孔(はりの)

ミズ	水 <small>みづ</small>	酸水二素から成立つ流動體	ミズグスリ	水藥 <small>みづぐすり</small>	水を用ゐて平準 <small>みづくすり</small>
ミズ	瑞 <small>みづ</small>	清 <small>うるはしく</small>	ミズグルマ	水車 <small>みづぐるま</small>	水洩 <small>みづくすり</small>
ミスイ	未途 <small>みずい</small>	しとげぬこと	ミズクロイ	身繕 <small>みづくろい</small>	水引 <small>みづひき</small>
ミズイレ	水入 <small>みづいれ</small>	硯 <small>すずり</small> に入れおくる水の	ミズコ	稚子 <small>みづこ</small>	鬘 <small>みづら</small>
ミズウミ	湖 <small>みづうみ</small>	陸 <small>りく</small> の中の大きな水たまり	ミズゴリ	水垢離 <small>みづごり</small>	ミセ
ミズオチ	鳩尾 <small>みづおち</small>	心窩 <small>しんわ</small> 、みぞおち	ミズサキ	水先 <small>みづさき</small>	ミセイネン
ミズガキ	瑞籬 <small>みづがき</small>	神社 <small>しんじや</small> のまはり	ミズサシ	水差 <small>みづさし</small>	ミセシメ
ミズガメ	水瓶 <small>みづがめ</small>	水をいれるか	ミズチ	蛟 <small>みづち</small>	ミセビラカ
ミズカラ	自 <small>みづから</small>	われから	ミズノエ	壬 <small>みづのえ</small>	ミセモノ
ミズキ	水城 <small>みづき</small>	四方水で圍 <small>い</small> ん	ミズノト	癸 <small>みづのと</small>	ミゼン
ミズグキ	水莖 <small>みづぐき</small>	文字 <small>あざな</small> のあと、手跡	ミズノミ	水吞 <small>みづのみ</small>	ミソ

ミゾーウ	未曾有 <small>みぞう</small>	いまだかつてなきこと	ミダス	亂 <small>みだれる</small>	ミチズレ	路連 <small>みちづれ</small>
ミゾオチ	鳩尾 <small>みづおち</small>	みづおち	ミタテ	見立 <small>みだて</small>	ミチノリ	道程 <small>みちのり</small>
ミソカ	晦日 <small>みそか</small>	月末の三十日	ミタニ	深谷 <small>みさや</small>	ミチハズレ	道外 <small>みちはずれ</small>
ミソギ	禊 <small>みそぎ</small>	水 <small>みづ</small> で身を淨 <small>きよ</small> む	ミタマ	御靈 <small>みたま</small>	ミチバタ	路端 <small>みちばた</small>
ミソコシ	味噌 <small>みそ</small>	みそしるを	ミダラ	猥 <small>みだら</small>	ミチビク	導 <small>みちびく</small>
ミソメル	見初 <small>みそめる</small>	初めて見る	ミダリニ	妄 <small>みだりに</small>	ミチユキ	道行 <small>みちゆく</small>
ミソサザイ	溝鶺鴒 <small>みそさざい</small>	鳥の名	ミダレル	亂 <small>みだれる</small>	ミツ	蜜 <small>みつ</small>
ミソレ	霰 <small>みそれ</small>	雨まじりの雪	ミチ	道 <small>みち</small>	ミツ	盈 <small>みつ</small>
ミダ	彌陀 <small>みだ</small>	佛の名	ミチシオ	満潮 <small>みちしお</small>	ミツカイ	密會 <small>みつかい</small>
ミダイドコ	御臺所 <small>みだいどこ</small>	貴人のおく	ミチシルベ	路導 <small>みちシルベ</small>	ミツギ	貢 <small>みつぎ</small>
ミダス	滿 <small>みだす</small>	いっぱいにする	ミチスガラ	途次 <small>みちスガラ</small>	ミツギ	密議 <small>みつぎ</small>
ミダス	見出 <small>みだす</small>	見いだす	ミチスジ	道筋 <small>みちスジ</small>	ミツクチ	兎缺 <small>みつクチ</small>

ミツケ	見付(見出だすこと)	ミツゾー	密造(ないくにつく)	ミツミ	三身(一反の半分でつくる衣服)
ミツケイ	密計(ひそかのほか)	ミツダン	密談(ないしよばな)	ミツモル	見積(見はかる)
ミツコク	密告(さいやき)	ミツチャク	密着(びつたりくつ)	ミテイ	未定(いまだ定まらぬこと)
ミツシ	密旨(ほいくのお)	ミツツウ	密通(男女ひそかに通じること)	ミテグラ	幣(神に奉るもの)
ミツシ	密使(ないくの使)	ミツバ	三葉(草の名)	ミトドケ	見届(みとどけること)
ミツジ	密事(ないくごと)	ミツバイ	密賣(ないしよでう)	ミトメイン	認印(苗字などほつた畧印)
ミツシツ	密室(とちかためた)	ミツバチ	蜜蜂(みつをつくる)	ミトメル	認(みさだめる)
ミツシユ	密集(みつしりあつ)	ミツプ	密夫(みそかた、か)	ミドリ	緑(一色)
ミツシヨ	密書(ないくのみ)	ミツプ	密婦(かくしをんな)	ミドリゴ	嬰兒(をさなご)
ミツシヨ	密詔(ないくのみ)	ミツプウ	密封(ひたと封ずる)	ミナ	皆(のこらす)
ミツセツ	密接(ひたとつくと)	ミツペイ	密閉(むこと)	ミナギル	漲(水のみちあふれること)
ミツリ	密奏(ひそかの奏間)	ミツマタ	三叉(木の名)	ミナゲ	身投(川や海へ身を投げる)

ミナゴロシ	鏖(一人のこらす)	ミネ	峰(嶺、岑)	ミハラシ	見晴(眺望)
ミナサン	皆様(諸君)	ミノ	簑(雨着の名)	ミハリ	見張(見まもること)
ミナシゴ	孤(親のなき子)	ミノ	未納(いまだをさま)	ミブリ	身振(からだをうご)
ミナス	看做(かりにそれと)	ミノガミ	美濃紙(紙の一種)	ミブルイ	身震(せんりつ)
ミナズキ	水無月(舊の六月)	ミノル	實(熱、稔)	ミブン	身分(身のほど)
ミナト	湊(港)	ミバエ	見映(見榮)	ミホン	見本(ひながた)
ミナミ	南(力角の名)	ミバエ	實生(實よりはえる)	ミマイ	見舞(訪問)
ミナモト	源(川の流のもと)	ミハカライ	見計(見てよきほ)	ミママ	身隨(わが身の心のま)
ミナライ	見習(見てならひ)	ミハツ	未發(いまだおこらぬこと)	ミマワル	見廻(見ながらま)
ミナリ	身形(身のよそほひ)	ミハツ	身幅(みごころのよこ)	ミマン	未滿(その數にみたぬこと)
ミナレル	見馴(つれに見てな)	ミハバ	未拂(いまだはらばぬこと)	ミミ	耳(音をきくみ)
ミニクシ	醜(みめわるし)	ミハライ	未拂(いまだはらばぬこと)	ミミズ	蚯蚓(蟲の名)

ミミズク	木鬼(鳥の名)	ミヤズカハ	宮仕(高貴につか)	ミヨীগ	蕪荷(草の名、若)
ミメ	見目(かほつき)	ミヤスドコ	御息所(親王の配の)	ミヨーカーン	冥感(神佛の加護に)
ミメイ	未明(夜のまだあけ)	ミヤビ	雅(あでやか)	ミヨীগ	妙技(じやうすなわ)
ミモチ	身持(身のおこなひ)	ミヤビオ	風流士(ふうりうな)	ミヨークイ	妙計(ふしぎなはか)
ミモト	身許(素性)	ミヤビト	宮人(みやづかへの)	ミヨゴ	名號(阿彌陀佛の)
ミモノ	見物(めざましく見)	ミヤマ	深山(おくやま)	ミヨゴニチ	明後日(あさつて)
ミヤ	宮(いへの敬語)	ミヤマイリ	宮參(うぶすな神)	ミヨサク	妙策(妙計)
ミヤイ	宮居(みやどころ)	ミヤル	見遣(とほく見る)	ミヨジ	苗字(うち、名字)
ミヤイ	見合(ミアイを見よ)	ミユ	見(みえる)	ミヨシユン	明春(らいはる)
ミヤクハク	脈搏(動脈のうつと)	ミユキ	御幸(行幸)	ミヨシヨ	妙所(うまいところ)
ミヤゲ	土産(いへづと)	ミヨオー	明王(佛法をまも)	ミヨージョ	明星(星の名)
ミヤコ	都(都會)	ミヨガ	冥加(神佛の加護)	ミヨダイ	名代(代理)

ミヨチヨ	明朝(あすのあさ)	ミヨレイ	妙齡(としごろ)	ミンケン	民權(人民の權利)
ミヨード	女夫(夫婦)	ミヨリ	身寄(みうち、親族)	ミンジ	民事(民法上の權利)
ミヨニチ	明日(あす)	ミライ	未來(ゆくゆゑ)	ミンジヨ	民情(たみの心)
ミヨネン	明年(翌年、來年)	ミリン	味淋(酒の名)	ミンシン	民心(ミンシヨに)
ミヨパン	明礬(礬物の名)	ミル	見(観、看、視、覽)	ミンセン	民選(人民自らえら)
ミヨブ	命婦(女官の名)	ミル	海松(海藻の名)	ミンチヨ	明朝(清朝のまへ、
ミヨホ	妙法(よきしかた)	ミレン	未練(心のこり)	ミンフク	民福(たみのさいは)
ミヨミ	妙味(よきおもむき)	ミロク	未勒(菩薩の名)	ミンポ	民法(法律の名)
ミヨモク	名目(物のとなへ)	ミワケ	見分(みわけ、區)	ミンボツ	浪没(ほろびうせる)
ミヨモソ	名聞(ほまれ、人ぎ)	ミワタス	見渡(遠く見やる)	ミンユ	民有(たみのもちも)
ミヨヤク	妙薬(よくすり)	ミンカ	民家(たみのいへ)	ミンミン	蛸螻(せみの一種)
ミヨヨ	妙用(たくみなは)	ミンカン	民間(人民の間、せ)		

『む』

ムイ	無意(心なきこと、きづかぬこと)	ムガク	無學(學問なきこと)	ムキミ	剝身(蛤などの殻よりむき取つた身)
ムイ	無位(くらゐのないこと)	ムカゴ	零餘子(植物の名、ぬかご)	ムキメイ	無記名(氏名をしる)
ムイ	無爲(何もせぬ、おだやか)	ムカデ	昔(往古)	ムキユイ	無給(給料のないこと)
ムイシキ	無意識(かんかへのないこと)	ムカバキ	百足(蟲の名、蜈蚣)	ムキユイ	無給(給料のないこと)
ムエキ	無益(やく立たぬ)	ムカワリ	行膝(腰につけてたかはり)	ムキヨク	無窮(きはまりなきこと)
ムエン	無縁(ゆかりのないこと)	ムカン	周年(一年又一月のくりかへし)	ムキヨク	無疆(はてのないこと)
ムエンタン	無烟炭(石炭の一種)	ムキ	無官(官のないこと)	ムギワラ	無極(天地のごくのはじめ、太極)
ムガ	無我(われを忘れ、る、私なし)	ムギ	無機(—化学)	ムク	向(むかふ)
ムカウ	向(對、むかふ)	ムギ	麥(植物の名)	ムク	尪(—犬)
ムカエル	迎(まぢうく、むかふ)	ムキズ	無疵(きずの無いこと、完全)	ムク	椋(木の名)
		ムキダシ	剝出(あらはす、うちつけ)	ムク	剝(はぐ)

ムク	無垢(交り物のないこと)	ムゲニ	無下(ひたすら、い)	ムサグロシ	汚穢(きたならし)
ムクゲ	木槿(木の名)	ムゲン	無限(かぎりなきこと)	ムササビ	鼯鼠(獸の名)
ムクイ	報(酬)	ムゲシ	夢幻(ゆめまぼろし)	ムサシ	六指(遊戯の名、十)
ムクチ	無口(ことばの少ないこと、だまる)	ムコ	無辜(つみなきこと)	ムサボル	貪(よくばる)
ムクユ	報(むくいる、し)	ムコ	錮(婿)	ムサン	無算(かすしれぬこと)
ムグラ	葎(草の名)	ムコ	無効(効のなきこと)	ムサン	無産(さいさんのないこと)
ムグラモチ	土龍(獸の名)	ムゴシ	慘然(むべし、いぢらし)	ムザン	無慙(なげない、いたましい)
ムグル	潜(もぐるの轉訛)	ムコン	無根(ねもないこと)	ムシ	蟲(禽獸魚の外)
ムクロ	身中(からだ、軀)	ムゴシ	無言(少しもいはぬこと)	ムシ	蒸(むすこと、ち)
ムクロジ	木欒樹(木の名)	ムサイ	無妻(つまのないこと)	ムシ	無視(みとめぬこと)
ムケイ	無形(かたちのないこと)	ムサイ	無罪(つみなきこと)	ムジ	無地(染物、やうのないこと)
ムケイ	無稽(ねもはもないこと、無根)	ムザイ		ムジ	無事(ことのないこと、ぶじ)